

島根縣  
小學校  
執務必携

特218  
708



0042711-000

特218-708

島根県小學校執務必携

島根県教育会・編纂

島根県教育会事務所

昭和11

AHD



特218  
708

島根縣教育會編纂

島根縣  
小學校  
執

務  
必  
携



島根縣教育會發行



## 序言

學校教育に於ては、直接兒童に働きかける教育作用の外に、教師と兒童とが正當な位置に安住し、自由に活動し得る爲の外的條件とか、乃至は所謂教育事務とか云ふ様なものも、決して輕視する事の出来ない重要な存在である、而してこうした方面は、時代の進運に伴ひ漸次に複雑化して行く事もやむを得ぬ事實である。

中等學校以上の學校に於ては專任の事務員が置かれて、主としてこうした方面を擔當してゐるけれども、小學校に於ては教師諸君がこれらを一々處理して行かねばならぬ、然るに教師諸君の中には、直接教育に熱心なるあまり、又多忙なる餘り、不知不識の間に、これらの事務を等閑に附して、思はぬ失敗を招くことや、事業の澁滯を來す事がないでもない、これは誠に残念な事で又小學教育界の一つの欠陥とも云ふべき事である。

島根縣視學河上民祐君これを遺憾とし事務の餘暇に本縣小學校關係の學令類を蒐集し、これを尤も見易く分類し遂に一書を編纂したのである。

余之を聞き、恰もこの種の出版を要望するものありしとて、大に喜びこれを印刷に附して縣下の當事者



に頒てば、必ずや多大の便宜あらん事を豫想し、稿を懇請してこゝに上梓することとしたものである、簡単に由来を記して序言とする。

昭和十一年十二月上旬

島根縣教育會主事 並 河 亮 次

### 凡 例

- 一、本書ハ島根縣小學校學令類ヲ整理分類シ執務參考上ノ便ヲ慮ツタモノデアアル。
- 一、訓令ヤ通牒ノ外小學校長會等ニ於ケル指示注意ナドヲモ執務上特ニ必要ト認メタモノハ其ノ趣旨ヲ摘録シタ。
- 一、將來縣カラ發セラレル小學校關係ノ學令類ハ島根教育ニ刷リ込ンデ追加加除ガ出來ル様ニスル計劃デアアル。



小島根縣 執務必携 目次

第一章 御影、勅語、等

第一節 御影、拜賀

- 御眞影及 勅語謄本奉置所ノ件(明治二十四年十二月七日、島根縣訓令第一七六號).....一
- 御眞影奉藏ニ關スル規則(明治四十五年一月十日、島根縣訓令第一號).....一
- 御眞影奉藏ニ關スル件(昭和三年五月十七日、學第三〇五六號通牒).....三
- 御眞影奉藏ニ關スル件(昭和六年九月八日、學第一一六六號通牒).....三
- 御眞影奉藏奉護ニ關スル件(昭和八年五月三十日、學第四〇三號通牒).....五
- 御眞影ヲ拜戴セル單級學校等職員ノ少數ナル學校ノ宿直ニ關スル件(明治四十五年二月、學第三六號通牒).....七
- 御眞影ニ不供饌方並開校式ニ奉拜方(明治二十七年五月、學第四七〇號通牒).....七
- 御眞影拜戴ノ件(大正八年十二月九日、學第二九八九號通牒).....七
- 御眞影奉拜ノ件(大正九年十月二日、學第三三〇四號通牒).....七
- 御眞影奉掲ノ件(大正九年十月二十二日、學第三五三二號通牒).....八
- 明治天皇 御眞影奉戴方(大正二年八月、學第二九二三號通牒).....九
- 昭憲皇太后 御眞影奉戴方(大正三年七月、學第三五三一號通牒).....九
- 新年紀元節天長節明治節參賀ノ儀(昭和三年二月七日、島根縣訓令第五號).....一〇
- 新年紀元節天長節明治節賀表奉呈方(昭和三年二月七日、島根縣告示第五二號).....一〇



第二節 勅語、儀式

○勅語謄本下付ニ付訓示(明治二十四年一月、島根縣訓示學第二號)……………三

○教育者ニ對シテ賜ハリタル勅語謄本取扱方ニ關スル件(昭和七年五月十九日、學第五一〇號通牒)……………三

○勅語奉讀式舉行方ノ件(昭和七年十月二十二日、學第九八二號通牒)……………三

○勅語謄本及文部大臣訓示下付申請並返納方(明治二十四年四月、學第一三八號通牒)……………四

○國民精神作興ニ關スル詔書ノ趣旨服膺方(大正十二年十一月三十日、島根縣訓令第四二號)……………四

○國民精神作興ニ關スル詔書ニ基ク學校教育ノ實績擧揚方(大正十三年十二月十七日、島根縣訓令第四三號)……………四

○國際聯盟脫退ニ關スル詔書ノ聖旨奉體方(昭和八年四月十一日、島根縣訓令第一七號)……………五

○小學校教員御親閱記念式舉行ノ件(昭和十年二月十九日、學第一五五號通牒)……………五

○憲法發布式 勅語奉讀方(大正三年二月、受學第四三三號通牒)……………六

○紀元節舉式ノ際憲法發布ノ勅語ノ御趣旨ニ副フヘキ訓話ヲ爲スノ儀ニ關スル件(昭和八年二月一日、學第一一四號通牒)……………六

○明治節ニ關スル件(昭和二年十一月十一日、學第六四一九號通牒)……………六

第三節 其他

○歷代天皇ノ御在位年數尊號等ニ關シ教授上注意ノ件(大正十五年十一月十九日、學第四六〇四號通牒)……………一七

○御肖像取扱ニ關スル注意方(大正九年八月三日、島根縣告諭第一號)……………一七

○御眞影奉安殿又ハ奉安室ニ菊御紋章描出取締ニ關スル件(大正十三年十月三日、保第五二八一號通牒)……………一七

○團體觀念涵養ニ關スル件(昭和三年五月八日、島根縣訓令第一六號)……………一八

○團體ノ本義明徴ニ關スル件(昭和十年五月一日、島根縣訓令第二三號)……………一八

○行幸啓ノ節生徒兒童敬禮方(明治四十三年九月十二日、島根縣訓令第六八號)……………一九

○學生生徒敬禮方ニ關スル件(大正六年十一月十三日、學第二一九五號通牒)……………二〇

○行幸啓ノ際取締方(大正二年十一月、學第三三一號通牒)……………二一

○皇室諸令其他ニ於テ指示セル通常服ノ件(昭和六年六月十二日、官祕第一一八號通牒)……………二一

○小學校長宮城並御所拜觀方ノ件(大正九年十月一日、學第三三五九號通牒)……………二一

○小學校教員宮城並御所拜觀ニ關スル件(大正九年十一月三十日、學第三三五九號通牒)……………二二

○小學校長及小學校正教員宮城並御所拜觀ニ關スル件(大正十年六月十四日、學第二一七八號通牒)……………二二

○小學校長並正教員宮城拜觀ニ關スル件(大正十年十一月十日、學第三四六三號通牒)……………二二

○宮城内等拜觀者心得ニ關スル件(大正十一年六月十四日、學第三四六三號通牒)……………二四

○御所離宮及御苑ノ拜觀ニ關スル件拔萃……………二五

第二章 教育總規

○小學校ニ於テ幼學綱要鄭重保存方(明治三十四年十月、視學第一〇四號通牒)……………二七

○宗教上ノ教育ヲ施シ宗教上ノ儀式ヲ行フコトヲ得サル件(明治三十二年八月二十五日、島根縣訓令第一〇九號)……………二七

○家庭教育振興ニ關スル件(昭和六年二月十日、島根縣訓令第四號)……………二七

○言語風俗ノ改善ニ關スル件(明治四十一年三月二十五日、島根縣訓令第一四號)……………二八

○學校教員生徒ヲ引卒演劇其他興行觀覽取締方(明治四十三年九月、學第二二三號通牒)……………二九

○教員生徒ノ男女打混シ舞踏又ハ活人畫等ノ行爲取締方(明治四十年七月、學第五四三號通牒)……………二九

○學校ニ於テ催眠術不施行方(明治三十七年八月、學第八四五號通牒)……………二九

○生徒ノ飲酒取締方(明治四十三年一月二十一日、島根縣訓令第二號)……………二九



○未成年者飲酒禁止法ニ關スル件(大正十一年六月十三日、學第一四〇三號通牒)……………二九

○校旗團旗及長上ニ對スル敬禮樂譜ニ關スル件(昭和八年十一月四日、學第九九七號通牒)……………三〇

○學校ニ於ケル火器取締方(明治四十四年一月、發學第二六號通牒)……………三〇

○小學校ニ於テ生徒獎勵ノ爲賞牌ヲ佩用セシムル件ニ關シ心得方(明治二十八年九月、學第七六四號通牒)……………三三

○兒童生徒ノ個性尊重及職業指導ニ關スル件(昭和三年四月四日、島根縣訓令第八號)(同日學第六六六九號通牒)……………三四

○應召軍人ノ子女ニ對シ授業料減免又ハ學用品給與及其他ノ件(明治三十七年二月二十五日)……………三五

○流行病等ニ依リ死歿シタル軍人家族ニ對シテモ授業料不徵收方(明治三十九年六月、學第四九九號通牒)……………三六

○高等小學校教育ノ改善ニ關スル件(昭和二年一月二十一日、學第二七二號通牒)……………三六

○高等小學校ニ實業科加設ニ付注意ノ件(明治四十四年一月十六日、島根縣訓令第一號)……………三九

○高等小學校實業科目ニ關スル施設ノ件(明治四十四年一月、受學第三五〇九號通牒)……………四〇

○小學校ニ於ケル郷土資料調査方(大正元年十二月、發學第二六一號通牒)……………四〇

○裁縫教授ノ際羅尺又ハ羅形尺使用廢止方(明治三十九年三月、視第六四號通牒)……………四一

○理科教授ニ付危險防止ニ關スル件(大正十二年三月二十七日、學第九〇七號通牒)……………四二

○學校用藥品取締ニ關スル件(大正十三年七月十日、學第三八一九號通牒)……………四三

○尋常小學校ニ於ケル手工科教授時數ノ件(大正三年三月、受學第七一〇號通牒)……………四三

○小學校兒童貯金規則(明治四十五年七月三十日、島根縣訓令第四四號)……………四三

○兒童貯金ニ關スル件(大正八年三月一日、學第一九九號通牒)……………四三

○同 前(大正八年三月、學第四三八號通牒)……………四五

○小學校兒童ノ晝食ニ關スル矯弊方(大正二年一月、學第一二號通牒)……………四五

○小學校兒童ノ修學旅行並運動會舉行ニ關スル手續其他ノ件(明治四十三年四月、發學第二號通牒)……………四六

○兒童修學旅行ニ關スル件(昭和十年六月十四日、學第四九三號通牒)……………四六

○中等學校入學者性行調査ニ關スル件(大正十一年二月十四日、學第四五二號通牒)……………四八

○中等學校入學者選抜方法(昭和二年十二月、學校長會指示)……………四八

第三章 小學校令實施規程及關係學令類

第一節 學期、教授ノ終始時刻、休業日及證書並關係學令類

○條章……………五一

○休業日以外ニ學校ノ休業注意方(明治三十五年六月、視第一〇五通牒)……………五二

○學校ノ時間ヲ正確ナラシムル様注意方(明治三十九年七月、視第二三九號通牒)……………五二

○鎮守祭日ニ關スル件(大正六年五月一日、學第四三五號通牒)……………五二

第二節 圖書審查、並圖書關係學令類

○國定教科書供給不足册數報告ノ件(昭和七年五月二十六日、學第五六號通牒)……………五三

○學習帳並學習參考書ニ關スル件(昭和十年九月十六日、學第六五五號)……………五四

第三節 設備、並關係學令類

○條章……………五四

○市町村立小學校名稱ノ件(明治二十五年四月十九日、島根縣訓令第七三號)……………五八

○市町村立小學校設置手續(明治三十二年一月八日、島根縣訓令第二號)……………五八



○町村學校組合ニ關スル件(大正元年九月、發庶第五〇七號通牒).....六一

○町村學校組合ニ關スル件(大正九年二月二十七日、學第六三八號通牒).....六二

○小學校舍建築若ハ増築申請ノ場合工費ノ支途取調方(明治三十六年十一月、視第一八六號通牒).....六三

○小學校舍建築費ニ關スル件(大正八年十月九日、第二三八二號通牒).....六三

○小學校ノ校舍校地等ノ使用ニ關スル件(昭和二年九月二十日、學第五五八七號通牒).....六三

○小學校ノ設備ヲ議員選舉事務ニ使用ノ件(昭和二年八月十九日、地第二五三八號通牒).....六四

○小學校ノ校舍使用ニ關スル件(昭和二年十月十四日、學第五七〇六號通牒).....六四

○小學校々々ヲ議會報告演說會場等ノ使用ニ關スル件(昭和六年四月七日、學第三六二號通牒).....六五

○學林學校樹栽地設置ノ件及其標準(明治三十二年二月二十四日、島根縣訓令第二三號).....六五

○學林並樹栽實施督勵ノ件(明治三十七年八月十九日、島根縣訓令第六二號).....六六

○學林及學校樹栽地ヲ設置シタルトキ開甲方(明治三十二年三月二十九日、島根縣訓令第四六號).....六九

○學校園設置方(明治三十八年十一月、視第二八八號通牒).....七〇

○學林及學校樹栽地ノ設計調査ヲ縣廳ニ申出方.....七〇

○學林及學校樹栽後植付又ハ補植督勵方(明治三十八年三月、學第一六四號通牒).....七〇

○小學校家事科設備ニ關スル調査ノ件(昭和三年九月二十一日、學第五〇九五號通牒).....七一

○條章.....七七

○學校生徒ノ服忌ニ關シ取扱方(明治四十四年八月、學第三九四七號通牒).....七五

○服忌ニ丁リ生徒ノ休業ヲ認許シタル場合ニ於ケル就學ニ關スル統計上取扱方(明治四十五年一月、學第四五號通牒).....七七

第二四節 就學、並關係學令類

○兒童就學獎勵規程(大正十三年八月五日、島根縣令第二七號).....七七

○兒童就學獎勵規程改正ノ件(昭和六年二月二十日、學第二四八七號通牒).....七八

○同 前(昭和八年四月一日、學第三四一號通牒).....七九

○同 前(昭和八年十一月二十七日、學第一〇一九號通牒).....八〇

○小學校生徒出席督責ノ件(明治二十九年三月十八日、島根縣令第三七號).....八〇

○兒童ノ就學及出席セサル場合ニ於テ行政執行法及施行令適用ニ關スル件(明治三十六年十二月二十六日、島根縣訓令第八一號).....八〇

○小學校欠席兒童ノ督勵上警察官ニ於テ援助方(明治三十八年四月、島根縣訓示保第二〇號).....八三

○學齡兒童就學出席事務取扱規程(昭和二年九月三十日、島根縣訓令第三七號).....八四

○學齡簿學籍簿卒業證書等ノ種痘ニ關スル事項記入方(明治四十三年四月、受學第一八九號通牒).....九一

○學籍簿格式ニ關スル件(大正十二年一月二十六日、學第二三一八號通牒).....九二

○學齡兒童取扱ニ關スル件(昭和二年十月十一日、學第五七五〇號通牒).....九四

○日系米人ノ公立小學校ヘノ入學ニ關スル件(昭和四年一月十八日、學第一一四號通牒).....九五

○小學校卒業(退學)兒童就業狀況ニ關スル件(昭和五年八月八日、社第一〇一二號通牒).....九六

○尋常小學校卒業者等ノ動向調査報告ニ關スル件(昭和十年五月十六日、學第一七五號通牒).....九九

○就學兒童入學前身體檢查實施ニ關スル件(大正十一年十一月八日、學第二六一九號通牒).....一〇〇

○小學校新入兒童「トラホーム」檢診方(明治四十五年三月、學第五九號通牒).....一〇四

○小學校學級編制變更届出ニ關スル件(昭和二年二月二十二日、學第八五八號通牒).....一〇五

○尋常小學校ノ教科ヲ修ムル兒童ト高等小學校ノ教科ヲ修ムル兒童ト合セ學級編制方(明治三十七年四月、視第一一五號通牒).....一〇七

○高等小學校女兒ノ數四十人以上ノ場合男兒ト學級ヲ區別編制方(明治三十八年八月、視第二一三號通牒).....一〇七

○外國學生ニ關スル件(昭和二年四月八日、學第二一五四號通牒).....一〇七



○青年學校制度實施ニ關スル件(昭和十年四月十七日、島根縣訓令第二一號).....一〇九

第五節 教員檢定

○條章.....一〇九

第六節 職員、並關係學令類

第一、學校長及教員進退、並關係學令類

○條章.....一一一

- 市町村立小學校長及正教員ノ命免並補職ニ關スル辭令式(昭和七年七月二十九日、學秘第四八〇號).....一一一
- 市町村立學校ニ於テ高等科ノ併置ヲ廢シタル場合ニ現任教員進退ノ件(明治二十六年五月三十一日).....一一二
- 教員免許狀ヲ有スル者ヲ代用教員ニ採用ノ件(明治三十九年九月、學第八〇五號通牒).....一一四
- 神職又ハ寺院住職ト小學校訓導ト兼務申請ノトキ具申事項(明治三十一年五月、學第四〇九號通牒).....一一五
- 尋常科訓導准訓導ノ名稱不使用方(明治三十三年九月、學第七六五號通牒).....一一五
- 小學校、青年學校及幼稚園職員ノ轉任及兼任發令ニ關スル件(昭和二年五月六日、學第三四五二號通牒).....一一五
- 小學校青年學校教員任用ニ關スル件(大正十一年二月十五日、學第二二三六號通牒).....一一五
- 小學校及青年學校教員任免增停申請ニ關スル件(大正十三年十月二十日、學第一一九七號通牒).....一一六
- 公立學校職員職務上席次(大正七年一月十一日、島根縣訓令第四號).....一一六
- 東京廣島文理科大學入學者取扱方ニ關スル件(昭和四年三月五日、學第六八五號通牒).....一一七
- 教員養成ヲ目的トスル官立府縣立ノ學校入學者休職ニ關スル件(昭和四年十月二十五日).....一一七

第二、學校長教員ノ職務及服務並關係學令類

○條章.....一一七

第二ノ二、學校職員研究會

- 條章.....一二〇
- 小學校女教員ノ勤務ニ關シ保護注意方(明治四十年八月、學第六五六通牒).....一二一
- 女教員產前產後ノ休職ニ關スル件(大正十一年一月九日、學第一二六號通牒).....一二一
- 女教員產前產後休養ニ關スル件(大正十五年一月二十九日、學第二九〇號通牒).....一二一
- 教員學校所在地ニ居住ノ件(昭和十年四月十六日、學第三二〇號通牒).....一二二
- 寫眞提出ニ關スル件(昭和八年五月九日、學第五一〇號).....一二四
- 小學校教員身分ニ關スル調査ノ件(昭和九年一月十五日、學第九號通牒).....一二四
- 教員除服ニ關スル件(大正十五年九月、指示).....一二六
- 小學校教員履歷書ニ關スル件(昭和七年九月十日、學第八七三號).....一二六
- 官紀ノ肅正行政ノ改善ニ關スル件(昭和九年八月四日、島根縣訓令第二四號).....一二七
- 知事其他監督官學校巡視ノ際生徒ニ紹介ノ言詞注意方(明治四十二年二月、學第二二九號通牒).....一二七
- 視學官及視學學事視察規程(大正十五年十二月七日、訓令第九七號).....一二七
- 視察簿備付ノ件(大正十五年十二月二十一日、學第五二〇六號通牒).....一二九
- 學校職員ノ職印調製方(明治三十一年八月二十日、島根縣訓令第一二八號).....一二九
- 公立學校職員服制(昭和九年八月一日、島根縣訓令第二三號).....一三〇
- 學校幼稚園職員身體檢査ニ關スル件(大正九年九月十日、島根縣訓令第四九號).....一三〇
- 小學校長教員氏名變更届出ニ關スル件(學校長會ニ於テ注意).....一三〇
- 學校兒童等ノ異變報告方ノ件(學校長會ニ於テ注意).....一三一



目次

○教育會講習會展覽會ヲ開カントスルトキ會主ヨリ届出ツヘキ事項 (明治四十三年三月十九日) ..... 一三一

○學校職員研究會ニ關スル件 (昭和二年一月十四日、學第一六一號通牒) (鳥根縣訓令第九號) ..... 一三一

○夏季講習會ニ關スル件 (昭和十年七月二十五日、學第五八九號) ..... 一三二

○初等教育研究會ニ關スル件 (昭和七年四月十五日、學第四〇二號通牒) ..... 一三二

○條章 ..... 一三三

○小學校准訓導ニシテ訓導ニ任命セラレタルトキ其月分ノ俸給支給方 (明治三十六年十一月) (視第一八四號通牒) ..... 一三五

○條章 ..... 一三七

○小學校令實施規程改正ニ關スル件 (昭和五年十二月十二日、學第二五三七號通牒) ..... 一三七

○小學校教員旅費支給ニ關スル件 (大正十四年五月六日、學第二二八號通牒) ..... 一三八

○一年現役兵服務職員ノ旅費支給ニ關スル件 (大正十四年六月二日、學第五七五號通牒) ..... 一三九

○備考、關係職員ノ旅費支給ノ件 ..... 一三九

○條章 ..... 一四〇

○市町村立小學校教員加俸給與細則 (大正三年九月十六日、鳥根縣令第二五號) ..... 一四〇

○小學校教員加俸給與ニ關スル件 (大正六年三月三十日、學第一六六號通牒) ..... 一四一

○市町村立小學校教員加俸給與額標準 (大正三年十二月十七日、學第二八六號訓令) ..... 一四三

○市町村立小學校教員加俸請求手續ニ關スル件 (昭和八年二月二十三日、學第二一〇號通牒) ..... 一四五

○小學校教員年功加俸ヲ受クル者資格ノ移轉若クハ校名ノ變 (明治三十年十一月十九日) (鳥根縣訓令第一二三號) ..... 一四六

○更等アルモ同一學校ナルトキハ更ニ證書ヲ交付セサル件 ..... 一四六

○條章 ..... 一四〇

○第五、諸給與、並關係學令類 ..... 一四〇

○特別加俸ノ給與ハ教員任命後直チニ申告方 (明治三十五年三月、學第二一七號通牒) ..... 一五二

○休職中俸給ヲ受クル者ノ加俸支給方 (大正四年二月、學第二六一號通牒) ..... 一五三

○小學校教員死亡給與金ノ負擔區分ニ關スル件 (昭和二年十一月四日、學第六二〇一號通牒) ..... 一五三

○公立小學校教員疾病療治料支給規則 (大正四年十二月二十五日、鳥根縣令第三〇號) ..... 一五四

○一年現役小學校教員ノ死亡賜金ニ關スル件 (昭和二年十二月二十日、學第六八二八號通牒) ..... 一五五

○恩給法ニ依ル恩給中知事ノ管掌ニ係ル恩給給與細則 (大正十二年十二月二十五日、鳥根縣令第四七號) ..... 一五五

○條章 ..... 一五七

○第七、小學校ニ類スル各種學校及附則 ..... 一五七

○條章 ..... 一五八

第四章 體育、學校衛生ニ關スルモノ

第一節 關係職員規程

○學校醫及幼稚園醫ニ關スル規程 (昭和五年四月十五日、鳥根縣令第一三號) ..... 一七一

○學校醫ヲ置クヲ得サル事情ト認ムヘキ事項 (明治三十一年五月學第三八〇號通牒) ..... 一七六

○學校醫視察簿様式 (明治三十二年八月、學第六三六號通牒) ..... 一七六

○學校齒科醫ニ關スル規程 (昭和七年三月十五日、鳥根縣令第六號) ..... 一七八

○學校看護婦ニ關スル規程 (昭和五年五月十六日、鳥根縣訓令第二三號) ..... 一八二

○雪中遊戯ノ方法研究實施方 (明治三十九年一月、視第一三號通牒) ..... 一八五

目次



○生徒兒童ノ運動競技會參加ニ關スル件(昭和四年八月三十日、學第三一〇七號通牒).....一八五

○全國體育デーニ關スル件(昭和四年十月二十五日、學第三七七四號通牒).....一八六

○健康週間ニ關スル件(昭和七年九月五日、學第八五二號通牒).....一八七

○野球ノ統制並施行ニ關スル件(昭和七年四月一日、島根縣訓令第一三號).....一九〇

○身體檢查統計表ニ關スル件(大正十五年九月六日、學第三三九九號通牒).....一九〇

○生徒用机腰掛ニ關スル注意ノ件(明治三十二年二月九日、島根縣訓令第一三號).....一九二

○生徒兒童用机腰掛ノ標準(昭和七年九月二十六日、島根縣訓令第一三號).....一九二

○發育概評決定標準(昭和二年四月三十日、島根縣訓令第二〇號).....一九三

○生徒兒童身體檢查規程中並同上發育概評決定標準中改正ニ關スル件(昭和二年四月三十日).....一九五

○學校ニ於テ傷病簿備付ケニ關スル件(大正九年十二月十八日、學第四二二六號通牒).....一九七

○學校傳染病患者報告ニ關スル件(昭和五年七月十六日、學第二一一一號通牒).....一九八

○流行性感胃豫防ニ關スル件(大正十一年二月六日、學第三八三號通牒).....一九八

○兒童生徒齒牙衛生ニ關スル件(大正十一年十二月十五日、學第二六八一號通牒).....二〇〇

○學校傳染病豫防規程中ノ傳染病種類ニ疫病ヲ含ムノ件(大正八年十二月五日、學第二八八七號通牒).....二〇二

○學校清潔方法(昭和二年一月十一日、島根縣訓令第四號).....二〇二

○學校ニ於ケル「トラホーム」豫防規程(大正九年九月二十一日、島根縣訓令第五二號).....二〇六

○學校職員學校ニ於ケル「トラホーム」患者ニ點眼方(明治四十一年三月、學第二六三號通牒).....二一〇

○「ムシ菌豫防デー」ニ關スル件(昭和三年五月二十九日、學第三一一四號通牒).....二一〇

第五章 統計報告

○島根縣學事年報報告規程(昭和二年四月八日、島根縣訓令第一七號).....二一一

○學校學年末調查樣式並學校一覽表樣式ノ件(昭和二年四月二十六日、學第二九九七號通牒).....二二七

○進達期限表(昭和十一年十月).....二三八

第六章 雜

○圖書館令施行細則(昭和九年九月十七日、島根縣令第三三號).....二四五

○圖書館令施行細則實施ニ關スル件(昭和九年九月十七日、社第七三一號通牒).....二四五

○島根縣巡回文庫規則(昭和九年七月六日、島根縣告示第一〇號).....二四五

○教育資金使用規則(大正四年八月十六日、島根縣令第一八號).....二四七

○市町村義務教育費國庫負擔法施行手續(大正十五年七月一日、島根縣令第六四號).....二四八

○圖書館費補助規程(昭和十年五月二十七日、島根縣告示第三三四號).....二四九

○教育獎勵規程(大正二年二月二十五日、島根縣令第一一號).....二五〇

○學校教員學生生徒ニ對スル旅客運賃割引證ニ關スル件.....二五一

○市町村立小學校等ニ縣報購讀ノ件(大正十五年十一月二十四日、文第七二號通牒).....二五一

附錄

○島根縣教職員互助會定款.....二五三

○島根縣教職員互助會細則.....二六〇

○地方委員事務取扱要項.....二七五



# 島根縣 小學校 執務必携

## 第一章 御影、勅語等

### 第一節 御影、拜賀

#### ●御眞影及 勅語謄本奉置所ノ件

明治二十四年十二月七日  
島根縣訓令第一七六號

學校へ下賜セラレタル

天皇陛下

皇后陛下ノ 御影並教育ニ關シ下シタマヒタル 勅語ノ謄本ハ校内一定ノ場所ヲ選ヒ最モ尊重ニ奉置セシムヘシ

#### ●御眞影奉藏ニ關スル規則

明治四十五年一月十日  
島根縣訓令第一號

沿革 大正四年訓令第三號改正

御眞影奉藏ニ關スル規則左ノ通定ム

御眞影奉藏ニ關スル規則

第一節 市町村立ノ小學校又ハ實業補習學校ニ

第一節 御影、拜賀

御眞影複寫ヲ奉藏セントスルトキハ管理者學校長連署ノ上之ヲ知事ニ申



第一節 御影、拜賀

請スヘシ但シ町村ニ係ルモノハ島司郡長ヲ經由スヘシ

前項ノ申請書ニハ奉藏室又ハ奉藏庫ノ位置並構造ヲ示セル圖面ヲ添付スヘシ

第二條 島市郡長ニ於テ前條ノ申請書ヲ受理シタルトキハ實地ノ狀況ヲ精査シ意見ヲ付シテ之ヲ知事ニ進達スヘシ

第三條 學校ニ 御眞影ヲ下賜セラレタルトキ又ハ 御眞影複寫ノ奉藏ヲ許可シタルトキハ其ノ拜賀スヘキ月日時刻等ハ豫メ之ヲ通知ス

第四條 前條ノ通知ヲ受ケタルトキハ郡市町村立學校ニアリテハ管理者又ハ學校長ノ内一名其ノ他ノ學校ニ在リテハ學校長所定ノ時刻前ニ縣廳ニ出頭シ其旨届出ツヘシ但シ已ムヲ得サル事故アルトキハ管理者代理又ハ上席教員ヲシテ代理セシムルコトヲ得

第五條 御眞影又ハ 御眞影複寫ヲ拜賀シタルトキハ學校ニ奉藏スル迄ノ途中ニ於テハ徒歩又ハ車行ノ場合ハ之ヲ捧持シ乗船中又ハ旅宿ニ於ケル場合ハ神聖ナル場所ニ奉置シ謹嚴奉護スヘシ

第六條 御眞影又ハ 御眞影複寫ヲ學校ニ奉藏スルトキハ學校長之ヲ捧持シ學校管理者、學校職員生徒等校門前ニ奉迎シ一同參集シテ奉戴ノ儀式ヲ行フヘシ

第七條 御眞影ヲ奉戴セントスル學校ハ奉藏所ノ設備完全ニシテ且宿直ヲ設クルコトヲ要ス  
御眞影複寫ノ奉藏ハ前項ノ要件ヲ具備スルモノニ非レハ之ヲ許可セス

第七條ノ二 特別ノ事情アル場合ニ於テ左ノ各號ノ一ニ該當スルモノニ限り前條ノ要件ニ代フルコトヲ得此場合ニ於テハ其ノ事情ヲ詳具シタル書面ヲ申請書ニ添付スヘシ

一 近距離内ニ在ル島廳郡市役所若ハ町村役場又ハ同市町村内ノ他ノ學校ニシテ前條ノ要件ヲ具備スルモノニ奉藏シ式日等奉送ノ際ニ於テ第五條及第六條ノ例ニ準シ奉護スルコト

二 奉藏所ノ設備完全ニシテ且校地内又ハ近接地ニ居住スル教員ニ於テ特ニ警衛ノ責ニ任シ其ノ教員不在ノ際ハ必ス相當代理者ヲ置クコト

第八條

御眞影又ハ 御眞影複寫ハ清淨ナル木材ヲ以テ製シタル二重ノ箱ニ奉藏シ奉藏室又ハ奉藏庫ハ最モ神聖ニシテ且水火災等ノ虞ナキ位置ニ之ヲ設ケ構造ヲ堅牢ニシ常ニ鎖鑰ヲ施シテ嚴重ニ奉護スヘシ

第九條

水火災等非常ノ場合ニ際シ危險ノ虞アルトキハ速ニ安全ノ位置ニ奉藏シ嚴重奉護スヘシ

第十條

左ノ各號ノ一ニ該當スルトキハ 御眞影又ハ 御眞影複寫ヲ縣廳ニ奉還スヘシ  
但シ第一號ノ場合ハ管理者第二號ノ場合ハ管理者學校長連署ノ上其ノ事由並期日ヲ豫メ知事ニ上申スヘシ

第十一條

前項ノ書類ハ町村ニ係ルモノハ島司郡長ヲ經由スヘシ

第十二條

本規則ニ關スル細則ヲ規定シタルトキハ監督官廳ニ關申スヘシ

●御眞影奉藏ニ關スル件

昭和三年五月十七日 學第三〇五六號通牒

御眞影奉藏方法ニ關シテハ明治四十五年一月本縣訓令第一號御眞影奉藏規則第七條乃至第八條ニ依ルヘキ義ニ有之從テ奉藏庫改築等ニ際シ一時他ノ場處ニ奉送ヲ要スル場合ニハ其ノ期間奉藏方法等ヲ具シ豫メ知事ノ指揮ヲ受ケラレ度右ノ規定上當然ノ義ニ候ヘ共誤解ノ向モ有之候ニ付爲念此段及通牒候也

●御眞影奉藏ニ關スル件

昭和六年九月八日 學第一、一六六號通牒

標記ノ件ニ關シテハ本年六月十一日學秘第四五三號通牒ノ次第モ有之夫々適當ニ御措置相成居リ候事トハ存候ヘ共今般其筋ヨリ縣下學校 御眞影奉藏狀況調査ノタメ派遣セラレタル係官ヨリ聽取セル奉護ニ關スル注意事項別記御參考迄ニ送附

第一節 御影、拜賀



第一節 御影、拜賀

候條御了知ノ上將來奉藏奉護ニ就キ御留意相成萬遺漏無キナ期セラレ度此段及通牒候也

一、奉藏設備方法

イ、奉藏庫コンクリート建ノ場合ハ建築後一ケ年經過スルニ非サレハ完全ニ乾燥セス而モ尙木造ニ比シ濕氣ニ對シテハ注意ヲ要ス

完全ナラシムル爲ニハ外壁ヲ「コンクリート」トシ内部ヲ桐材ニテ圍ムコト（桐材ハ他ノ何レノ木材ニ比スルモ組織凸凹ニ富ミ從テ内室ノ濕氣ヲ吸收シ恰モ海綿ノ如キ作用ヲナス）

桐材ヲ用ヒ難キトキハ他ノ木材ヲ用フルヨリハ「トタン」張トスルヲ可トス

ロ、奉藏箱（内箱）ハ必ス桐材ヲ用フルコト

ハ、御影ヲ奉藏庫ニ納ムルニハ可成充分乾燥セル上ニテナスヘキコト

ニ、御影ヲ奉藏箱（内箱）ニ納ムルニハ防虫竝ニ奉檢ニ便ナルタメ額縁ヨリ放シテ納ムルコト（額縁ヲ奉藏箱ノ底ニ置キ其ノ上ニ御影ヲ納ムル等）

二、防濕方法

イ、濕氣吸收ノ藥品ヲ奉藏庫内ノ隅ニ置クコト

最モ有効ナル防濕劑ヲアドソール（固形物）トス一立方坪ニ對シ一オンスノ割ニテ一ケ月間有効、右藥品ハ日光又ハ火氣ニテ乾燥スレハ更ニ使用シ得ルモ自然消耗ノ補給ヲ爲ス要アリ

ロ、大凡一ケ月毎位ニ御影ヲ奉檢スルト共ニ奉藏箱内ノ換氣ヲ計ルコト

三、防虫方法

イ、防虫劑トシテナフタリン樟腦ヲ用フルコト

ナフタリンヲ適當トス（樟腦ハ其ノ溶解物カ御影ニ附着シ化學作用ヲ起ス恐アリ使用上特ニ注意ヲ要スルヲ以テナリ）

ロ、防虫劑ハ奉藏箱（内箱）内可成御影ニ近ク且ツ其ノ溶解物カ附着セサル様ノ位置ニ置クコト（藥品ハ直接接觸セサル様清淨ナル西洋紙ニテ包ム等ノ措置ヲ要ス）

尙前記奉藏箱ノ構造ヲ工夫シ防虫ノ目的ニ叶フ様ニ爲セハ一層可ナリ

ハ、外箱中ニモ所々ニ防虫劑ヲ入ル、コト

●御眞影奉藏奉護ニ關スル件

昭和八年五月三十日 學第四〇三號通牒

御眞影奉藏奉護ニ關シテハ明治四十五年一月縣訓令第一號 御眞影奉藏ニ關スル規則ニ依リ平素充分御留意ノコトトハ存候へ共近來往々ニシテ恐多クモ汚損不敬盜難燒失等ノ事件起リシ事例モアルヤニ聞及ヒ候處右ハ不可抗力ノ場合無キニシモアラスト雖畢竟奉護上ノ注意ニ欠クルトコロアルカ故ニシテ眞ニ恐懼ニ堪ヘサルノミナラス現下ノ世相ニ鑑ミ國民教育上頗ル遺憾ノ次第ニ有之就テハ此際特ニ左記事項參照ノ上速ニ御眞影奉藏奉護ニ關スル細則ヲ制定若クハ改正シ將來一層周到細心ノ注意ヲ拂ヒ奉護上萬遺漏ナキナ期セラレル様致度此段及通牒候也

記

一、奉藏所ノ設備ニ就テハ常ニ細心ノ注意ヲ拂ヒ奉護ノ萬全ヲ期スルコト

一、屋外奉藏所ニ於テハ雨水ノ漏洩、滲透等ノ虞ナキ様充分注意スルコト

一、奉藏所内ニハ濕氣ヲ生シ易キニ付特ニ通風ニ留意シ防濕劑ヲ備フル等、（昭和六年九月八日學第一一六六號通牒參照）遺憾ナキナ期スルコト

一、奉藏箱内ニ往々紙魚發生シ其ノ蝕害恐ルヘキモノアルヲ以テ防虫ニ關シテハ特ニ注意シ必ス防虫劑ヲ使用シ（昭和六年九月八日學第一一六六號通牒參照）

一、學校長ハ可成天氣晴朗ノ日ヲ選ビ毎月一回以上及奉掲日ノ前日 御眞影御異狀ノ有無ヲ奉檢スルト共ニ通風清掃ヲ行

第一節 御影、拜賀



第一節 御影、拜賀

フコト

尙奉檢日誌ヲ備ヘ其ノ都度狀況ヲ記録シ置クコト

- 一、御眞影ノ取扱ニ際シテハ清淨ナル手袋ヲ用ヒ直接手ヲ觸レサル様注意スルコト
- 一、奉揚ニ際シ 御眞影ヲ額ニ納メ奉ルトキハ先ツ白紙ヲ以テ硝子額縁等ノ濕氣ヲ拭取ルコト
- 一、御眞影ヲ式場ニ奉揚中ハ勿論其ノ前後ニ於テモ特ニ奉護上細心ノ注意ヲ拂フコト
- 一、奉藏外箱ニハ必ス鎖鑰ヲ施シ其ノ鍵(二個アル場合ハ之ヲ一括シ)ハ學校長之ヲ保管スルコト
- 一、奉藏所扉ノ鍵(二個アル場合ハ之ヲ一括シ)ハ勤務時間中ハ學校長ニ於テ、勤務時間外ハ宿直員(宿直ナキ場合ハ警衛責任者)ニ於テ保管スルコト

- 一、健ハ紙質強靱ナル封筒ニ入レ學校長ニ於テ封印(認印)ヲ施シ之ヲ容器ニ藏シ取扱上遺漏ナキヲ期スルコト
- 一、本項目ハ故アリテコ、ニ掲ケス

- 一、非常時ニ奉還スヘキ場所ハ豫メ數個所ヲ選定シ置キ非常ノ場合ニハ風向其他ノ狀況ヲ考察シテ最モ安全ノ場所ニ奉還シ嚴重奉護スルコト

- 一、非常時御眞影ヲ奉還シタル場合ハ御眞狀ノ有無其他ノ狀況ヲ速ニ知事ニ報告スルコト 御復歸シ奉リタル場合モ同様ノコト

- 一、平時ニ於テモ 御眞影奉護ニ關シ萬一異狀ヲ發見シタルトキハ假令程度輕微ナリト雖遲滞ナク報告スルコト
- 一、宿直日誌ニハ必ス 御眞影奉護ニ關スル一欄ヲ設ケ宿直員奉藏所巡視ノ時刻、異狀ノ有無及鍵ノ引繼等ニ關スル事項ヲ記載スルコト

- 一、宿直ナキ場合ニ於テハ奉護日誌ヲ備ヘ警衛責任者ハ奉藏所巡視時刻、異狀ノ有無及鍵ノ引繼等記載シ置クコト
  - 一、勅語曆本及圖書類ノ奉藏奉護ニツイテハ 御眞影ニ準シ遺憾ナキヲ期スルコト
- 本件ハ移ニツキ或項目ヲハ特ニ掲ケス

備考、式日等ニ校外ヨリ 御眞影ヲ奉還シ又奉還シ奉ルトキハ警察官ノ奉護ヲ依頼スヘキナ原則トス

●御眞影ヲ拜戴セル單級學校等職員ノ少數ナル學校ノ宿直ニ關スル件

明治四十五年二月 學第三六號通牒

從來 御眞影ヲ拜戴セル單級學校等職員少數ナル學校ニシテ宿直ヲ設ケ難キ事情アルモノ有之候ハ、其ノ奉護上ニ就キテハ事實並方法ヲ詳具シ貴官ヨリ知事ノ指揮ヲ受ケテ夫々措置セシメラレ度依命此段及通牒候也

●御眞影ニ不供儀方並開校式ニ奉拜方

明治二十七年五月 學第四七〇號通牒

- 一、小學校儀式ニ於テ 御眞影ニ供儀スルハ然ルヘカラス
  - 一、校舍新築移轉等ノ爲開校式ヲ行フ場合ニ於テ 御眞影ヲ奉拜スルハ妨ナシ
- 右命ニ依リ及通牒候也

●御眞影拜戴ノ件

大正八年十二月九日 學第二九八九號通牒

御眞影ノ拜戴ハ其ノ筋ヘ相當ノ手續ヲ要シ候間自今右拜戴方申請ハ左記ノ通御取計相成候様致シ度此段及通牒候也

記

- 一、御眞影ヲ一定ノ期日ニ拜戴方申請ノ場合ニハ該期日ヨリ少クモ五週間前申請書ヲ提出セラルヘキコト
- 一、御眞影ヲ拜戴スヘキ學校名ハ楷書又ハ行書ヲ以テ正確ニ記載セラルヘキコト
- 一、御眞影ヲ拜戴、轉載並教育勸語曆本ノ下付ハ各別紙ヲ以テ申請セラルヘキコト

●御眞影奉拜ノ件

大正九年十月二日 學第三三〇四號通牒

第一節 御影、拜賀



第一節 御影、拜賀

三大節其他之ニ準スヘキ祝祭日ニ際シ一般市町村民ニ 御眞影ヲ奉拜セシメタキ旨別紙寫ノ通大阪府知事ヨリ何出候處右ハ充分ナル注意ヲ爲シ學校長警護ノ下ニ相當禮容ヲ具フル者ニ限リ特ニ奉拜セシムルモ差支無之コトニ決定ノ旨文部次官ヨリ通知有之候條御了知相成度此段及通牒候也

(別紙)

學第四一九一號

大正九年八月三十日

文部大臣 中橋徳五郎殿

大阪府知事 池松時和

御眞影奉拜ニ關スル件

御眞影奉拜ニ關シテハ大正八年七月五日雜務六六號ヲ以テ地方長官ニ於テ公益ヲ目的トシ基礎確實ナルモノト認メタル團體ヨリ願出テタルトキハ三大節又ハ總會其ノ他集會開催ノ場合ニ奉拜セシメ差支無之旨御通牒相成候處當府ニ於テハ自今三大節其他之ニ準スヘキ祝祭日ニ際シ各學校ニ於ケル規定ノ儀式終了後在郷軍人會ノ外青年團、婦人會、同窓會ニ於テモ校内ニ於テ引續キ拜賀式ヲ舉行シ尙右終了後一定時間ヲ限リ充分ナル注意ノ下ニ相當ノ禮容ヲ具フル一般市町村民ニ對シテモ 聖影奉拜ノ機會ヲ得セシメ候條致度右ハ廣ク國民ヲシテ優渥ナル 聖恩ニ感激セシメ國民徳道ノ樞軸タル忠誠ノ觀念ヲ涵養セシメントスル本旨ニ外ナラス而シテ學校ノ教育及管理上格別支障無之ニ付實施差支ナキモノト被存候ヘ共一應御指揮相度此段上申候也

●御眞影奉掲ノ件

大正九年十月二十二日 學第三五三二號通牒

天皇 皇后兩陛下御眞影ト共ニ 明治天皇 昭憲皇太后兩陛下御眞影ヲ同時ニ奉掲セラレル場合ニハ左記ノ通奉掲スルコトニ定メラレタル旨其筋ヨリ通牒有之候條御了知相成度此段及通牒候也

トニ定メラレタル旨其筋ヨリ通牒有之候條御了知相成度此段及通牒候也

記

奉掲順序 (臣下ヨリ向ツテノ位置)

昭憲皇太后

明治天皇

皇后陛下

天皇陛下

此間ニ適當ノ間隔ヲ設ケラルルコト

●明治天皇 御眞影奉戴方

大正二年八月 受學第二九二三號通牒

明治天皇 昭憲皇太后ノ 御眞影又ハ 御眞影複寫ヲ現ニ奉戴セル學校廢止ノ場合ニハ之ヲ奉還セシムヘキ義ニ有之候處郡立町村立並學校組合等ノ廢置分合又ハ區域變更ノ結果形式上一旦廢校ノ上更ニ新設ノ手續ヲ爲シタルニ過キサレモノハ其實同一學校ニシテ通常學校廢止ノ場合ト全ク其趣ヲ異ニシ居候ニ付此等ノ學校ニ限リ従前ノ通轉戴ノ手續ヲ以テ其儘奉安セシメラレ差支無之候條御了知相成度此段及通牒候也

參照

學校ノ合併、分立、設立者變更等ノ場合ニ於テ舊來ノ學校ヲ廢止シ更ニ新設スルノ形式ニ依ルモ實質上従前ノ學校ヲ繼承シタルモノニアリテハ前通牒同様其儘奉安セシメ差支無之旨大正三年七月受學第三五三一號通牒アリ

●昭憲皇太后 御眞影奉戴方

大正三年七月 受學第三五三一號通牒

昭憲皇太后ノ 御眞影ハ現ニ奉戴セル學校ニ於テ其儘奉重ニ奉安シ

第一節 御影、拜賀



第一節 御影、拜賀

明治天皇祭ノ節

明治天皇ノ御眞影ト共ニ奉掲シ又ハ

昭憲皇太后ヲ記念シ奉ルヘキ機會ニ之ヲ奉掲シテ職員生徒兒童ヲシテ敬禮セシメラル、様致度此段及通牒候也

●新年紀元節天長節明治節參賀ノ儀

昭和三年二月七日  
島根縣訓令第五號

新年紀元節天長節明治節參賀ノ儀左ノ通定ム

一、判任官判任待遇者(以上有位帶勤者ヲ除ク)ハ當日午前九時縣廳へ參賀スヘシ但シ支廳勤務ノ者ハ支廳へ官國幣社神

職ハ其ノ神社へ參賀スヘシ

一、遠地奉職ノ者又ハ職務ニ依リ參賀シ難キ者ハ賀表ヲ差出スヘシ

一、病氣又ハ忌服等ノ事故ニ因リ參賀シ難キ者ハ其ノ參賀時限迄ニ届出テ忌服ノ外ハ尙賀表ヲ差出スヘシ

一、參賀又ハ賀表ヲ受ケタル支廳長官司ハ其ノ旨開申スヘシ

明治二十七年十月島根縣訓令第七十一號及同年同月島根縣訓令第八十八號ハ之ヲ廢止ス

賀表様式

横二ツ折

折目

Blank area for the folded card template.

謹ミテ  
新年ヲ賀シ奉ル

(紀元節)  
(天長節)  
(明治節)

折目

年月日

官職

氏

名

連名ヲ以テスル場合ハ此ノ間ニ列記  
スヘシ

折目

Blank area for the folded card template.

料紙ハ美濃紙トス

●新年紀元節天長節明治節賀表奉呈方

昭和三年二月七日  
島根縣告示第五二號

新年ニ拜賀又ハ參賀スヘキ者紀元節天長節又ハ明治節ニ參賀スヘキ者及新年ニ青山東御所ニ參賀スヘキ者地方ニ在ルトキ  
賀表奉呈方昭和二年十二月宮内省告示第三十一號ヲ以テ定メラレタルニ付同告示ヲ熟覽シ尙左記留意ノ上慎重ニ取計フヘ  
シ

一、用紙ハ大廣奉書(美濃紙ヲ代用  
スルモ妨ナシ)ノ全紙ヲ横ニツ折ニシ之ヲ縱四ツ折トナシ文字ハ眞體ニ認メ亂書等ヲナスヘカラス

第一節 御影、拜賀



第一節 御影、拜賀

- 一、賀表中番號宛名又ハ添書體ノ文字ヲ記入スヘカラサルハ勿論氏名ノ下ニ捺印スヘカラス
  - 一、判任官以下ノ有位有勳者ハ其ノ位勳功ノ資格ヲ以テ賀表ヲ奉ルモノニツキ官名ヲ記載スヘカラス
  - 一、賀表ヲ郵便ニテ差出ストキハ不足税又ハ未納税等ノ不都合ナキ様注意スヘシ
- 明治二十九年一月島根縣告示第十九號ハ之ヲ廢止ス

賀表様式

一一

折目

謹ミテ

新年ヲ賀シ奉ル

(紀元節)  
(天長節)  
(明治節)

折目

年月日

官位勳功爵

氏

名

折目

連名ヲ以テスル場合ハ此ノ間ニ列記  
スヘシ

料紙ハ大廣奉書トス但シ美濃紙ヲ代用スルモ妨ナシ

第二節 勅語、儀式

●勅語謄本下付ニ付訓示

明治二十四年一月  
島根縣訓示學第二號

明治二十三年十月三十日ノ勅語ハ教育ノ大本ニシテ臣民ノ常ニ奉體服膺スヘキ所ナリ乃チ文部省ヨリ交付ノ勅語謄本及  
文部大臣ノ訓ボチ公私立各學校ニ配布ス宜ク學校職員ヲシテ至誠事ニ從ヒ以テ 聖意ノ貫徹ヲ期セシメラルヘシ

●教育者ニ對シ下シ賜ハリタル勅語謄本取扱方ニ關スル件

昭和七年五月十九日  
學第五一〇號通牒

是ニ交付相成候標記勅語謄本取扱ニ關シテハ教育ニ關スル勅語謄本同様奉置相成度爲念此段及通牒候也

●勅語奉讀式舉行方ノ件

昭和七年十月二十二日  
學第九八二號通牒

明治二十三年十月三十日渙發セラレタル教育ニ關スル勅語ハ我カ固有ノ國體ニ基キ天地ノ公道ニ則リ萬世ニ亘リテ渝ラサ  
ル國民倫常ノ大綱ヲ昭示シ給ヒタル聖訓ニシテ本邦教育ノ精髓トシテ之カ徹底ヲ期スヘキハ申スマテモ無之又昭和六年十  
月三十日教育者ニ對シ下シ賜ハリタル勅語ハ教育教化ノ要諦ヲ明示セラレタル聖訓ニシテ教育者ノ德操識見ヲ砥礪シ感應  
風化ノ功ヲ全ウスル上ニ日夜服膺シテ怠ルヘカラサル儀ニ有之我國運ノ發展ニ伴ヒ益々國民精神ヲ作興スルノ要切ナルモ

第二節 勅語、儀式

一一



第二節 勅語、儀式

ノアルニ鑑ミ事ニ教育ニ當ル者以上ノ聖訓ノ御趣旨ヲ奉體シ克ク其ノ職責ヲ盡スハ極メテ肝要ト認メラル、ニ付自今毎年聖勅頒發ノ當日タル十月三十日ヲトシテ各學校ニ於テ 勅語奉讀式ヲ舉行シ教育ニ關スル勅語ニ就テハ職員並生徒兒童集ノ上學校長 勅語ヲ奉讀シ且之ニ關スル訓話ヲ行ヒ又教育者ニ對シテ下シ賜ハリタル勅語ニ就テハ職員(師範學校ニ於テハ生徒ヲモ加フ)會同ノ上學校長勅語ヲ奉讀シ相共ニ覺悟ヲ新ニスル様致度依命此段及通牒候也

●勅語原本及文部大臣訓示下付申請並返納方

明治二十四年四月 學第一三八號通牒

教育ニ關スル 勅語原本及文部大臣訓示ノ義ハ將來新設ノ學校幼稚園ヘモ下付可相成答ニ付右新ニ下付ヲ要スル校園ハ毎年十一月取經メ御申請有之度又廢校廢園ノ向ハ返納セシメ其都度御返付有之度此段申請進候也

●國民精神作興ニ關スル詔書ノ趣旨服膺方

大正十二年十一月三十日 島根縣訓令第四十二號

本月十日一般國民ニ對シ 優詔ヲ下シ給ヒテ國民精神ヲ振作シ國家興隆ノ道ヲ示サセ給フ 觀慮深遠誠ニ感激ニ堪ヘス 局ニ當ルモノ宜シク 詔書ノ御趣旨ヲ服膺シテ普ク一般ニ知悉セシメ更ニ進ンテ銳意教育ヲ振興シ民風ヲ作興シ自治ヲ刷新シ産業ヲ進暢シテ國家ノ隆昌ニ寄與實獻シ以テ 聖旨ニ副ヒ奉ラムコトヲ期スヘシ

●國民精神作興ニ關スル詔書ニ基ク學校教育ノ實績舉揚方

大正十三年十二月十七日 島根縣訓令第四三號

學校教育ノ本旨ハ教育ニ關スル 聖勅ヲ奉體シテ德性ヲ涵養シ知識ヲ研磨シ身體ヲ鍛鍊シ以テ健全ナル國民ヲ養成スルニ在リ各學校ニ於テハ固ヨリ此ノ趣旨ニ基キ常時適切ナル施設ヲ講究シ機宜ノ經營ニ努力スル所アルヘシト雖最近思想界ノ動搖ハ著シク青年子弟ニ影響シ動モスレハ輕佻浮薄頹廢萎靡ノ氣風ヲ醸成シテ校紀弛緩ノ聲ヲ聞クニ至レルハ甚ニ憂慮ニ堪ヘサル所ナリ

惟フニ客歲十一月國民精神作興ニ關スル 大詔ヲ拜シ國民ハ上下協贊積年ノ弊風ヲ打破シ拜家興隆ノ大本ヲ確立セサルヘ

カラサルノ秋ニ當リ學校生徒ニシテ苟モ放慢自ラ制セス奇矯之レ喜ヒ分ヲ論エ禮ヲ棄シ校風ヲ傷リ校規ニ悖ルカ如キ者アラハ固ヨリ嚴ニ之ヲ訓諭戒飭シテ改過悔悟ニ就カシメサルヘカラス而シテ之ヲ爲スニ當リテハ宜シク温情以テ之ヲ導キ和言以テ之ヲ教ヘ自覺自覺ノ餘地アラシムヘク徒ニ過惡ヲ暴白シテ譴呵處罰自暴自棄ニ陥ラシムルカ如キコトナカラシムヲ要ス若夫不素ノ教化訓育ハ常ニ家庭父兄トノ交涉連絡ヲ密接ニシ校門ノ内外ヲ通シテ監督留意ヲ怠ラス其ノ個性ト環境トニ適應シテ誘掖指導ノ方策ヲ講シ浮華放縱ヲ斥ケテ勤勉力行ヲ獎メ以テ實實剛健醇厚中正ノ氣風ヲ振起セシムヘシ 教職員タルモノ亦各自其ノ重責ヲ覺悟シ修養ニ努メ言動ヲ慎ミ和衷協力精勵格勦躬行範ヲ示シテ校紀ノ振肅ニ任シ専心學校教育ノ實績ヲ舉揚スルニ萬一ノ遺漏ナカラムコトヲ期スヘシ

●國際聯盟脫退ニ關スル詔書ノ聖旨奉體方

昭和八年四月十一日 島根縣訓令第一七號

今般帝國カ國際聯盟ヲ離脱シタルニ方リ長クモ 大詔ヲ渙發セラレ帝國ノ嚮フ所ヲ明ニシ今後ニ於ケル國民ノ覺悟ヲ垂教シ給ヘリ聖慮深遠洵ニ恐懼感激ノ至リニ堪ヘス局ニ在ル者宜シク 詔書ノ御趣旨ヲ奉體シ精勵格勦ヨク其ノ衝ニ當リ之ヲ普ク衆庶ニ徹底セシメ戮力一致難局ノ打開ヲ圖リ延テ皇國ノ隆昌人類ノ福祉ニ貢獻シ以テ 聖旨ニ副ヒ奉ラムコトヲ期スヘシ

●小學校教員御親閱記念式舉行ノ件

昭和十年二月十九日 學第一五五號通牒

客年四月三日 天皇陛下長クモ全國小學校教員代表者ヲ御親閱アラセラレ又親シク優渥ナル勅語ヲ下シ賜フ寔ニ恐懼感激ノ至ニ勝ヘス即チ此ノ光榮ヲ永ク心肝ニ刻スルト共ニ一層教育者精神ヲ作興シテ益々奮勵努力以テ聖恩ノ萬一二報ヒ奉ルノ覺悟ヲ新ニスル爲毎年四月三日ヲ記念日トシ當日左記ニ依リ記念式ヲ舉行相成様致度此段依命通牒候也

記

一、學校職員ハ各島郡市ヲ單位トシテナルヘク一ヶ所ニ集合シテ式典ヲ舉行スルコト

第二節 勅語、儀式



第二節 勅語、儀式

一、一ヶ所ニ集合困難ナル場合ハ數ヶ所ニ集合シ又ハ各學校別ニ式典ヲ舉行スルコト

●憲法發布式 勅語奉讀方

大正三年二月  
受學第四三三號通牒

中等教育程度ノ公立私立諸學校ニ於テ紀元節ノ舉式ニ際シ教育ニ關スル 勅語ノ外憲法御發布ノ 勅語ヲ奉讀スルハ憲法發布ノ大典ヲ記念セシムルノミナラス教育上必要ノ儀ト被存候ニ付自今之ヲ實施セシメラレ(セラレ)候様致度尙小學校程度ノ學校ニ於テハ單ニ右 勅語ノ御趣旨ニ副フヘキ訓話ヲ實施セシムル様御取計相成度依命此段及通牒候也

●紀元節舉式ノ際憲法發布ノ勅語ノ御趣旨ニ副フヘキ訓話ヲ爲スノ儀ニ關スル件

昭和八年二月一日  
學第一一四號通牒

標記ノ件ニ付テハ大正三年二月受學第四三三號ヲ以テ(島司)郡(市)長へ通牒ノ次第モ有之既ニ實施相成居リ候事ト存候へ共右ハ憲法ノ精神ヲ涵養スル爲ニモ教育上極メテ適當ナルニ拘ラス往々之ヲ實施セラレサル尙有之ハニ聞及ヒ遺憾ノ次第ニ有之就テハ自今必ス之ヲ施行相成様致度依命此段通牒候也

●明治節ニ關スル件

昭和二年十一月十一日  
學第六四一九號通牒

本年三月 詔書ヲ發シ明治節ヲ制定セラレ候處有ハ曠古ノ隆運ヲ啓カセタマヘル 明治天皇ノ遺德ヲ仰キ明治ノ昭代ヲ追憶セントスル旨趣ニ基カセラルルモノナルニ依リ今般學校ニ關スル諸法令中改正ヲ加ヘラレ(十一月二日官報參看)紀元節天長節及一月一日ノ外明治節ヲ加ヘ當日ハ職員生徒及兒童學校ニ參集シテ祝賀ノ式ヲ行ハシムルコトト相成候ニ就テハ此ノ旨趣ヲ體シ適當ニ御措置相成度依命此段及通牒候也

第三節 其他

他

●歷代天皇ノ御在位年數尊號等ニ關シ教授上注意ノ件

大正十五年十一月十九日  
學第四六〇四號通牒

標記ノ件ニ關シ爾今左記ノ通教授方御取扱相成度其ノ筋ヨリ來牒ノ次第モ有之此段及通牒候也

- 一、長慶天皇ノ御在位ハ紀元二千二十八年(正平二十三年)ヨリ紀元二千四十三年(弘和三年)マテニシテ御龜山天皇ノ御在位ハ紀元二千四十三年(弘和三年)ヨリ紀元二千五十二年(元中九年)マテナルコト
- 一、長慶天皇ハ後村上天皇ノ皇子ニシテ御龜山天皇ノ御兄上ニ當ラセラルルコト
- 一、後西院天皇ノ院字ヲ省キ後西天皇ト稱シ奉ルコト

●御肖像取扱ニ關スル注意方

大正九年八月三日  
島根縣告諭第一號

御肖像ノ取扱ニ關シテハ不敬ニ涉フサル様一般ニ注意ヲ要スル所ナリト雖近時新聞紙、雜誌其ノ他各種ノ出版物著シク増加シ從テ 行幸啓御成又ハ大祭祝日等ノ際之ニ 御肖像ヲ掲載スルコト多シ是レ實ニ新聞紙其ノ他出版物ニ依リ 皇室ノ御近況ヲ普ク一般ニ紹介シ尊敬ノ念ヲ深カラシムルニ外ナラサルモ民衆中動モスレハ不知不識之方取扱ヲ粗略ニシ 御肖像ノ掲載アル新聞紙其ノ他出版物類ヲ商品其ノ他ノ包裝用ニ供シ又ハ出版物ヲ露店ニ於テ販賣スル等 皇室ノ尊嚴ヲ侵ス場合ナキヲ保セス斯ノ如キハ實ニ恐懼ノ至ニ堪ヘサル所ナルヲ以テ自今 御肖像掲載ノ新聞紙出版物類ノ取扱ニ付テハ極メテ鄭重ニシ以テ苟モ 御肖像ニ對シ不敬ニ涉ルカ如キ舉措ニ出ツルコトナキ様一般ニ深ク留意セラレヘシ

●御眞影奉安殿又ハ奉安室ニ菊御紋章描出取締ニ關スル件

大正十三年十月三日  
保第五二八一號通牒

從來各學校ノ 御眞影奉安殿又ハ奉安室ニ菊御紋章描出ノ義ハ差許サ、ル取扱ニ相成居候處今後學校ヨリ直接申出タルモノニ限り之ヲ差許スモ支障ナキ旨警保局長ヨリ通牒有之候條爾今右ニ依リ御處理相成度此段依命及通牒候也

第三節 其他



追テ學校ヨリ直接申出ヲ爲スヘキ官廳ハ當該取締所轄警察官署ニ付爲念申添候也

●國體觀念涵養ニ關スル件

昭和三年五月八日  
島根縣訓令第一六號

國體觀念ヲ明徴ナラシメ剛健ナル國民精神ヲ涵養スルハ國民教養ノ眼目ニシテ從來屢々訓示セル所ニ係リ生徒兒童ノ教養上遺憾ナキナリ期セラレハ深ク信シテ疑ハサル所ナリ  
然ルニ曩ニ世界大戰亂アリシ以來歐洲諸國ニ於テハ政治經濟其ノ他社會狀態ニ變革動搖ヲ生シタルニ伴ヒ國家社會ニ對シ奇矯過激ナル新設ヲ唱導スルノ徒ナキニアラス近時我國ニ於テモ之方餘波ヲ受ケテ著シク世相ノ變移ヲ觀ルト共ニ往々國體ニ背キ國情ニ悖ルノ思想ヲ懷抱スル者アルニ至リ學生生徒ノ中ニモ亦之ニ誘惑セラレルモノアルノ傾向ヲ生スルニ至リシハ國家ノ爲一大恨事ト謂ハサルヘカラス  
惟フニ學生生徒ハ概ネ年少ニシテ思慮縝密ナラス隨テ新奇矯激ナル言論ニ心醉共鳴シ易キ趨向アルヲ免レズ外間高激ノ徒之ニ乘シテ極端偏倚ノ言ヲ弄シ或ハ國體ト相容レサルノ思想ヲ注入スルカ如キ事アラハ尙ニ當該學生生徒ノ不幸ナルノミナラス延イテハ國家存立ノ基礎ニ影響ヲ及ホスニ至ラムコトヲ怖ル局ニ教育指導ノ任ニ當ル者ノ深ク戒心セサルヘカラサル所以ナリ

抑モ光輝アル我カ國體ニ由來セル國民道德ヲ涵養シ國民精神ヲ作興スルハ我カ國家文教ノ根幹タリ是ヲ以テ學校ノ種類ト程度ノ如何ニ論ナク我カ國民ノ教養ハ一ニ我國體ノ精華ヲ發揚シ國運ノ隆昌ニ貢獻スルヲ以テ其ノ基本トナササルヘカラス知識ヲ世界ニ求ムルハ大ニ 皇基ヲ振起スル所以ニシテ進ムヤ其ノ序ニ循ヒ新ニスルヤ其ノ中ヲ執ルヘキハ 天皇陛下踐祚後朝見ノ儀ニ於テ宣示アラセラレタル所ナリ且夫レ教育教化ノ中樞ハ常ニ教育者指導者其ノ人ノ如何ニ存ス是ノ故ニ先ツ教育者指導者ニ於テハ深ク思ヲ潛メ我カ國體ノ本義建國ノ精神ニ關シ確乎不拔ノ信念ヲ有シ身ヲ以テ範ヲ示スハ勿論又常ニ青年子弟ノ意向ヲ察シ指導宜シキヲ制シ外間ノ誘惑ヲシテ荷モ之ニ乘スルノ間隙ナカラシメ以テ健全ニシテ有爲ナル國民ヲ養成シ教育教化ノ効果ヲ全ウセンコトヲ望ム

學校長並青年訓練所主事ハ能ク部下ヲ策勵シ前記ノ趣旨ヲ一層徹底セシムコトヲ期セラレヘシ

●國體ノ本義明徴ニ關スル件

昭和十年五月一日  
島根縣訓令第二三號

國體觀念ヲ明徴ナラシメ皇國ノ精華ヲ宣揚スルハ國民教育ノ要諦ニシテ從來屢々訓示セル所ニ係リ生徒兒童ノ教養上萬遺憾ナキナリ期セラレツツアルハ深ク信シテ疑ハサル所ナリ  
我カ國現下ノ情勢ヲ察フルニ刻下ノ急務ハ實ニ建國ノ大義ニ基キ日本精神ヲ作興シ國民的教養ノ完成ヲ期シ由テ以テ國本ヲ不拔ニ培フニ在リ我カ尊嚴ナル國體ノ本義ヲ明徴ニシ之ニ基キ教育ノ刷新ト振作トヲ圖リ以テ民心ノ奮フ所ヲ明ニスルハ文教ニ於テ喫緊ノ要務トスル所ナリ此ノ非常ノ時局ニ際シ事ニ教育教化ニ關スル者ハ眞ニ其ノ責任ノ重且大ナルヲ自覺シ教養上ノ趣旨ヲ體シ荷モ國體ノ本義ニ疑惑ヲ生セシムルカ如キ言説ハ嚴ニ之ヲ戒メ常ニ其ノ精華ノ發揚ヲ念トシ之ニ由テ自己ノ研ニ努メ子弟ノ教養ニ勵ミ以テ其ノ任務ノ達成セムコトヲ期スヘシ

●行幸啓ノ節生徒兒童敬禮方

明治四十三年九月十二日  
島根縣訓令第六八號

行幸啓ノ節生徒兒童ノ敬禮左ノ通定ム

行幸啓ノ節生徒兒童敬禮方

一、武裝携銃ノ場合

學校長及職員ハ全隊ノ右翼ニ指揮者ハ各中隊ノ右翼ニ位置シ豫メ劔ヲ銃ニ裝セシメ前驅ノ見エタルトキ「氣ヲ付ケ」ノ號令ヲ下シ直立不動ノ姿勢ヲ取ラシム御車力中隊ノ右翼約十歩ニ近キタルトキ「捧銃」ノ號令ニテ一齊ニ捧銃ヲナサシメ御車力中隊ノ左翼約十歩ヲ過キタルトキ元ノ姿勢ニ復セシム  
御車力中隊ノ左翼ヨリ通過スルトキハ學校長、職員及指揮者ハ左翼ニ位置ス

二、武裝セサル場合(女生徒ヲ含ム)

第三節 其他



第三節 其他

學校長及職員ハ前列ノ右翼ニ指揮者ハ各組ノ右翼ニ位置シ前驅ノ見エタルトキ「氣ヲ付ケ」ノ號令ヲ下シ一齊ニ脱帽セシメ直立不動ノ姿勢ヲ取ラシメ御車カ指揮者ノ前ニ達シタルトキ「禮」ノ號令ニテ敬禮セシメ（體ノ上部ヲ約三十度前方ニ屈シ御車ニ注目セシム）「直レ」ノ號令ニテ元ノ姿勢ニ復セシム御車カ組ノ左翼ヨリ通過スルトキハ學校長、職員及指揮者ハ左翼ニ位置ス

●學生生徒敬禮方ニ關スル件

大正六年十一月十三日  
學第二一九五號通牒

行幸啓ノ節學生生徒敬禮方ニ關シ今般關係府縣ニ對シ別紙ノ通牒相成候趣其筋ヨリ通牒有之候條御了知相成度此段及通牒候也

(別紙)

發普五一號(大正六年十月三十日 文部次官)

行幸啓ノ節學生生徒敬禮方ニ關シテハ明治四十三年八月文部省訓令第十八號並大正五年十月同訓令第五號及明治四十三年八月戊寅普一二三號通牒ノ次第モ有之候處來ル十一月京都府並滋賀縣下へ行幸啓被爲在候ニ就テハ右敬禮方ニ關シ學生生徒ヲシテ豫メ十分練習セシメラル等萬遺慮ナキ様持ニ御注意相成度尙位置ノ關係等ヨリ坐禮ニ依リ奉迎送ヲ爲ス場合モ可有之ニ付右ノ場合ノ敬禮ハ左記ノ通實施セシメラレ度依命此段及通牒候也

追テ號令ハ明瞭ニ發聲シク其ノ組ノ總員ニ行キ涉ル様持ニ注意セシメラレ度尙從來校旗等携帯ノ場合ニ於テ敬禮ノ際之ヲ前方ニ傾倒シ御馬ヲ驚シタル實例モ有之候ニ付校旗等ハ其ノ儘動カサシメサル様御注意相成度此段申添候也

「氣ヲ付ケ」ノ號令ニテ端坐シ「禮」ノ號令ニテ兩手ヲ膝ノ直前ノ地上ニ置キ體ノ上部ヲ前方ニ屈シ(約四十五度)御車ニ注目セシム「直レ」ノ號令ニテ元ノ姿勢ニ復セシム

●行幸啓ノ際取締方

大正二年十一月  
學第三三一號通牒

行幸啓ノ節學校生徒在郷軍人團其他各種團體ニ於テ旗手ヲシテ校旗等ヲ握持セシメ拜觀致居候處 御通過ノ際旗手ニ於テ旗ヲ操縱シ若ハ敬禮ヲ行フニ當リ體ノ上部ヲ前方ニ屈曲スルカ爲團體旗等ノ衛騎ニ觸レテ馬匹ヲ驚逸セシメ萬一肅簿ニ支障ヲ及ホス様ノコト有之候テハ恐懼ノ至ニ不堪次第ニ有之就テハ右諸學校團體等ノ旗手ハ 御通過ノ際旗ヲ操縱スルコトナク直立不動ノ姿勢ヲ嚴守シテ敬禮ヲ行ヒ體ヲ前方ニ傾ケ候コト無之様將來此ノ習慣ヲ馴致セシメラレ度其筋ヨリ申越ノ次第有之依命此段及通牒候也

●皇室諸令其ノ他ニ於テ指示セル通常服ノ件

昭和六年六月十二日  
官秘第一一八號通牒

從來皇室諸令其ノ他ニ於テ指示セララルル通常服トハ「フロッツコート」ノ義トセラレ居候處自今「モーニングコート」ヲモ通常服トセララルコトト相成候旨其ノ筋ヨリ通牒有之候條御了知相成度候也

●小學校長宮城並御所拜觀方ノ件

大正九年十月一日  
學第三三五九號通牒

自今小學校長ニシテ宮城並京都御所拜觀方出願ノ向ニ對シテハ特ニ許可セララルコトニ本省ニ於テ宮内省ト打合タル旨通牒有之候條希望者有之候場合ハ左記ノ通御取計相成度此段及通牒候也

記

- 一、宮城並京都御所拜觀ハ縣郡市ノ區域ニ依リ可成一團ノ員數總リテ出願スルコト
- 二、拜觀願ハ必ス縣ヲ經由シ文部大臣宛トシ拜觀希望ノ日ヨリ十日前ニ本省ニ到達スル様提出ノ必要アルニ付縣ハ二十日以前ニ到達スル様提出ノコト
- 三、團體ニハ必ス代表者ヲ定メ着京ノ上ハ文部省秘書課ニ届出ツルコト

第三節 其他



第三節 其他

- 四、出願書ニハ拜觀者並引率者ノ官職氏名表ニ通テ添付スヘキコト
- 五、拜觀希望ノ日時ハ何日ヨリ何日迄ノ間トシテ出願書ニ記載スヘキコト
- 六、服裝ハフロックコート、シルクハット又ハ黒丸形帽子ヲ着用ノコト但シ服制アル向ハ該服制ニ依ルモ差支ナシ履物ハ黒皮靴又ハ草履(女子)ニ限ルヘキコト但シ雨天ノ節女子ハ小間下駄ニテ差支ナシ

●小學校教員宮城竝御所拜觀ニ關スル件

大正九年十一月三十日  
學第三三九五號通牒

竝ニ小學校長ニ對シ宮城竝京都御所拜觀方許可セラルル旨通牒致候處爾今小學校ノ正教員ニシテ文部省ヲ經由拜觀方出願ノ向ニ對シテモ特ニ差許サルルコトニ宮内省ト打合セタル旨通牒有之候ニ付希望者有之候場合ハ本年十月一日學第三三五九號通牒ニ據リ出願候様御取計相成度候也

●小學校長及小學校正教員宮城竝御所拜觀ニ關スル件

大正十年六月十四日  
學第二一七八號通牒

小學校長及小學校正教員宮城竝御所拜觀出願方ニ就テハ客年十月學第三三五九號及同年十一月學第三三九五號ヲ以テ通牒相成候處暑中休暇仰出サレタル上ハ該期間中ハ拜觀方停止セラルヘキニ付御了知相成度此段及通牒候也

●小學校長竝正教員宮城拜觀ニ關スル件

大正十年十一月十日  
學第三四六三號通牒

客年十月一日學第三三九五號、同十一月三十日學第三三九五號ヲ以テ標記ノ件ニ關シ通牒置候處今般其筋ヨリ拜觀者心得方ニ關シ別紙ノ通牒有之候條右ニ依リ夫々貴部内ニ堅ク御示達相成度此段申進候也

宮城内拜觀者心得

引率者著京ノ際ハ文部大臣官房秘書課庶務掛へ出頭セラルルコト

○集合時刻 ○午前八時四十分

時間ハ必ス遲刻セサル様注意アリタシ

○集合所

○乾御門(聯隊銅像前ノ黒キ大キナ御門)「通用門」ト稱ス

○點呼

○引率者ハ出發前必ス拜觀者氏名ヲ調ルコト

○引率者ハ御門出張ノ宮内省掛員ニ引率者ノ官職氏名ヲ記シタル名刺ヲ渡サルルコト

○不參者アルトキハ至急其ノ理由ヲ具シ大臣官房秘書課庶務掛ニ届出ツルコト

○拜觀當日俄ニ不參者アルトキハ取敢ヘス引率者ヨリ乾御門へ出張ノ宮内省掛員へ其ノ旨斷リ置キ拜觀後速ニ右手續テセラルルコト

○服裝

○左ノ服裝着用ノ儀ハ嚴格ニ御注意相成タシ

1、男子

イ、「フロックコート」「黒山高帽子」「黒靴」「ネクタイハ隨意」「ステッキ」ハ携フヘカラス  
ロ、府縣所定ノ制服、(立襟)制帽(海軍帽)

前二項ノ服裝ハ必ス着用セラルルコト、若シ萬一差支ヲ來シ止ムテ得サル場合ニ限リ特ニ「紋付羽織袴」

「黒山高帽子」「履物」ハ「黒靴」又ハ「草履」「足袋」(白黒隨意)ニテ默許セラルヘシ

◎注意「脊廣服」「中折帽」「赤靴」「白靴」ハ絕對ニ差許サス

2、女子

イ、「白襟紋付衣服袴着用」「普通衣服着用」「紋付羽織着用差支ナシ」  
ロ、履物ハ「黒靴」又ハ「草履」(雨天ノ際ニハ小間下駄)

○雨天ノ時高下駄使用ノ際ハ必ス御門ニ於テ「草履」ト穿キ換ヘノコト、雨具携帯ハ差支ナシ

○手荷物ハ小サキ風呂敷數包ノ外ハ携帯セサルコト

第三節 其他



第三節 其他

二四

- 拜觀願出ハ道廳長官、府縣知事へ右手續方必ス申請スルコト拜觀者追加願出モ必ス前同様ノ手續ニ依ラルルコト、以上ノ儀ハ當省へ到着ノ上申出ラルルトモ決シテ取扱ハサルコト
- 拜觀人名書ハ左ノ通り必ス添付セラルルコト、他省關係ノ分ハ混記セサルコト、人員ハ合計數ヲ記入ノコト
- 「宮城」二通「宮城、新宿御苑」三通「宮城、新宿御苑、京都御所」四通
- 新年一月十日以前、紀元節天長節祝日ハ前後二日ノ間ハ拜觀差許サレヌ
- 引率者ハ特ニ各項ニ對シテハ堅ク嚴守シテ違反者無之權充分ニ御注意相成タシ
- 電車便

●宮城内等拜觀者心得ニ關スル件

大正十一年六月十四日  
學第三四六三號通牒

小學校正教員宮城内等拜觀者心得ニ付テハ客年十一月十日學第三四六三號ヲ以テ移牒ノ次第モ有之候處今般其筋ヨリ再應別紙事項ニ關シ通牒有之候條右ニ依リ夫々貴部内ニ堅ク御示達相成度申進候也  
追テ別紙事項ハ從來所定ノ事項ニシテ反則ノ事例多キモノ竝ニ取扱上新ニ必要ナル事項ヲモ併セテ掲ケラレタル次第ニ付御了知相成度

記

- 一、拜觀願出ハ拜觀希望期日ヨリ十五日以前ニ本省へ到達ノコト
- 希望期日ハ少クトモ五日以上ノ間ニ於テ豫定シテ申出テ(例希望期日六月一日ヨリ六月五日マテノ間)京都御所拜觀ノ向ハ別ニ豫定日ヲ記載ノコト
- 一、拜觀竝拜觀者追加方願出ハ必ス地方長官ヲ經由スルコト
- 引率者又ハ本人等本省へ出頭ノ上直接申出ツルモ受理セス

一、拜觀者人名書中ニ他省關係ノ分ハ必ス記入セサルコト

本省ニ關係ナキ者ノ記入アルトキハ適宜之ヲ削除ス

一、拜觀人名書ハ必ス別紙ニテ左ノ通り添付ノコト

○拜觀一箇所ナルトキ 二通

○同 二箇所ナルトキ 三通

○同 三箇所ナルトキ 四通

一、宮城竝新宿御苑拜觀ハ左ノ期間ハ差許サレヌ

新年ハ一月十日以前

歳末ハ二十五日ヨリ以後

紀元節、天長節、前後三日間

新宿御苑ニ限リ四月中旬

一、一度拜觀シタルモノハ成ルヘク再ヒ願出サルコト

一、拜觀者ハ本廳ヨリ拜觀期日通知ノ上出發スルコト特別ナル事由ナキ限ハ拜觀期日決定ニ先チ上京等ノコトナキ權嚴達

ノコト

一、引率者ハ拜觀前日迄ニ必ス文部大臣官房祕書課庶務掛ニ出頭スルコト

一、前通牒ニ巨細記載シ置キタル所定ノ服裝ヲナササル者ニハ決シテ拜觀差許サレサルニ付服裝ノ定メテ嚴守スルコト

但シ新宿御苑ハ背廣服、中折帽、羽織袴ニテ拜觀差支ナシ

●御所離宮及御苑ノ拜觀ニ關スル件

御所離宮及御苑ノ拜觀ニツキ、官祕一〇六號昭和十一年九月十日付ヲ以テ宮内次官ヨリ通牒有之タルニツキ拜觀希望者ハ

第三節 其他

二五



同通牒熟覽セラレタシ

主要ナル點

- 一、拜觀許可ノ個所ヲ廣クセラレタルコト 明記シアリ
- 一、拜觀者ノ資格
- 個人拜觀ニ於テ(判任官待遇、公立小學校長等ノ如シ)一定ノ資格ヲモツ拜觀者ニハ其ノ配偶者父母子ニ迄及ホサレタルコト
- 以下省略

## 第二章 教育總規

### ●小學校ニ於テ幼學綱要尊重保存方

明治三十四年十月 視學第一〇四號通牒

小學校ニ於テ幼學綱要取扱方粗漏ニ流レ缺本相成候向モ有之ヤニ相聞エ候處ニ尊ノ 思召ニ出テ下賜相成タルモノニ候ヘハ一般書籍ト其取扱ヲ異ニシ鄭重保存候様御取締相成度依命此段申越候也

### ●宗教上ノ教育ヲ施シ宗教上ノ儀式ヲ行フコトヲ得サル件

明治三十二年八月二十五日 島根縣訓令第一〇九號

一般ノ教育ヲシテ宗教ノ外ニ特立セシムルハ學政上最必要トス依テ公立學校及學科課程ニ關シ法令ノ規定アル學校ニ於テハ課程外タリトモ宗教上ノ教育ヲ施シ又ハ宗教上ノ儀式ヲ行フコトヲ許ササルヘシ

### ●家庭教育振興ニ關スル件

昭和六年二月十日 島根縣訓令第四號

家庭教育振興ニ關スル件

國運ノ進展ハ健全有爲ナル國民ノ力ニ俟ツヘク健全有爲ナル國民ノ養成ハ學校教育並社會教育ニ負フ所大ナリト雖之カ根蒂ヲナスモノハ實ニ家庭教育タリ蓋シ家庭ハ心身育成人格涵養ノ苗圃ニシテ其ノ風尙ハ直チニ子女ノ性行ヲ支配ス往時我カ國民ハ概シテ家風ノ顯揚ヲ旨トシテ庭訓ヲ數キ家庭ハ實ニ修養ノ道場タルノ觀ヲ呈シタルモノ決シテ故ナキニ非ス今テ教育益々普及シ文化愈々發達シ民風動モスレハ放縱ニ流レ詭激ニ傾カントスル情勢アルハ教育ヲ以テ學校ニ一任シ家庭ハ其ノ責ニ與ラサルカ如キ家庭教育ノ不振之カ重要原因ヲナスモノニシテ國民ノ深ク省慮スヘキ所タリ此ノ時ニ當リ家風ノ顯揚庭訓ノ振作ヲ旨トセル我カ邦固有ノ美風ヲ振作シテ家庭教育ノ本義ヲ發揚シ更ニ文化ノ進運ニ適應シテ家庭生活ノ改善



ヲ圖ルハ洵ニ現下ノ急務タルヲ疑ハス  
 家庭教育ハ固ヨリ父母共ニ其ノ責ニ任スヘキモノナリト雖特ニ婦人ノ責任重且大ナルモノアリ從ツテ斯教育ノ振興ハ先ツ  
 婦人團體ノ奮勵ヲ促シテ之ヲ通シテ一般婦人ノ自覺ヲ喚起スルヲ主眼トスコレ本縣ニ於テ各島郡市町村婦人會並本縣聯合  
 婦人會ノ發達ヲ獎勵シ文部省亦各地婦人團體並大日本聯合婦人會ノ進展ヲ所期セラル、所以ナリトス今ヨリ後各婦人團體  
 ハ會員ノ智徳ヲ涵養スルト共ニ公共生活ニ必須ナル教養ヲ與ヘ家庭ニ於ケル子女ノ看護教養ニ就テ實際ノ指導ヲ施シ家庭  
 生活ノ改善趣味ノ向上ヲ期スルト共ニ其風美俗ノ維持發達ヲ圖リ教育教化並社會事業等ニ關係アル諸機關ト密接ナル連繫  
 ナ保ツ等荷モ家庭教育ノ振興ニ資スヘキモノハ大小トナク之カ施設ヲ講シテ其ノ徹底ヲ期スルヲ要ス教育關係者ハ右ノ趣  
 旨ヲ體シ今後一層斯教育ノ振興ヲ圖リ各種教育ト相俟チ健全有爲ナル國民ヲ養成スルニ於テ萬遺憾ナキヲ期スヘシ

●言語風俗ノ改善ニ關スル件

明治四十一年三月二十五日  
 島根縣訓令第一四號

小學校教育ノ本旨ハ固ト兒童心身ノ發達ヲ計ルニアリ而モ其ノ發達ハ市町村ノ發展トナリ郡縣ノ富強トナリ依テ以テ國家  
 隆運ノ基礎ヲ爲スヤ明ナリ我島根縣ハ雲石隱ノ三國ニ亘リ地勢延長交通モ亦便ナラス加フルニ往時數藩ノ領有ニ屬セシヲ  
 以テ人情風俗自ラ相同シカラス特ニ其ノ言語發音ニ至リテハ頗ル相異ルモノアリ之カ長所ヲ取リ短處ヲ捨テ混和協合以テ  
 新ニ一縣ノ美風良俗ヲ振作スルハ我縣ノ統一時期シ福此ヲ増進擴張スル上ニ於テ極メテ必要ノコトナリ而シテ是等ノ美風  
 良俗ヲ振作スルノ途ハ正ニ亦小學校教育ニ待ツノ至當ナルヲ信ス荷モ我縣教育ノ任ニ當ルモノハ能ク此ノ意ヲ體シ孜孜  
 シテ倦マザランコトヲ望ム近年三國出身ノ師範學校卒業者ヲシテ交互ニ任地ニ就カシメタルハ此ノ旨趣ニ他ナラス而シテ  
 逐年其ノ成績可良ナルヲ認ム若シ卒業者ニシテ進ミテ其ノ任地ニ就キ厚ク師弟ノ情誼ヲ温メ熱心ニ言語風俗ノ改善ニ力ヲ  
 盡シ歲月ヲ閱シテ怠ルコトナクハ必スヤ縣内統一ノ美風良俗ヲ習成シテ遺憾ナキニ至ルヘシ教育關係ノ官衙公署及學校ハ  
 此ノ方針ニ依リ相一致シテ之カ實踐ニ努メ以テ他日ノ効果ヲ收メシコトヲ期スヘシ

●學校教員生徒ヲ引率演劇其他興行觀覽取締方

明治四十三年九月  
 學第二二三號通牒

近來學校教員ニシテ生徒ヲ引率シ演劇其他之ニ類似ノ興行ヲ觀覽セシムル向有之哉ニ候處右ハ教育上考慮ヲ要スヘキ義ニ  
 付將來右種ノ事無之様御取締相成度此段及通牒候也

●教員生徒ノ男女打混シ舞踏又ハ活人畫等ノ行爲取締方

明治四十年七月  
 學第五四三號通牒

教員又ハ生徒ニシテ男女打混シ舞踏又ハ活人畫等青年ヲ誤リ易キ舉動ヲ爲スカ如キハ教育上弊害ヲ生スル虞餘カラスト被  
 認候ニ付學校ノ内外ヲ問ハス右種ノ行爲無之様御取締相成度依命此段及通牒候也

●學校ニ於テ催眠術不施行方

明治三十七年八月  
 學第八四五號通牒

學校ニ於テ成年未滿ノ生徒ニ對シ教授上ノ手段トシテ催眠術ヲ施スハ教育上弊害ヲ生スル虞有之候趣其ノ筋ヨリ通牒ノ次  
 第モ有之候條御注意可有之依命此段違候也

●生徒ノ飲酒取締方

明治四十三年一月二十一日  
 島根縣訓令第二二號

學校生徒ノ飲酒ハ教育上取締ヲ要スヘキハ言ヲ俟タス從來各學校ニ於テモ常ニ適當ノ方法ヲ講シテ訓諭監督ヲ怠ラサルハ  
 本官ノ認ムル所ナリ然レトモ訓育ノ實効ヲ擧ケントセハ學校ト家庭ト常ニ聯絡ヲ保タンコトヲ要ス因テ各學校ニ於テハ自  
 今飲酒ノ取締ニ就キ一層家庭ト聯絡ヲ保ツコトニ注意シ以テ教育ノ効果ヲ完ウセンコトヲ努ムヘシ

●未成年者飲酒禁止法ニ關スル件

大正十一年六月十三日  
 學第一四〇三號通牒

學校生徒ノ飲酒取締ニ關シテハ明治四十三年一月島根縣訓令第二號ヲ以テ訓示ノ次第モ有之從來既ニ適宜ノ方法ヲ講セラ



レ候事ト信シ候モ本年三月二十九日法律第二十號ヲ以テ未成年者飲酒禁止法公布相成候ニ付テハ同法ハ學校生徒兒童ニ極メテ密接ノ關係有之候條此際特ニ職員生徒兒童及其家庭ニ對シ該法律ノ趣旨ヲ徹底セシメ萬遺憾無キ様御配慮相成度此段依命及通牒候也

●校旗團旗及長上ニ對スル敬禮樂譜ニ關スル件

昭和八年十一月四日  
學第九九七號通牒

從來學校教練青年訓練所等ニ於テ校旗團旗及長上ニ對シ陸軍禮式所定ノ喇叭譜ヲ使用シアリシ向アルモ右ハ軍ニ於テ差支アルヲ以テ陸軍戸山學校軍樂隊ニ於テ別冊ノ如ク右喇叭譜ト類似ノ樂譜ヲ制定サレタルヲ以テ將來學校教練青年訓練等ニ於テハ之ヲ使用相成度此段及通牒候也

●學校ニ於ケル火器取締方

明治四十四年一月  
發學第二六號通牒

學校ニ於ケル火器ノ取締不注意ノ爲メ校舍其他重要ナル書器ヲ一朝ニシテ烏有ニ歸セシムルモノ年々其跡ヲ絶タス而シテ單ニ火器ノ不取締ニ基クノミナラス學校宿直ノ任ニ當レルモノニシテ往々其ノ任務ヲ懈怠シ爲メニ失火ノ因ヲ爲スニ至レルモノアルハ誠ニ遺憾トスル所ニ有之荷モ學校宿直ノ任ニ當レルモノハ學校諸般ノ取締ニ任スヘキハ勿論就中火器ノ取締ニ付テハ十分ナル注意警戒ヲ加フヘキ筈ナルニ或ハ濫リニ學校ヲ離レ或ハ盡スヘキ責務ヲ閑却スル者アリ甚不都合ノ次第ニ候條平素嚴重御取締相成其義務ヲ怠ル者ニ對シテハ假借スル所ナク相當手續相成度又火災豫防及生徒避難ノ方法等ニ付テハ明治四十年七月學第五〇五號ヲ以テ及通牒置候次第有之爾來右ニ準據シ相當施設セラレ居候事ト存候得共其未ダ適當ノ施設ヲ爲スニ至ラサルモノハ此際特ニ督勵ヲ加ヘラレ度尙左記ノ事項ハ取締上緊要ト認メ候條速ニ實施候様御取計相成度依命此段及通牒候也

一、御眞影ヲ奉藏セサル學校ト雖成ルヘク相當ノ設備ヲナシ職員(女教員ヲ除ク)ヲシテ交互ニ宿直セシムルコト但シ單

級又ハ學級ノ少ナキ學校ニシテ職員ノ配置又ハ人員ノ關係上交互ニ宿直ヲナサシメ難キ事情アルモノハ成ルヘク學校ニ近接セル位置ニ教員住宅ヲ設ケテ居住セシメ學校取締ノ任ニ當ラシムルコト

一、宿直ノ職員ニハ放課後三回以上校舍ノ内外ヲ巡視警戒セシムルコト

一、未ダ宿直ノ設ケナキ學校ニ於テハ放課後職員ニ於テ火器ヲ檢査シ火氣全クナキコトヲ認ムルニアラサレハ退出セシメサルコト

一、點燈器ノ油壺ハ必ス金屬性ノモノヲ用ヒシムルコト

一、理科教授用藥品ニシテ發火又ハ火ヲ誘發シ易キ虞アルモノハ成ルヘク嚴重ニ之ヲ藏置シ且ツ職員中之力取締擔任者ヲ定メ常ニ注意ヲ加ヘシムルコト

一、暖室用ノ火器ハ成ルヘク「ストーブ」ヲ用キシムルコト但シ煙突ノ掃除ヲ怠ラサル様注意ノコト

一、校舍及之ニ附屬セル建物内必要ノ場所ニハ點々消火器ヲ配備セシムルコト

参照

明治四十年七月學第五〇五號通牒火災豫防ニ關スル設備消防避難其他注意要領

第一、設備ニ關スル事項

一、講堂ト校舍トノ間校舍ト寄宿舎トノ間等ニ防火戸又ハ防火壁ヲ設ケルコト

一、特ニ消火用ノ井戸ヲ設ケルコト

一、消火器唧筒水桶其ノ他消防用具ヲ備フルコト

一、寄宿舎ニ救助袋及救助索ヲ備フルコト

一、校内中央ハ庭園ニ風致ヲ兼ネタル溜池ヲ設ケルコト

一、湯沸用竈ヲ石造トスルコト

一、教場廊下等ニ吊ルス洋燈ハ金屬ノ外圍ヲ有スルモノトスルコト

第二章 教育總規



第二章 教育總規

- 一、火鉢ニハ消火後不燃物製ノ蓋ヲナシ置クコト
- 一、火鉢ニハ三寸以上ノ脚ヲ付シ其ノ下ニ水ヲ挿入シ置クコト
- 一、炊事場ノ梁上ヲ鐵板ニテ覆フコト
- 一、寄宿生ニハ各自ニ麻繩及大風呂敷ヲ所持セシムルコト
- 一、寄宿舎寢室ニ蠟燭ヲ備ヘ置クコト
- 一、石油洋燈置場ノ位置ヲ適當ノ位置ニ定ムルコト並使用ノ場所ニハバケツニ砂ヲ入レ置クコト
- 一、普通消防用具ノ外隊旗及指揮旗ヲ定ムルコト

第二、消防及避難ニ關スル事項

- 一、非常心得其ノ他消防及避難ニ關スル規程ヲ定ムルコト
- 一、消防隊ヲ編制シ豫メ生徒ノ部署ヲ定ムルコト
- 一、學校内財産ヲ類別シ非常ノ際ノ持出順序ヲ定ムルコト
- 一、毎月一日消防用具ヲ檢査スルコト
- 一、毎月數回消防及避難演習ヲ行フコト
- 一、非常駐付人夫ヲ定メ置クコト
- 一、消防足留人夫ヲ置キ常ニ手當ヲ支給シ置クコト
- 一、病者非常手配並患者移動手續ヲ定ムルコト
- 一、常設唧筒用掛ヲ置キ掛員及生徒之ニ當ルコト
- 一、非常立退場ヲ設ケルコト
- 一、凡ソ煙ニ被ハレタルトキハ或ハ濕布ヲ含ミ或ハ壁ニ沿ヒ或ハ匍匐スル等ノ心得ヲ豫メ注意シ置クコト

第三、豫防注意ニ關スル事項

- 一、暖爐取扱方ヲ定ムルコト
- 一、煙筒ノ掃除ハ毎月少クモ二回以上之ヲ行フコト
- 一、消火壺及灰棄場ノ位置構造ニ注意スルコト
- 一、不寐番ヲ常置シ一時間一回屋舎内外ヲ巡視セシムルコト
- 一、毎夜生徒二名ツ、警戒當番ニ充テ半夜交代スルコト
- 一、職員中火元取締掛ヲ置キ巡視警戒スルコト
- 一、校内各部ノ監督責任者ヲ定ムルコト
- 一、洋燈掃除ハ必ス午前中ニ石油ノ出シ入レハ晝間ニ之ヲ爲サシムルコト
- 一、豫防及消防ニ關シ時々講話ヲナスコト

● 小學校ニ於テ生徒獎勵ノ爲賞牌ヲ佩用セシムル件ニ關シ心得方

明治二十八年九月  
學第七六四號通牒

小學校ニ於テ生徒ノ學業品行等ヲ獎勵スル爲メ賞牌ヲ佩用セシムルモノ有之候處(本年勅令第百十八號)發布ニ付テハ左ノ通御了知相成度依命此段申越候也

- 一、類似ノ標章トハ地金ノ何タルト圖樣ノ如何トヲ問ハス其章形及綬色ノ勳章記章ニ見紛ハシキモノト心得ラルヘシ其點左ノ如シ
- 一、綬色綬幅及章形ノ勳章記章ニ近似セルモノ
- 二、綬ヲ以テ章ヲ鈞懸シ勳章記章ノ如キ體裁ヲナシ之ヲ肋部又ハ喉下ニ佩用スルモノ
- 三、無綬ノ章ト雖星章ヲ佩フヘキ肋部ニ佩用スルモノ
- 四、綬ヲ單用スルモノト雖其染色形狀勳章記章ノ綬ト類似ノモノ

第二章 教育總規



第二章 教育總規

二、公然佩用トハ屋外、公然ノ集會、公然ノ場所等ニ於テ佩用スルコトト心得ラルヘシ故ニ學校生徒ニシテ校内ニ於テ若クハ其學校生徒ニ限リ他ノ屋内又ハ屏障アル場所ニ集會スル場合ニ於テ其實牌ヲ佩用スルハ妨ケナカルヘシ

● 兒童生徒ノ個性尊重及職業指導ニ關スル件

昭和三年四月四日 島根縣訓令第八號

學校ニ於テ兒童生徒ノ心身ノ傾向等ニ察ヘテ適切ナル教育ヲ行ヒ更ニ學校卒業後ノ進路ニ關シ青少年ヲシテ其ノ性能ノ適スル所ニ向ハシムルハ時勢ノ進歩ト社會ノ推移トニ照シ洵ニ喫緊ノ要務ニ屬ス隨テ學校ニ在リテハ平素ヨリ兒童生徒ノ個性調査ヲ行ヒ其環境ヲ考慮シテ實際ニ適切ナル教育ヲ施シ各人ノ長所ヲ發揮セシメ職業ノ選擇等ニ關シ懇切周到ニ指導スルコトヲ要ス是ノ如クシテ國民精神ヲ啓培スルト共ニ職業ニ關スル理解ヲ得シメ勤勞ヲ重ニスル習性ヲ養ヒ始メテ教育ノ本旨ヲ達成スルニ至ルモノナルヲ以テ自今各學校ニ於テハ左ニ掲グル事項ニ就キ特ニ深ク意ヲ用フヘシ

- 一、兒童生徒ノ性行、知能、趣味、特長、學習情況、身體ノ情況、家庭其他ノ環境等ヲ精密ニ調査シ教養指導上ノ重要ナル資料トナスコト
- 一、個性ニ基キテ其長所ヲ進メ卒業後ニ於テ職業ノ選擇又ハ上級學校ノ選擇等ニ關シテ適當ナル指導ヲナスコト
- 一、學校ハ前掲ノ教養指導ニ關シ父兄保護者トノ連絡提携ヲ密接ニスルコト

學校ニ於テハ克ク以上ノ旨趣ヲ體シ其目的ノ達成ニ努ムコトヲ望ム

● 同

前 昭和三年四月四日 學第六六六九號通牒

本日島根縣訓令第八號ヲ以テ標記ノ件訓令相成候處右實施ニ就キテハ特ニ左記事項御留意相成度依命此段及通牒候也

記

- 一、學校ニ兒童生徒ノ個性調査ニ關スル表簿ヲ備ヘ其個性、環境等ヲ觀察調査シテ之ヲ記入スルコト
- 一、兒童生徒ノ個性、環境等觀察調査ノ方法及記入ノ様式ニ關シテハ學校ニ於テ特ニ研究工夫スルコト

- 一、父兄保護者等ニ對シ訓令ノ趣旨ヲ周知徹底セシムルト共ニ連絡ヲ密接ニシ調査指導ノ效果ヲ擧グルコト
- 一、職業ノ指導ニ關シテハ地方ノ實情ニ應ジテ適切ナル方案ヲ定メ各科ノ教授ニ附帶シ又ハ適當ノ機會ニ於テ職業ニ關スル知識ヲ授ケ理解ヲ與フルト共ニ勤勞ヲ重ニスル習慣ヲ養成スルコト
- 一、職業ニ關スル實情ノ調査、適性ノ研究、職業ノ選擇等ニ關シテハ特ニ職業紹介所トノ連絡ヲ密接ニスルコト
- 一、師範學校ニ在リテハ生徒教養上特ニ訓令ノ趣旨ニ留意シ其卒業後就職ニ就キテ克ク此ノ目的ヲ達成セシメンコトヲ期スルコト
- 一、師範學校附屬小學校ニ於テハ速ニ訓令ノ趣旨ニ基キテ調査研究ヲ遂ケ之ヲ實施シテ地方小學校等ノ參考ニ資スルト共ニ生徒ノ教育實習上十分指導ヲ加フルコト

● 應召軍人ノ子女ニ對シ授業料減免又ハ學用品給與及其他ノ件

明治三十七年二月二十五日 島根縣訓令第一〇號

戰地ニ於ケル勤務ニ起因シテ死去シタル者ノ遺族ニ對シ市町村立小學校ニ於テ授業料ヲ減免スヘキコトハ既ニ明治二十九年勅令第五號ニ其ノ規定アリ今回ノ事變ニ際シ此趣旨ヲ擴充シテ出征又ハ應召ノ軍人ノ子女ニ對シ小學校ハ勿論其ノ他ノ學校ニ於テモ事情ノ許ス限リハ授業料ヲ減免ツ又ハ學用品ヲ給與スル等ノ法ヲ設ケ以テ軍人ヲシテ後顧ノ患ナカラシムヘシ

軍費供給ノ必要ハ教育費ニモ影響ヲ及ホシ新事業又ハ設備等ニ關シ一時ノ緊縮ヲ來スハ已ムヲ得サル所トス然レトモ之カ爲ニ教員ノ俸給ヲ削減シ又ハ兒童ノ就學數ヲ減少シ其ノ他教育ノ効果ヲ減退セシムルカ如キハ國力發展ノ基礎ヲ傷損スルモノナレハ務テ之ヲ避ケサルヘカラス而シテ經濟上節約ヲ圖ランカ爲ニハ小學校ニ於テハ二部教授ノ法ヲ採リ其ノ他ノ學校ニ於テモ亦臨機適宜ノ法ヲ講スル等適當ノ措置ヲ爲スヘシ



● 流行病等ニ依リ死歿シタル軍人家族ニ對シテモ授業料不徵收方

明治三十九年六月  
學第四九九號通牒

小學校授業料不徵收ニ關シ某縣ヨリ文部省ヘノ照會ニ對シ別紙ノ通回答相成參考トシテ通牒有之候條此段及通牒候也

(別紙)

明治二十九年二月勅令第五號第一條ニ依リ市町村立小學校ニ於テ授業料ヲ徵收セサルモノノ中軍人恩給法第二十七條第一ニ該當スル者ニハ明治三十五年四月軍人恩給法改正ノ結果流行病等ニヨリ死歿シタルモノヲ包含セサルコトニ相成候ヘ共右ハ同勅令ノ主旨ニ副ハサル權存セラレ候ニ就テハ此場合ニ於テハ改正以前ノ恩給法第二十七條第一ヲ適用致シ可然哉目下差掛リタル件相生シ候ニ付何分ノ御指示相成度此段及照會候也  
回答 (明治三十九年五月文部省普通學務局長)  
小學校授業料不徵收ノ件ニ關シ御照會ノ趣了承右ハ流行病等ノ死歿者ヲ包含セサルモノトシ御取扱相成可然ト存候此段及回答候也

● 高等小學校教育ノ改善ニ關スル件

昭和二年一月二十一日  
學第二七二號通牒

客年四月勅令第七十三號及文部省令第十八號ヲ以テ小學校令及同令施行規則中高等小學校ノ制度ニ重要ナル改正ヲ加ヘラレ本年四月ヨリ當然之カ實施ヲ要スル次第ニ候處此ノ改正ハ高等小學校カ國民教育ノ機關トシテ將又義務教育年限延長ノ實施ト相關聯シテ益々重要ノ度ヲ加ヘタルニ鑑ミテ之ヲ施行セラレタルモノニ有之其ノ實功ノ擧否ハ國運ノ進展ニ至大ノ關係ヲ有スルコト言テ俟タサル所ニ有之候現今本縣ニ於ケル高等小學校ハ總テ尋常小學校ニ併置セラレ其ノ教育ノ實績ヲ擧クルニ遺憾ノモノ少カラス候モ近時一般向學心ノ進步ニ伴ヒテ尋常小學校卒業後高等小學校ニ入學スル者逐年其ノ數ヲ增シ大正十五年ニ於ケル本縣下尋常小學校卒業者一万二千九百三十七ニ對シ高等小學校入學者八千四百二十八ニ及ヒ其ノ

比率百分ノ六十五ニ達スルノ情況ニシテ以テ高等小學校カ國民教育上極メテ重要ナル位置ニ在ルコトヲ知ルヘキ次第ニ候抑モ今次改正ノ要旨ハ高等小學校ノ教育ヲシテ單ニ尋常小學校ノ教育年限ヲ延長シ其ノ教育ヲ踏襲シテ之カ補習ヲ爲スカ如キヲ以テ足レリトセス此ノ時期ニ於ケル兒童心身ノ發達ニ應ジ一層進ミタル程度ニ於テ普通教育ヲ施シ智徳ノ教養ニ努ムルト共ニ職業ニ關スル基礎教育ヲ施シ其ノ教育ヲシテ特ニ實際生活ニ適切ナラシメ以テ最大多數ヲ占ムル中堅國民ノ養成機關タルノ職能ヲ發揮セシメントスルモノニ有之而シテ此ノ目的ヲ達成セムニハ從來ノ教育方法ニ改善ヲ加ヘ教員ノ研鑽修養ヲ促進シテ教授ノ徹底ヲ期スルハ勿論ノ義ニシテ更ニ其ノ教育ニ要スル設備ノ充實ニ努メ特ニ實業、手工、家事ノ實習上必要ナル設備ノ完成ヲ圖ルト共ニ配置教員數ヲ適當ニ増加シテ教授上教科目擔任制ヲ加味スルコト等ハ本改正ノ趣旨ヲ貫徹スル緊要事項ニ有之候仍テ今回改正ニ關スル勅令、其ノ他ノ法令ニ基キ左記高等小學校教育改善事項ヲ定メ候條管理者及學校長ニ於テ能ク協議シ土地ノ情況ニ最適切ナル方法ヲ考究決定ノ上新學年ヨリ實施相成度

高等小學校教育改善事項

教育ノ方針ニ關スル事項

一、高等小學校兒童ノ大多數ハ卒業後直ニ社會ノ實務ニ從事スヘキモノナルヲ以テ其ノ教育ノ内容ヲシテ實際生活ニ一層適切ナラシムルコト

二、尋常小學校ノ教育ヨリモ一層進ミタル程度ニ於テ道德教育並國民教育ニ力ヲ盡シ以テ兒童ノ徳性ヲ涵養シ國家觀念ヲ鞏固ナラシムルト共ニ公民的陶冶ニモ深ク留意シテ立憲自治ノ精神ヲ體得セシムルコト

教科目ニ關スル事項

一、左ノ教科目ヲ必修科目トシテ置クコト  
實業(農業、工業、商業ノ一科目又ハ數科目)、手工、圖畫、家事(女兒ニ限ル)  
注意

一、第三學年ニ於ケル圖畫、唱歌ハ隨意科目ト爲スコトヲ得但シ之ヲ學習セサル兒童ニ對シテハ其ノ每週教授時數ヲ他



- ノ教科目ニ配當スルコトヲ得
- 二、手工ハ實業ニ於テ工業ヲ學習スル兒童ニハ之ヲ課セサルコトヲ得但シ此ノ場合ハ其ノ每週教授時數ヲ他ノ教科目ニ配當スルコトヲ得
- 三、實業ノ教科目ヲ置キタル場合ハ兒童ヲシテ其ノ一科目ヲ擇選學習セシムヘシ但シ此ノ場合ハ其ノ卒業ニ至ルマテ之ヲ繼續履修セシム中途變更セシムヘカラス
- 四、小學校令施行規則第十八條ノ二ニ依リ實業ヲ隨意科目ト爲ス特別ノ事情トハ兒童ニシテ實業ヲ學習スルヨリモ普通ノ學科目ノ學習ヲ特ニ必要トスル事情ヲ有シ且其ノ數相當ニ多ク略學級ヲ編成スルニ足ル場合ヲ謂ヒ此ノ場合ニハ實業ヲ學習セサル兒童ニ對シテハ實業ノ每週教授時數ハ國語、算術、國史、地理、理科等ノ教科目ニ必ス之ヲ配當スヘシ
- 五、小學校令第二十條第三項及第六項ノ規定ニ依リ隨意科目ト爲シタル教科目ハ兒童力之ヲ學習スルト否トヲ定メタル後ハ其ノ卒業ニ至ルマテナルヘク中途ノ變更ヲ許スヘカラス
- 二、各教科目每週教授時數ノ配當ハ規定ノ範圍内ニ於テ最適當ニ之ヲ行フコト

教授及訓練ニ關スル事項

- 一、實業ノ教授ニ關シテハ特ニ左ノ事項ニ留意シ以テ實際生活ニ適切ナラシムルコト
  - イ、實業ニ關スル知識ヲ授クルト共ニ實習ヲ重シテ實業ニ關スル技能ヲ習練シ以テ職業ノ基礎的陶冶ノ徹底ヲ圖ルコト
  - ロ、實業ノ教授ハ農業、工業、商業ノ區別ニ拘泥スルコトナク或科目(例ヘハ農業)ヲ課スルニモ土地ノ情況ニ依リ適宜他ノ科目(例ヘハ工業又ハ商業)ノ教材ヲ加ヘテ實際生活ニ適應セシメ教材畫一ノ弊ニ陥ラサルコト
  - ハ、實業ノ教授及實習ハ他ノ教科目殊ニ地理、理科、手工、家事等ノ教授ト密接ナル聯絡ヲ保チ又兒童ノ工夫研究ヲ獎勵シテ知的興味及實行的興味ヲ喚起シ努力且實業ヲ尊重スルノ念ヲ涵養スルコト
  - 二、算術、手工、家事ノ教授ニ關シテハ特ニ左ノ事項ニ留意シ以テ社會ノ實務ニ當ルニ必要ナル知識技能ヲ得シムルコト

- イ、算術科ニ於テ數ノ代數的計算及幾何圖形ニ關スル知識ノ初步ヲモ授ケ且必ス珠算ヲ併セ課スルコト
- ロ、手工科ニ於テ女兒ニハ簡易ナル程度ノ手藝ヲ併セ課スルコト
- ハ、家事科ニ於テ家事ニ關スル知識ヲ授クルト共ニ適切ナル實習ヲ課シ以テ家事ニ關スル技能ヲモ得シムルコト
- 三、修身、國史ノ教授ヲ改善シテ益々徳性ノ涵養ト國家觀念ノ養成ヲ圖リ且立憲思想自治精神ノ啓發ニ努力スルコト
- 四、訓練ハ特ニ青年前期ニ於ケル心理並身體發達ノ情態ヲ順慮シテ活動的自治的共同的ノ陶冶ヲ重シ且學校生活全體ニ於テナルヘク其ノ機會ヲ多カラシメ以テ公民的訓練ノ徹底ヲ期スルコト

設備ニ關スル事項

- 一、實業、手工、家事ノ教授及實習ニ要スル設備ヲ充實スルコト
  - イ、學級數ニ等シキ員數ノ本科正教員ヲ置クノ外教科目、教授時數、兒童數ニ應シ必要ナル員數ノ本科正教員又ハ專科正教員ヲ置クコト
  - 二、教員ハ左ノ各項ニ準シテ之ヲ配置スルコト
    - イ、教員ハ一學級ニ對シ一人五分以上ノ割合ヲ以テ置クコト但シ一箇學級ノ學校ニ於テハ二人ヲ置クコト
    - ロ、學級ニハ學級主任教員ヲ置クコト
    - ハ、修身、國語若ハ修身、算術ノ教授ハ學級主任教員ヲシテ擔任セシムルコト

●高等小學校ニ實業科加設ニ付注意ノ件

明治四十四年一月十六日 鳥根縣訓令第一號

近來高等小學校ニ於テ概シテ農業又ハ商業ノ教科目ヲ加設スルニ至レルハ尋常小學校卒業者ニ對シ更ニ普通教育ヲ施シ品性ヲ陶冶シ常識ヲ進ムルト共ニ其ノ將來ノ生活ニ緊切ナル要素ヲ與フルニ於テ最モ適當ノ施設ナリトス然レトモ農業科加設ノ學校ニシテ未ダ實習地ノ設備ナキモノ又ハ之カ設備ヲナスモ狹隘ニシテ實習上不充分ノモノアルハ頗ル遺憾トスル所ナ



第二章 教育總規

リ抑農業科ニ於テハ兒童ヲシテ其ノ學フ所ヲ實地ニ應用セシムルニ非サレハ農業ノ趣味ヲ領得セシメ勤勞ヲ尊重スルノ習性ヲ養ハシムルニ足ラサルヲ以テ自今力メテ實習地ヲ設置シ教員自ラ兒童ヲ率キテ耕耘ニ從事シ以テ本教科目加設ノ趣旨ヲ貫徹セシメンコトヲ期セラレヘシ但シ實習地ハ必スシモ學校ノ附屬地タルヲ須ヒス適當ナル土地ヲ借入シテ之ニ充ツルモ亦可ナリ若シ已ムヲ得サル場合ニ在リテハ兒童ヲシテ各自父兄ノ農作地ニ於テ實習ヲ爲サシムル等便宜ノ方法ニ據ルコトヲ妨ケス要ハ町村ノ經濟ト地方ノ事情トヲ斟酌シテ相當ノ施設ヲ爲サシムルニ在リ又商業科ニ在リテハ其ノ教授ヲシテ土地ノ實際ニ適切ナラシムルト共ニ商業道德ノ涵養ニ努メシメ以テ本教科ノ成績ヲ擧ケシメンコトヲ期セラレヘシ

●高等小學校實業科目ニ關スル施設ノ件

明治四十四年一月  
受學第三五〇九號通牒

今般訓令第一號ヲ以テ高等小學校實業ニ關スル教科目ノ施設ニ關シ訓令相成候處農業科ヲ加設セル高等小學校ニ於テ實習地ヲ設ケ兒童ヲシテ其學習セル所ヲ實地ニ應用セシムルモノニアリテハ其成績佳良ニシテ其否ラサルモノニアリテハ成績モ亦十分ナラサルノ實況ニ有之候就テハ農業科ヲ加設スル場合ニ於テハ自今必ス便宜ノ方法ニ依リ教員自ラ兒童ヲ率ヒテ實習ヲ爲サシムル様御施設相成度尙此等實業科ニ關スル教科目ヲ擔任スル教員ノ爲メ特ニ講習ノ方法ヲ講セラレ、等十分該科加設ノ効果ヲ完ウセンコトヲ期セラレ度依命此段及通牒候也

●小學校ニ於ケル郷土資料調査方

大正元年十二月  
發學第二六一號通牒

小學校ハ豫テ其ノ市町村ノ狀況ヲ調査シ教育上ノ資料トナスニアラサレハ適確ニシテ活識アル教育ハ望ミ難キモノニ候處往々之カ調査ヲナスモ其ノ適用ヲ顧ミサルノ儀有之甚遺憾尠カラス候ニ付自今小學校ヲシテ左記要項ニ準シ其ノ市町村ノ調査ヲ遂ケシメ以テ郷土ニ對スル自覺ヲ興フル様取扱ハシメラレ度此段及通牒候也

追テ右資料ハ系統的ニ若ハ學年ヲ定メテ教授スルカ如キハ却ツテ適切チ欠クノ嫌可有之ニ付右様ノ事無之様爲念申添候也

記

市町村ニ關スル教育上ノ資料

- 一、位置、面積、氣候、人口及有爵位帶動者ニ關スル事項
- 二、富ノ程度
- 三、歳入出狀況
- 四、納稅狀況附納稅成績
- 五、生業ノ狀況
- 六、物貨集散狀況
- 七、交通狀況、附通信ニ關スル事項
- 八、教育狀況
- 九、衛生狀況
- 十、宗教附佛閣ニ關スル事項
- 十一、神社ニ關スル事項
- 十二、風俗習慣
- 十三、神話、傳説及歴史の事項、附名所ニ關スル事項
- 十四、其他教育上必要ト認ムル事項

輸出入品ノ名稱、數量

●裁縫教授ノ際羅尺又ハ羅形尺使用廢止方

明治三十九年三月  
視第六四號通牒

近來小學校ヲ始メ其他ノ學校ニ於テ裁縫教授ノ際羅形尺ニヨリテ教授シ生徒ヲシテ羅尺又ハ形尺（鯨尺七寸ヲ全長トシ最小

第二章 教育總規



第二章 教育總規

四二

目盛ヲ其ノ二百分ノ一トナシルルモノト稱スル法律ノ認メサル特種ノ度量器ヲ使用セシムルモノ不少哉ニ見受ケラレ候處  
元來土地ノ狀況ニヨリ實物ノ材料ヲ得カキ場合又ハ實物教授ニ入ルヘキ準備ノ爲等特別ノ必要アル場合ノ外ハ勉メテ實  
物ヲ用ヒテ教授シ其ノ技能ニ習熟セシムルコト必要ニ有之又假令離形教授ヲ爲ス場合ニ於テモ離尺ヲ使用セシムルハ距離  
ノ觀念ヲ混亂セシムル虞有之候ニ付普通ノ法定度量器(曲尺又ハ鯨尺)ニヨリ便宜其二分ノ一等ニ標準シテ使用セシメ現ニ  
離尺ヲ使用スル學校ニ在リテハ當該學校ノ本學年度限リ斷然廢止致候様公私立學校ニ御示達可相成其筋通牒ノ趣有之依命  
通牒候也

追テ主トシテ裁縫ヲ修ムル學校ニアリテハ教授上特ニ必要ト爲ス場合ニ於テハ必スシモ本文ニ依ラサルモ妨ナキ義ニ有  
之候尙農商務省ニ於テ度量器取締上不日難形尺ノ發賣禁止相成候事ト存候得共教授ノ目的ノ爲法律ノ範圍内ニ於テ使用致  
候丈ハ勿論差支無之候ニ付申添候也

理科教授ニ伴フ危險防止ニ關スル件

大正十二年三月二十七日  
學第九〇七號通牒

近時理科教授ノ振興ニ連レ生徒兒童ニ實驗ヲ課スルコト多キヲ加ヘ從ツテ之ニ伴フ危險モ亦多カラムトスル情況ニ有之候  
條將來一層此ノ點ニ注意ヲ致シ以テ危險ヲ未然ニ防止スル様御取扱相成度殊ニ左記各項ニ對シテハ特ニ注意ヲ拂ハシムル  
様致度依命此段及通牒候也

記

- 一、危險ノ虞アル實驗及劇藥毒藥等ノ取扱ハ兒童生徒ノ實驗ニ習熟セサル時期ニ於テハ成ルヘク之ヲ避ケシムヘク又之ヲ  
課スルニ至リテモ常ニ周到ナル注意ヲ拂フコト
- 二、劇藥毒藥等ノ管理ハ凡テ責任者ヲ定メ堅牢ナル器具ニ納メ嚴重ナル鎖鑰ヲ施シテ保管スルコト
- 三、劇藥毒藥等ハ教師監督ノ許ニ於テノミ所持若クハ使用セシムルコト
- 四、課外ニ於テ任意實驗ヲ許ス場合ニ於テモ可成教師指導ノ許ニ於テ行ハシメ特ニ危險ノ件ヲ實驗ハ必ス監督スルコト

學校用藥品取締ニ關スル件

大正十三年七月十日  
學第三八一九號通牒

學校ニ於ケル教授實驗實習等ニ使用ノ藥品中特ニ爆發性發火性引火性等ヲ帶フルモノノ取締保管貯藏等ニ關シテハ平素充  
分注意ヲ拂クヘキ義ニ候處往々其管理等ノ適當ナラサルカ爲圖ル可カラサル災危ヲ醸ス事有之候ハ誠ニ遺憾トスル所ニ候  
條此際一層周到ナル注意ヲ拂ヒ萬違算無キヲ期セラレ度此段及通牒候也

尋常小學校ニ於ケル手工科教授時數ノ件

大正十三年三月  
受學第七一〇號通牒

尋常小學校第四學年乃至第六學年ニ手工ヲ課スル場合ハ小學校令施行規則第四號表附記第二項ニ依リ每週二時之ヲ課スヘ  
キ義ニ有之候處自今等級編制其他止ムヲ得サル事情アルカ爲之ニ據リ難キ場合ニ於テハ每週二時以內ニ於テ便宜教授時數  
ヲ定ムルモ差支無之旨其筋ヨリ通牒相成候條此段及移牒候也

小學校兒童貯金規則

明治四十五年七月三十日  
島根縣訓令第四四號

小學校兒童貯金規則左ノ通定ム

明治二十一年十二月島根縣訓令第七十七號同年九月島根縣訓令學第二十四號ハ廢止ス

小學校兒童貯金規則

第一條 小學校ニ於テハ兒童ニ勤儉ノ美德ヲ涵養セシムカ爲其ノ勞動若ハ父母尊長等ヨリ受ケタル金錢ヲ節約シテ貯金  
ヲ行ハシムヘシ

第二條 小學校ニ於テハ兒童ノ貯金ニ關スル事務ヲ取扱フヘシ

第三條 兒童貯金ハ郵便貯金ト爲スヘシ但シ保護者ノ希望アリタルトキハ信用組合貯金ト爲スコトヲ得

第四條 兒童貯金ニ關スル事務ノ取扱ニ關シテハ學校長ノ外職員中若干ノ擔任者ヲ定メ常ニ其責任ヲ明ニスヘシ

第二章 教育總規

四三



第二章 教育總規

四四

第五條 小學校ニ於テハ兒童貯金ニ關スル臺帳ヲ整備シ其出納ヲ明ニシ受入及ハ預入ノ手續ヲ爲ス毎ニ學校長ハ之ヲ兒童保護者ニ通知スヘシ

第六條 學校ニ受入タル金額郵便貯金ニ預入ノ額ニ達セサルモノハ相等ノ額ニ達スル迄確實ノ方法ヲ以テ學校長之ヲ保管スヘシ

第七條 貯金ハ止ムヲ得サル事故ノ外ハ成ルヘク拂戻ヲ爲サシムヘカラス

第八條 兒童ノ卒業、退學又ハ死亡シタルトキハ學校長ハ貯金通帳及第六條ノ保管金ヲ直ニ其保護者ニ交付スヘシ

第九條 學校長ハ毎年一月末日迄ニ別記様式ニ依リ兒童貯金ノ狀況ヲ知事ニ報告スヘシ

附 則

第十條 師範學校ニ於テハ本規則中小學校長ノ職務ニ關シテハ附屬小學校主事之ヲ行フヘシ

第十一條

本規則ニ關スル細則ハ學校長之ヲ定ムルコトヲ得

小學校兒童貯金狀況

大正 年十二月三十一日現在

種 別	在籍兒童總數		貯 金 兒 童		在籍兒童百人ニ對スル貯金兒童ノ歩合(單位以下二位マテ算出)	貯金兒童一人平均貯金額(單位ニ止メ四捨五入算出)
	男	女	人 員	金 額		
尋 常 科						
高 等 科						
合 計						

● 兒童財金ニ關スル件

大正八年三月 學第四三八號通牒

小學校兒童貯金ハ卒業期ニ際シ從來往々ニ其全員ニ涉リ全拂ヲ爲ス者有之候處右ハ折角教養ノ結果漸ク萌芽セル貯蓄ノ美風ヲ挫折セシムル義ニシテ甚ダ遺憾ニ存候右原因ニ就テハ是等貯金ハ學校長等ノ代印者トナレルモノカ卒業ト同時ニ其代印者ノ關係ヲ斷ツ爲ニ全拂ヲナスニ非サト認メル節有之候ニ付代印者廢止若クハ變更ノ方法等ニ依リ卒業後ト雖モ繼續預入セシメ度旨爲替貯金局長ヨリ申越ノ次第モ有之候處右ハ貯金獎勵上最モ必要ノ事ト認メ候ニ付相當方法ヲ講セラレ度此段及通牒候也

● 同

前 大正八年二月一日 學第一九九號通牒

小學校兒童ノ貯金ニ就テハ明治四十五年七月本縣訓令第四十四號ヲ以テ訓令相成居候處兒童中任意ニ銀行又ハ信用組合等ニ預金ヲ爲シ居ル者モ可有之候條自今郵便貯金狀況報告ト同時ニ種類別ニ右様式ニ準シ御取調ノ上報告相成度此段及通牒候也

● 小學校兒童ノ晝食ニ關スル矯弊方

大正二年一月 學第一二號通牒

縣下小學校及實業補習學校ニ於テ兒童ノ晝食ハ實際家庭ニ於テハ麥飯又ハ薩摩芋等ヲ食用スルニ不拘學校ニハ米飯ヲ攜帶スル者有之候ハニ相聞エ候處斯クテハ普ニ家庭ノ勞力ヲ増スノミナラス經濟上ニモ關係スル所不貽且訓練上惡影響ヲ及ホ

第二章 教育總規

四五



第二章 教育總規

四六

ス虞モ可有之存候條若シ右ニ該當ノ事實有之候ハハ將來斯ル事無之様注意セラレルト同時ニ地方ノ狀況ニ依リ必要ノ場合ハ教師自ラ範ヲ示シテ參飯又ハ他ノ雜穀ヲ糞食トシ前陳ノ如キ惡弊ノ矯正ニ努メシメラレ度此段申進候也

●小學校兒童ノ修學旅行並運動會舉行ニ關スル手續其他ノ件

明治四十三年四月  
發學第二號通牒

小學校ニ於ケル兒童（師範學校ハ附屬小學校ニ於ケル兒童）ノ修學旅行並運動會ニ關シテハ明治三十六年十一月視第號通牒ノ次第モ有之候處右ハ將來左記ニ依リ御取計可相成依命此段及通牒候也

- 一、尋常小學校第四學年以下ニ於テハ宿泊ヲ要スル修學旅行ハ行ハシメス一日限りノ旅行ト雖全級又ハ全校ノ兒童ノ旅行シ得ル場合ノ外行ハシメサルコト
- 二、尋常小學校第五六學年及高等小學校ニ於テハ特別ノ事情アル場合ノ外宿泊ヲ要スル旅行ハ行ハシメサルコト一日限りノ旅行ニ關シテハ尋常小學校第四學年以下ニ同シ
- 三、宿泊ヲ要スル修學旅行ハ其目的及方法ヲ具シテ監督官廳ノ指揮ヲ受ケシムルコト（本項ハ師範學校ヲ除ク）
- 四、運動會ハ春秋各一回ニ限ルコト
- 五、敎校聯合シテ運動會ヲ舉行スルハ附近ノ學校ノミニ限ルヘキコト
- 六、運動會ノ爲メ其翌日休業スルコトハ可成ナサシメサルコト

●兒童修學旅行ニ關スル件

昭和十年六月十四日  
學第四九三號通牒

宿泊ヲ要スル場合ニ於ケル兒童修學旅行ハ自今左記各項ニ準シ別紙様式ニ依リ管理者經由ノ上少クトモ一週間以前ニ到達ノ豫定ヲ以テ認可申請相成度此段及通牒候也

記

- 一、尋常小學校第四學年以下ニ在リテハ宿泊ヲ要スル修學旅行ハ之ヲ行ハシメサルコト

- 二、特別ノ事情アル場合ノ外尋常小學校第五、六學年ニ在リテハ一泊高等小學校ニ在リテハ二泊ヲ以テ限度トナスコト
- 三、參加兒童ハ當該學年兒童ノ四分ノ三以上タルコト
- 四、監督教員ハ兒童數三十人迄ハ二人以下三十人ヲ超ユル毎二人一人ヲ増スコト
- 五、目的地選定ニ當リテハ慎重ニ考慮スルコト
- 六、旅行日程ハ兒童ノ心身ニ及ホス影響ニ留意シ過重ニ亘ラサル程度ニ於テ計畫スルコト
- 七、經費支出ノ方法ニ就テハ可成保護者ノ負擔ヲ輕減スル様適宜ノ方途ヲ講スルコト

様式

年 月 日		市 郡		村 町		小學校長 氏		名		
知事宛 兒童修學旅行認可申請										
左記ノ通兒童修學旅行致度候條認可相成度此段申請候也										
目 的										
種 別	學 年	在籍兒童數	參加兒童數	參加歩合	教 督 監		職	名	氏	名



備考	經費		日 程	計
	支 法	一 人 當 童		

(用紙 半紙型)

●中等學校入學者性行調查ニ關スル件

大正十一年二月十四日  
學第四五二號通牒

中等諸學校ニ於テ生徒募集ノ際志願者ニ關スル小學校長ノ調査書ヲ徴スルコトニ相成居候處從來其ノ調査書往々粗略ニ失シ殊ニ小學校時代ニ於ケル不良性行ニ對シテハ之ヲ省略スルノ傾向アリ入學後事件發生シテ始メテ之ヲ知ルカ如キコト有之新クテハ教育上遺憾ノ次第ニ候條該調査書並其ノ他ノ照會ニ對シテハ事實其ノ儘ヲ可成詳細ニ記載シ教育上ノ參考資料ヲラシムル權御取計相成度依命此段及通牒候也

●中等學校入學者選抜方法

昭和二年十二月  
學校長會指示

一、入學志願者ニ關スル出身學校長報告要項

一、中等學校第一學年入學志願ニ就テハ出身學校長ニ於テ當該者ニ關シ左ノ事項ヲ詳細ニ調査シ志願中等學校長ニ直接報告スルコト

1、學業成績

- イ、學業成績ハ最終二學年間ノモノトスルコト
- ロ、成績ハ各學年別各教科目別ニ各學期成績及學年成績ヲ記載スルコト
- ハ、成績ノ表示ハ左ノ評語ヲ以テス

甲上 成績優良ノモノ (八十點以上)

乙上 成績普通ノモノ (六十點以上)

丙上 成績稍不良ノモノ (四十點以上)

丁 成績不良ノモノ (四十點未満)

ニ、學業成績表ニハ各學年別總兒童數並成績各評語別ニ該當兒童數ヲ附記スルコト

ホ、學業成績ニ關シテハ意見ヲ附記スルコト

2、身體狀況

身體狀況ハ大正九年文部省令第十九號學生生徒兒童身體檢查規程ニ準シ當該學校醫ノ檢查セルモノタルコト

3、性行

性質動作言語長所短所等ニ關スルコト

4、其他必要ナル事項

イ、家庭ノ狀況

第二章 教育總規



## 第二章 教育總規

### A、職業

### B、資力ノ概要

### ロ、進學志望ノ確否

ハ、卒業又ハ退學後ニ於ケル經歷及其成績

### ニ、性能ノ適否

二、前項ノ外志願中等學校長ヨリ要求アリタルトキハ出身學校長ニ於テ必要ナル調査書ヲ提出スルコト

三、報告書提出期日

入學願書提出ト同時ニ學校長宛ニ親屬發送スルコト

二、中等學校長ニ於テ施スヘキ選抜方法

省略

形式省略

### 調査書

#### 調査書記載上ノ注意

- 一、最終學年ノ學業成績ハ現ニ在學スル者ニ就キテハ第二學期マテノ成績ヲ記載スルコト
- 二、性行ハ性質ニツキテハ氣質才幹勤惰性癖嗜好等ニツキ動作ハ態度行爲等ニツキ其他成ルヘク具體的ニ記載スルコト
- 三、家庭ノ職業中職業ヲ異ニスルモノアルトキハ成ルヘク各別ニ記載シ且具體的ニ職業名ヲ記載スルコト
- 四、家庭ノ資力ハ資産ノ概略及生活程度等ヲ記載スルコト
- 五、卒業又ハ退學ノ經歷及成績ニシテ詳細記載ヲ要スルモノハ備考欄ニ記載シ又ハ別紙ニ記載シテ添付スルコト
- 六、數ハスヘテ算用數字ヲ以テ記載スルコト
- 七、×印ヲ附シタル欄ハ記載ヲ要セサルコト
- 八、不要ノ文字ハ抹消シ置クコト

## 第三章

### 小學校令實施規程及關係學令類

#### 第一節 學期、教授ノ終始時刻、休業日及證書並關係學令類

第一條 小學校ノ學年ヲ分チテ左ノ三學期トス

第一學期 四月一日ヨリ八月三十一日マテ

第二學期 九月一日ヨリ十二月三十一日マテ

第三學期 一月一日ヨリ三月三十一日マテ

小學校令施行規則第二十五條第二項ニ依ル學年ヲ置ク場合ニ於テハ前項ノ第二學期ヲ第一學期第三學期ヲ第二學期第一學期ヲ第三學期トス

第二條 削除

第三條 小學校令施行規則第二十七條第一項第三號乃至第六號ノ休業日ハ左ノ如シ

夏季休業 七月二十一日ヨリ八月三十一日マテ

冬季休業 十二月二十六日ヨリ一月七日マテ

學年末休業 三月二十七日ヨリ同三十一日マテ

鎮守祭日 學校所在地鎮守祭ニ限ル

官國幣社祭日 神社所在地ニ限ル

夏季休業並冬季休業ハ土地ノ情況ニ依リ前項日數ノ範圍内ニ於テ其ノ期間ヲ伸縮シ又ハ學年ニ依リ其ノ日數ヲ異ニスルコトヲ得

第一節 學期、教授ノ終始時刻、休業日及證書並關係學令類



第一節 學期、教授ノ終始時刻、休業日及證書並關係學令類

五二

第四條 土地ノ情況若ハ已ムヲ得サル事情アルトキハ小學校令第二十七條第一項ノ制限内ニ於テ臨時休業スルコトヲ得  
前項ノ臨時休業ハ學年ニ依リ其ノ日數ヲ異ニシ又ハ或學年ニ限り之ヲ爲スコトヲ得  
第四條ノ二 第三條第二項及第四條ノ場合ハ市町村立小學校ニ在リテハ管理者及學校長私立小學校ニ在リテハ設立者及學校長協議ノ上之ヲ決行シ連署シテ知事ニ報告スヘシ  
第五條 卒業證書ハ別紙第一號様式ニ依ルヘシ

●休業日以外ニ學校ノ休業注意方

明治三十五年六月  
視第一〇五號通牒

規定上定メアル學校ノ休業日以外ニ於テハ不得已場合ヲ除クノ外休業ヲ爲スコトヲ得サルハ勿論ノ儀ニ候處往々種々ノ名  
稱ヲ以テ濫リニ學校ノ休業ヲナス向有之趣例之ハ學年末ニ際シ規定ノ休業日以前ニ於テ試驗準備ト號シ臨時休業ヲナス等  
ノ如キハ甚不可然義ニ候條將來御注意相成度依命此段及通牒候也

●學校ノ時間ヲ正確ナラシムル様注意方

明治三十九年七月  
視第二三九號通牒

教授終始ノ時刻及教授時間等學校ニ於ケル時間往々正シカラサルモノ有之趣聞及候處右ハ然ルヘカラサル義ニ付標準時報  
又ハ郵便局ノ時計ニ依リ若クハ正午計ヲ用フル等相當ノ方法ニヨリ時間ヲ正確ナラシムル榜御監督(御注意)可相成依命  
此段及通牒候也

●鎮守祭日ニ關スル件

大正六年五月一日  
學第四三五號通牒

標記ノ件ニ付(美濃郡長)ノ照會ニ對シ左記ノ通回答候條爲御參考此段及通牒候也  
記

學第四三五號 大正六年四月二十七日

美濃郡長宛

鳥根縣內務部長

去月七日美二第二〇一號ヲ以テ標記ノ件照會相成候處右ハ御意見之通ト存候條此段回答候也  
(參照)

鳥根縣內務部長殿

美濃郡長

美二第二〇一號 大正六年三月七日

鎮守祭日ニ關スル件照會

小學校令施行規則實施規程第三條ノ鎮守祭日ハ從來其ノ神社ノ例祭日ニ限リ休業致居候處大正三年勅令第十號ヲ以テ神  
社祭祀令公布相成候ニ就テハ此勅令ニ依リ行ハル、祭祀日ハ何レモ鎮守祭日ナルヘキヲ以テ小學校ニ於テハ當日當然休  
業スヘキモノト思考致サレ候モ實施規程第三條ノ所謂鎮守祭日ニ關シテハ鎮守祭ニ限ルト規程セラレ候ヲ以テ依然從來  
ノ通例祭日ニ限ルモノト思料致可然哉聊カ疑義有之候ニ付何分御回示相成度此段照會候也

第二節 圖書審査、並圖書關係學令類

第六條乃至第八條(削除)

●國定教科書供給不足冊數報告ノ件

昭和七年五月二十六日  
學第五六五號通牒

國定教科書供給方ニ關シテハ從來國定教科書需用ノ時期ニ於テ國定教科書取次販賣所ヨリ各受取小學校へ配給相成候處  
往々供給ノ時期遅延又ハ供給不足ノ爲兒童教授上差支ヲ生スル事有之候趣ニ就テハ爾今需用ノ時期ニ於テ供給ナキ場合ハ

第二節 圖書審査、並圖書關係學令類

五三



第三節 設備、並關係學令類  
左記様式ニ依リ御報告相成度  
様式

國定教科書供給不足册數報告

(何月何日現在)

供給不足 名ノ教科書	尋 常					科		
	第一學 年用	第二學 年用	第三學 年用	第四學 年用	第五學 年用	第一學 年用	第二學 年用	第三學 年用
						高	等	科

●學習帳並學習參考書ニ關スル件

昭和十年九月十六日  
學第六五五號通牒

小學校兒童ニ對シ使用セシムル學習帳(國史、地理、理科學習帳(一般ノノトヲ除ク)夏(冬)季練習帳等)並平素學習ノ際使用セシムル參考書(國史附圖、自習參考書、郷土讀本等)ハ爾今新ニ採用ノ都度其書名、著者、價額、發行所報告相成度現ニ使用セルモノニツキテハ九月末日限報告相成度  
尙之ヲ編纂セル學校ニアリテハ實物一部宛送附相成度

第三節 設備、並關係學令類

第九條 校地校舍體操場及校具ハ學校ノ規模ニ適應スルヲ要ス  
校地ハ道徳上並衛生上害ナク且兒童ノ通學ニ便利ナル場所ヲ選フヘシ  
校舍ハ教授上管理上並ニ衛生上適當ニシテ質朴堅牢ナラムコトヲ要ス

第十條 小學校令第九條ニ依リ市町村立尋常小學校ノ校數並位置ノ指定ヲ受ケムトスルトキハ市町村長ハ事由ヲ具シ知事ニ上申スヘシ  
位置ノ追加指定ノ場合ハ豫メ市町村會ノ意見ヲ徵シ其ノ寫ヲ添附スヘシ

第十一條 指定ヲ受ケタル校地ニシテ市町村ノ所有地トナリタル場合ハ市町村長ハ別紙第二表様式ニ依リ之ヲ知事ニ報告スヘシ

第十二條乃至第二十條 (削除)

第二十一條 土地ノ情況ニ依リ成ルヘク教員ノ住宅ヲ設ケヘシ

第二十二條 市町村立高等小學校及私立小學校ノ校地ヲ選定シ又ハ變更セントスルトキハ左ノ各號ノ事項ヲ具シ市町村市町村學校組合、町村學校組合又ハ設立者ニ於テ知事ノ認可ヲ受クヘシ

- 一、事由
- 二、所在地番地積並ニ平面圖
- 三、附近ノ狀況

第二十三條 校舍ヲ新築増築改築又ハ假設セントスルトキハ左ノ各號ノ事項ヲ具シ市町村市町村學校組合町村學校組合又ハ設立者ニ於テ知事ノ認可ヲ受クヘシ但シ假設ノ場合ハ第三號及第七號乃至第十四號ノ事項ハ之ヲ省略スルコトヲ得

- 一、事由
- 二、校地校舍配置圖縮尺二百分ノ一又ハ三百分ノ一  
方位校地境界線及其ノ寸法建築物ノ配置道路トノ關係並ニ附近ノ狀況ヲ記入シ且校地内ニ既存ノ建築物アルトキハ其ノ部分ト申請ニ係ル部分トヲ適當ノ方法ニ依リ區別スヘシ
- 三、校地ノ地質狀況  
岩砂利交リ粘土層硬キ粘土層砂利層水分無キ砂地粘土層水分多キ砂地泥地埋立地等ノ別ヲ記入スヘシ

第三節 設備、並關係學令類



第三節 設備、並關係學令類

五六

- 四、校舍平面圖縮尺百分ノ一又ハ二百分ノ一室ノ名稱窓壁入口階段等ノ位置寸法ヲ明示スヘシ
  - 五、各階床組平面圖縮尺百分ノ一又ハ二百分ノ一  
梁大引等ノ配置ヲ明示スヘシ
  - 六、小屋平面圖縮尺百分ノ一又ハ二百分ノ一梁母屋等ノ配置ヲ明示スヘシ
  - 七、軸組圖、縮尺百分ノ一又ハ二百分ノ一
  - 八、立面圖、縮尺百分ノ一又ハ二百分ノ一
  - 九、詳細圖、縮尺二十分ノ一
- 各部ヲ詳細ニ明示シ材料ノ寸法ヲ記入スヘシ
- 一〇、工事仕様書
- 圖面又ハ工事費内譯書ニ示シ難キ構造、設備及材料ノ種類、寸法、其他施行ノ方法ヲ明示スヘシ
- 鐵筋コンクリート造、鐵骨造又ハ特殊構造ノ建物ニ在リテハ市街地建築物法施行規則ニ依ル強度計算書ヲ添附スヘシ
- 一一、工事費内譯書
- 材料(名稱及寸法ヲ記入スルコト)職工、人夫等ノ數量、單價及計金ヲ記入シ工事ノ區分ニ依リ其ノ費額ヲ集計スヘシ
- 一二、設計者及工事監督者ノ氏名
  - 一三、工事著手及竣功豫定期日
  - 一四、建築費收支豫算
  - 一五、現在就學兒童數學級數等
- イ、現在就學兒童男女別人員

ロ、學級學年別男女人員

ハ、加設教科目

前項第二號及第四號乃至第十一號ノ事項ヲ變更セントスルトキハ其ノ事由ヲ具シ關係書類ヲ添附シ知事ノ認可ヲ受クヘシ

第一項第十二號乃至第十四號ノ事項ヲ變更シタルトキハ速ニ之ヲ知事ニ報告スヘシ

第二十三條ノ二 校舍ノ新築、増築、改築又ハ假設工事竣功シタルトキハ前條ノ申請者ニ於テ使用ノ認可ヲ受クヘシ

第二十四條 既設校舍ノ大變更又ハ大修繕ヲ爲サントスルトキハ左ノ各號ノ事項ヲ具シ市町村、市町村學校組合、町村學校組合又ハ設立者ニ於テ知事ノ認可ヲ受クヘシ

一、變更又ハ修繕ヲ要スル建物配置圖、縮尺三分ノ一又ハ六百分ノ一

二、變更又ハ修繕ヲ要スル建物平面圖、縮尺百分ノ一又ハ二百分ノ一

三、變更又ハ修繕方法ノ説明書

四、圖面ヲ要スルモノハ之ヲ添附スヘシ

五、工事費内譯書

五、工事著手及竣功豫定期日

前項ニ於テ大變更ト稱スルハ壁體、柱、床、小屋、基礎等構造上主要ナル部分ノ變更ヲ謂ヒ大修繕ト稱スルハ壁體、柱、小屋若クハ基礎ノ過半ノ修繕又ハ之ニ準スル構造上主要ナル部分ノ修繕ヲ謂フ

第二十四條ノ二 小學校令第三十條但書ニ依リ校地、校舍、體操場及校具ヲ繼續ノ目的ノ爲ニ使用セントスルトキハ其ノ事由ヲ具シ關係書類ヲ添附ノ上市町村、市町村學校組合、町村學校組合又ハ設立者ニ於テ知事ノ認可ヲ受クヘシ

第三節 設備、並關係學令類

五七



第三節 設備、並關係學令類

●市町村立小學校名稱ノ件

明治二十五年四月十九日  
島根縣訓令第七三號

市町村立小學校ノ名稱ハ左ノ如ク之ヲ定ムヘシ

- 一、島根縣何郡(松江市) 何郡ハ町村尋常(高等)小學校
- 二、島根縣何郡(松江市) 何郡ハ町村尋常(高等)小學校

備考 第二項ハ尋常科高等科併置學校ノ例トス

町村組合ニ於テ設クル小學校ハ郡ノ下何何ノ上何町村外何箇村組合トスヘシ

一町村内二個以上小學校ヲ設クル場合ニ於テハ郡ノ下何町村何字トスヘシ

●市町村立小學校設置手續

明治三十二年一月八日  
島根縣訓令第二號

明治二十五年二月本縣訓令第十九號町村立小學校設置ニ關スル細則及同年三月本縣訓令第五十一號小學校令施行ニ關スル手續ヲ廢止シ更ニ市町村立小學校設置手續ヲ左ノ通定ム

市町村立小學校設置手續

- 第一條 尋常小學校數並位置ノ許可若クハ指揮ヲ請フ場合ニハ左ノ各號ヲ具シ且設置區域圖設置區域内ノ全圖ニシテ各大家並其ノ道路ノ難易及校地圖數地、體操場、實業實修場等ヲ區別シ方位、町村、字、地番、地ヲ副フヘシ
- 一、戶數 設置區域ト通學區域ト異ナル場合ニ於テハ各別ノ數
- 二、地價 第一號ニ同シ

三、學齡兒童ノ數 第一號ニ同シ

第二條 高等小學校ノ設置若クハ尋常小學校ニ高等小學校併置ノ許可ヲ請フ場合ニハ左ノ各號ヲ具シ且校地圖 第一條ヲ副フヘシ

- 一、學校設置區域内戶數 各町村ナレハ
- 二、同地價 第一號ニ同シ

三、同學齡兒童ノ數 第一號ニ同シ但前年末統計ニ依ル

四、同就學兒童ノ數 第三號ニ同シ又既卒業者ト

五、同在籍生徒ノ數 第一號ニ同シ但前月以前三ヶ月間各月ノ數

六、同在籍生徒ノ出席比例 第五號ニ同シ

七、入學スヘキ生徒ノ概數

八、教員ノ數 本專科正准教員ヲ區別スヘシ

九、校舍ノ圖面 各室坪數出入口窓戶ノ位置等詳記スヘシ但平面圖ニ百分ノ一

十、一ヶ年度經費收入支出豫算 內譯ヲ詳記スヘシ

第三條 町村學校組合ヲ設クルノ許可若クハ指揮ヲ請フ場合ニハ左ノ各號ヲ具シ且組合内全圖各町村ノ區域學校位置及通學路程並其道路ノ難易ヲ詳記シタルモノヲ副フヘシ

- 一、戶數 各町村別

第三節 設備、並關係學令類



第三節 設備、並關係學令類

一、地價 第一號 同シ

一、學齡兒童ノ數 第一號 同シ

第四條 兒童教育事務委託ノ許可ヲ請フ場合ニハ左ノ各號ヲ具シ且地圖委託區域及委託ヲ受クル學校ノ通學區域並委託區域ニ隣接セル學校ノ位置ヲ記シタルモノニシテ通學路程及其道路ノ難易ヲ詳記シタルモノ及校地圖委託ヲ受クル學校ノ詳細シタルモノヲ副フヘシ

一、月數 委託區域 內ノ數

二、地價 第一號 同シ

三、學齡兒童ノ數 委託區域內ノ數及委託ヲ受クル學校ノ通學區域內ノ數

四、就學兒童ノ數 委託ヲ受クル學校ニ係ルモノ

五、教員ノ數 第四號ニ同シ但本專科 正准教員ヲ區別スヘシ

六、校舍ノ圖面 第二條 同シ

第五條 尋常小學校ノ設置若クハ兒童教育事務委託ニ關スル義務ヲ免レシムル許可ヲ請フ場合ニハ左ノ各號ヲ具シ且地圖義務ヲ免レシムル區域及其住民ノ位置、隣接スル學校ノ位置、同里程並其道路ノ難易ヲ詳記シタルモノ

一、月數 義務ヲ免レシムル區域內ノ數

一、地價 第一號 同シ

一、學齡兒童ノ數 第一號 同シ

第六條 尋常小學校ノ設置若クハ兒童教育事務ノ委託ニ關スル義務ヲ免レシムル町村若クハ町村學校組合ニ於テ更ニ尋常小學校ノ設置ヲ許可セシトキハ左ノ各號ヲ具シ且校地圖 第一條 同シヲ副ヘテ申請スヘシ

一、校數並位置

一、學校名稱

第七條 尋常小學校ノ設置若クハ其ノ一部ノ設備又ハ兒童教育事務ノ委託ヲ猶豫シ私立小學校ヲ以テ之ニ代用セシメタルトキハ左ノ各號ヲ具シ且地圖 代用セシメタル區域及代用小學校ノ位置通及校地圖 第一條 同シヲ副ヘテ申請スヘシ

一、學校ノ位置及名稱

一、校舍ノ圖面 第二條 同シ

第八條 市町村長若クハ町村學校組合長ハ學校開設以來學務委員ヲ選舉セシメ及任命シ並學務委員報酬ノ給否及金額ヲ議決セシムヘシ

市町村長若クハ町村學校組合長ハ學務委員ニシテ教員ヨリ加ハル者ハ其ノ氏名其ノ他ハ族籍氏名職業年齡ヲ具シ市長ハ知事ニ町村長若クハ町村學校組合長ハ郡長ニ申報スヘシ

第九條 小學校ハ學級編制ニ關スル許可ヲ受ケ及教員ノ任用アリタル後ニアラサレハ之ヲ開始スルコトヲ得ス

第十條 小學校々數位置等ノ變更ニ由リ廢止ニ屬シタル小學校ハ其ノ就學兒童ノ出席スヘキ他ノ小學校ノ設備整フニ至ル迄ハ之ヲ閉校スルコトヲ得ス

第十一條 小學校ヲ開始若クハ閉校セシトキハ其期日並學校名ヲ申報スヘシ廢滅セシ學校アリタルトキ亦同シ

町村學校組合ニ關スル件

大正六年九月 發庶第五〇七號通牒

町村學校組合ニ關シ左ノ廉御承相成度此段及通牒候也

一、町村學校組合ニ於テ特設シタル學校組合長ハ町村制第六十四條ニ依リ知事ノ認可ヲ受クルヲ要ス

第三節 設備、並關係學令類



第三節 設備、並關係學令類

六二

一、町村學校組合ニ於テ徵收スル授業料其ノ他ノ收入ヲ完納セサルモノニ對シテハ町村制第一百十一條第三項ニ依リ町村條例ヲ設ケ手数料ヲ徵收スルコトヲ得

●町村學校組合ニ關スル件

大正九年二月二十七日  
學第六三八號通牒

標記ノ件ニ關スル疑義ニ付奈良縣知事ヨリ別紙甲號照會ニ對シ乙號ノ通回答シタル旨通牒有之候條御了知相成度爲御參考此段及通牒候也

記

甲號

小學校令第十四條ニ依リ高等小學校設置ノ爲メ設ケタル町村學校組合ノ規約ノ變更町村數ノ増減解除ニ關シテハ町村ノ協議ヲ要スルカ故ニ實業學校及高等小學校ヲ設置シ其ノ事務ヲ共同處理スル爲メ設ケル町村學校組合ニ對シ假令公益上必要アリト認ムル場合ト雖モ協議ニ應セサル町村アルトキハ其ノ協議ヲ拒ム町村會ノ議決ニ對シ町村制第七十四條ノ規定ヲ適用スルノ外絕對ニ之ヲ強制スルノ途ナキヤ將又右ノ場合ニ於テハ町村組合ニ關スル一般法タル町村制ノ規定ヲ適用シ可然哉

乙號

大正八年十月六日教第八六四八號ヲ以テ町村學校組合ニ係ル疑義ノ件御照會ノ處右ハ御意見ノ通町村組合ニ關スル一般法タル町村制ヲ適用セラレ差支無之候此段及回答候也

大正九年一月二十七日

奈良縣知事殿

文部省普通學務局長  
內務省地方局長

●小學校舍建築若クハ増築申請ノ場合工費ノ支途取調方

明治三十六年十一月  
視第一八六號通牒

小學校舍建築若クハ増築申請候場合ニハ自今其工費ハ起債ニ依ルモノナリヤ否ヤ等其支途詳細取調副申相成度此段及通牒候也

追テ起債ヲ要スル場合ハ當該村ニ於ケル町村費(經常臨時費)歲入出豫算表寫添付相成度申候候也

●小學校舍建築費ニ關スル件

大正八年十月九日  
第二三八二號通牒

小學校舍建築費ノ一部又ハ全部トシテ各種基本財産ヲ繰入支辨スルモノ有之候處右ニ就キテハ自今左記事項ヲ調査添付相成度此段及通牒候也

記

- 一、基本財産繰入許可ノ年月日
- 二、積戻方法(各年度割等)
- 三、村税一戸平均額
- 四、基本財産ノ繰入ヲ必要トスル事由

●小學校ノ校舍校地等ノ使用ニ關スル件

昭和二年九月二十日  
學第五五八七號通牒

今般島根縣訓令第三十四號ヲ以テ大正二年七月二十九日島根縣訓令受學第二八一三號小學校ノ校舍校地等ノ使用ニ關スル件並之ニ基キ島司、郡長ノ發シタル訓令通牒等廢止相成候處右ハ無制限ニ之ヲ使用シ得ルコトヲ認メラレタルモノニ無之公益上ノ必要ニ基キ止ムヲ得サル場合ニ於テハ廣ク諸種ノ會合ニ使用シ得ルノ途ヲ開カレタルモノニ付此ノ旨趣ニ依リ學校管理者ハ學校長ノ意見ヲ徵シ常ニ教育上ノ影響ヲ考慮シ風紀ヲ紊ササル限度ニ於テ各地方ノ事情ニ應シ適當ニ處理シ差

第三節 設備、並關係學令類

六三



第三節 設備、並關係學令類  
支無之義ニ候條御了知相成度

六四

● 小學校ノ設備ヲ議員選舉事務ニ使用ノ件

昭和二年八月十九日  
地第二五三八號通牒

小學校ノ設備ヲ議員選舉事務ニ使用ノ件

標記ノ件ニ付別記甲號ノ照會ニ對シ乙號ノ通回答アリタル旨通牒有之候條御承知相成度  
甲號

學第二六三七號

昭和二年三月二十六日

普通學務局長宛

岡山縣知事

小學校ノ設備ヲ議員選舉事務ニ使用スルノ件

衆議院議員選舉若ハ市會議員選舉ニ際シ投票所トシテ小學校ノ設備ヲ使用セシムルハ小學校令第三十條但書ノ規定外ト被認候然ル處昨年靜岡縣濱松市及北海道五市(釧路市ヲ除ク)ニ於テ行ハレタル市會議員選舉ニ於テ小學校ノ設備ヲ投票所トシテ使用シタル事例モ有之ヤニ聞キ及ヒ候處右ハ小學校令第三十條但書ヲ廣義ニ解シ小學校舍ヲ投票所ニ使用シ支障無之哉聊カ疑義相生シ候條貴省ノ御意見相伺候

(乙號)

岡普第二〇號

昭和二年五月二十三日

岡山縣知事宛

普通學務局長

小學校ノ設備ヲ議員選舉事務ニ使用スルノ件

三月二十六日學第二六三七號御照會標記ノ件

右ハ小學校ノ設備ヲ小學校令第三十條ノ規定ニ依リ衆議院議員及其ノ他ノ議員ノ選舉投票所又ハ選舉會場トシテ使用スルハ學校ノ授業又ハ諸行事ニ何等支障ヲ來ササル場合ニ限り差支無キモノト御承知相成度

● 小學校ノ校舍使用ニ關スル件

昭和二年十月十四日  
學第五七〇六號通牒

小學校令第三十條但書ニ依リ小學校ノ校舍使用ヲ許可シタル後同一學校ヲ同一日時ニ議員選舉演說會場トシテ使用方申請アリタル場合ニ於テ前者ノ許可ヲ取消シ後者ニ使用ヲ許可スヘキ限ニアラサル旨其筋ヨリ通牒有之候條御了知相成度

● 小學校々舍ヲ議會報告演說會場等ニ使用ニ關スル件

昭和六年四月七日  
學第三六二號通牒

標記ノ件ニ關シ左記ノ通照覆アリタル旨其ノ筋ヨリ通牒有之候條御了知相成度候也  
記

(甲號) 奈良縣照會

小學校令第三十條但書ノ規定ニヨリ小學校校舍等使用ニ關スル訓令廢止相成候處選舉ノ場合ニ於ケル政談演說ニ利用セシムル關係上代議士方議會報告演說會ノ爲ニ或ハ其ノ他政談演說會場等トシテ使用セムトスルカ如キ場合ニ於テモ授業差支無キ限リ許可可然乎ト存セラレ候ヘ共一應御省ノ御意見承知致度

(乙號) 文部省普通學務局長回答

小學校々舍ヲ議會報告演說會場所ニ使用セシムルノ件御見込ノ通

● 學林學校樹栽地設置ノ件及其標準

明治三十二年二月二十四日  
島根縣訓令第二三號

第三節 設備、並關係學令類

六五



縣下普通教育ノ事業タル漸次發達上進ノ實ヲ呈スルモ時運ノ振興社會ノ大勢ハ決シテ目下ノ狀況ニ安スルヲ許サズ益々其ノ地歩ヲ進メ將來ノ隆盛ヲ期セサルヘカラス然ルニ一方ヲ顧レハ獨リ教育ノミナラス百般ノ事業又擴張ヲ要セサルハナシ地方公費歲二月ニ益々多キヲ加ヘ自ラ教育事業ニ其ノ影響ヲ及ホスノ虞ナキニアラス加之若シ一朝水旱疫癘等ノ不幸ニ遭遇スルコトアラシカ者ニ其ノ擴張ニ頓挫ヲ來スノミナラス或ハ其ノ維持ノ費用ニモ支障ヲ生シ中途ニシテ退歩スルカ如キ苦境ニ陥ルコトナキヲ保セス是レ實ニ國家ノ盛衰禍福ノ分カルル所蓋省セサルヘカラサルナリ夫レ教育ハ其効ヲ永遠ニ期スル國家重要ノ事業ナレハ年ノ豐凶等ニ依リ消長シ得ヘキモノニアラス確實ナル根柢ノ上ニ之ヲ發達上進セシメサルヘカラス依テ此際市町村ハ宜ク適當ノ方法ニヨリ一層教育基本財産ノ増設ヲ圖リ以テ普通教育ノ根柢ヲ鞏固ナラシメサルヘカラサルナリ而シテ教育基本財産ヲ設クルノ方法タル一ニシテ足ラスト雖モ其利益ノ廣大ニシテ且確實ナルモノヲ撰擇セサルヘカラサルヤ論ヲ俟タス惟フニ本縣ハ到ル處山林ニ富ミ其地味概ホ肥沃其經營宜シキヲ得ルトキハ將來ニ巨額ノ收利ヲ增加シ以テ縣下ノ一大富源ト爲スヲ得ヘシ現ニ隱岐國周吉郡布施村地方ノ如キ其龜鑑タリ殊ニ其鬱葱タル美觀ハ事業ノ遠大確固ナルト共ニ高尚者實ノ氣風ヲ養成シ浮薄輕躁ノ陋習ヲ洗除スル等人心ニ及ホス所ノ影響教育上特ニ留意スヘキモノアリ然ラハ則チ其山林ヲ以テ教育基本財産ニ充ツルノ洵ニ適當ナルコトヲ信ス又山林ノ經營ハ書ニ教育上ニ於テ重要ナルノミナラス治水土國土ノ保安泉源ノ涵養等主トシテ其効果ニ賴ラサルヘカラス然ルニ近年山林ノ伐採其宜キニ適セス殆ト荒廢ニ屬セントスルモノ夥ナカラス今ニシテ其經營ヲ怠ルトキハ水旱旱害額リニ到リ如何ナル慘狀ヲ現出スルヤ測ルヘカラス近ク明治二十六年ノ水災ヲ回顧シ實ニ寒心ニ堪ヘサルナリ其他山林ハ空氣ヲ清爽ニシテ人生ノ健康ヲ助ケ氣候ヲ緩和シテ農産ヲ利シ或ハ魚族ノ群海ヲ招致スル等其關係スル所屈指ニ退アラズ今其レ山林ヲ以テ一般山林經營ノ模範トシ兼テ國利民福ヲ増進スルヲ得ンカ其間接ノ効益亦夥ナカラス是レ教育基本財産ニ充ツルニ山林ヲ以テスルヲ最モ適當ナリトスル所以ナリ又小學校ニ於テ其山林ノ一部若ハ別ニ學校樹林地ヲ設ケ生徒ヲシテ樹木ノ栽培ニ從ハシメ日夕其自ラ栽培シタル樹木繁茂ノ景況ヲ目撃セシメンカ其快樂ト利益トヲ感スルト同時ニ益々山林愛護ノ必要ヲ認識シ學校及郷土ヲ親愛スルノ念慮ヲ增長シ延テ忠君愛國ノ思想ノ煥發スル等基本財産タル學林ノ設ケト相待テ普通教育ノ根柢ヲ確立シ德育ノ發

達ヲ裨補シ併テ自他一般ノ福利ヲ増進スルコトヲ得ン依テ市町村及各小學校ニ於テ左ノ學林及學校樹栽設置標準ニ基キ銳意ノ力實行ヲ務ムヘシ

●學林學校樹栽地設置標準

- 第一條 學林ハ小學校基本財産ニ充ツル爲若クハ教育ニ關スル費用ニ充ツル爲メ之ヲ設置スルモノトス
- 第二條 學林ハ小學校設置區域ニヨリ之ヲ設置スヘキモノトスルモ已ムヲ得サル事情アルトキハ其區域内ノ町村ニ於テ設ケルモ妨ケナシ
- 第三條 學林ハ市町村有又ハ市町村内ノ部落有ノ山林原野ヲ以テ之ニ充テ他ノ山林ヲ買受ケ若クハ借受クル等其便宜ニ依ルヘシ
- 第四條 學林ハ其町步廣大ニシテ土質善良ナルモノヲ撰擇スヘキモ成ルヘク學校附近ニテ學校ヨリ眺望シ得ヘキ場所又ハ多數生徒通學ノ沿道ニ設ケルヲ可トス
- 第五條 學林ニハ杉檜其他有用ノ良材タルヘキ樹木ヲ植栽スルヲ可トスルモ素ヨリ經濟ヲ目的トスルモノナレハ其土地ノ狀況ニヨリ檜樺ノ如キモノヲ植工薪炭林ニ造リ又ハ之レニ植栽セスシテ天然林トスルモ妨ケナシ
- 第六條 學林ノ經營ハ永年ニ透ルモノナルヲ以テ其着手ノ初メニ方リ土質方向氣質及ヒ運搬ノ便否等ヲ篤ト審案シ完全ナル設計ヲ爲シ違算ナキヲ期スヘシ
- 第七條 學林ハ其所屬學校ノ生徒ヲシテ保護シ注意セシムヘシ又植樹除草等ヲナサシムルハ妨ケナキモ過度ノ勞働ヲ爲サシムヘカラス
- 第八條 學林ハ其管理者ニ於テ學林臺帳ヲ備ヘ左ノ事項其他ノ要件ヲ記載スヘシ
  - 一、學林設置年月日
  - 二、地目及反別

第三節 設備、並關係學令類



第三節 設備、並關係學令類

三、郡市町村字名等

四、所有地借地等ノ區別借地ハ借用期限等

五、植樹セシ年月日

六、植樹ノ種類員數反別費用ノ概額等

七、除草補植間伐等ノ概要

八、伐採樹木ノ種類員數價格年月日等

第九條 學林ニハ路傍其他人目ニ觸レ易キ場所ニ學林名稱所屬學校市町村名等ヲ記載シタル標木ヲ建ツヘシ

第十條 學林ニ關スル費用ハ其所有區域内ノ負擔トス

第十一條 學校樹栽地ハ主トシテ生徒ノ愛林志想ヲ啓發シ傍ラ在學ノ記念トシテ植樹セシムル爲メニ其學校ニ於テ之ヲ設置スルモノトス

第十二條 樹栽地ハ校地ノ一部若クハ其近傍又ハ學林ノ一部ヲ充用スル等適宜タルヘキモ成ルヘク其學校若クハ所屬町村

部落ノ風致ヲ造成スヘキ場所ヲ選擇スヘシ

第十三條 植栽地ニ植栽スヘキ樹木ハ其種類ノ多キヲ可トスルモ成ルヘク浮華珍奇ニ屬スルモノヨリハ松櫻杉檜樟樅ノ如

キ樹齡ノ長久ニシテ効用ノ廣大ナルモノヲ選擇スヘシ

第十四條 學校ニ於テハ樹栽日ヲ定メ豫メ兒童保護者等へ通知スヘシ

第十五條 學校ニ於テハ樹栽ノ當日先ツ生徒ヲ學校ニ召集シ學校長教員等ハ樹木ノ効用其培養法山林ト國土ノ關係其他山

林保護ノ公益タル所以等ヲ講話シタル後生徒ヲ引率シテ樹栽地ニ至リ苗樹ヲ植栽セシムヘシ但シ市町村長市町村會議員

學務委員及兒童保護者等ハ成ルヘク之ニ立會フヲ要ス

第十六條 樹栽地ノ苗樹ハ生徒等ノ持チ來ルモノヲ用ヒ又ハ他ヨリ購入スル等適宜タルヘキモ成ルヘク校地内又ハ其近傍

ニ苗圃ヲ設ケ學校長教員生徒ヲ指揮シテ之ヲ培養セシムヘシ

第十七條 學校長教員ハ樹栽地保護ノ任ニ當リ時々生徒ヲ引率シテ之ヲ巡視シ除草害虫驅除等ノ作業ヲナスヘシ

第十八條 學校ニ樹栽臺帳ヲ備ヘ左ノ事項其他ノ要件ヲ記載シ樹栽地圖ヲ作り樹栽者氏名及ヒ樹木ノ種類位置等ヲ永久ニ傳フヘシ

一、學林臺帳ノ第一乃至第七ノ事項

一、樹栽者ノ住所氏名年齡

一、枯損其他ノ事故

第十九條 樹栽地ヨリ生スル收入ハ其學校基本財産ニ充テ若クハ教育ニ關スル費用ニ充ツルモノトス

●學林並樹栽實施督勵ノ件

明治三十七年八月十九日  
鳥根縣訓令第六二號

學校樹栽ノコトタル教育上幾多ノ裨益アルノミナラス學校基本財産造成ノ一法タリ故ニ本縣ハ從來之ヲ獎勵シ地方當局者亦之ニ熱心ナル者アリシヲ以テ近年之レカ實施ヲナスモノ漸多キヲ加フルノ傾向アリ又時局ニ際シ或郡ニ於テ記念學林ヲ設クルノ計畫ヲ立テタルカ如キ甚ダ喜フヘキモノアリ然リト雖モ願ミテ統計ニ徵スルニ現ニ此等ノ實施ヲナセル市町村立小學校ハ尙少數ニシテ其ノ發達ノ遅々タルハ遺憾トスル所ナリ鳥司郡市長ハ宜シク管内學校ノ狀況ヲ調査シ既ニ樹栽ニ着手セルモノハ益々之ヲ獎勵シ其ノ未ダ着手セサルモノニハ學林樹栽地ノ廣狹ニ拘ハラズ樹數ノ多少ヲ問ハス實施ヲ督勵シ以テ其ノ効果ヲ收メンコトヲ努ムヘシ

●學林及學校樹栽地ヲ設置シタルトキ開申方

明治三十二年三月二十八日  
鳥根縣訓令第四六號

學林ヲ設置セシトキハ左ノ甲項ヲ學校樹栽地ヲ設置セシトキハ左記乙項ヲ具シ市長月長町村長ヨリ知事ニ開申スヘシ

甲項

一、學林設置年月日

第三節 設備、並關係學令類



第三節 設備、並關係學令類

- 二、地目及反別
- 三、郡市町村字名等
- 四、所有地、借地等ノ區別借地ハ借用期限
- 五、植樹年月日
- 六、植樹ノ種類員數段別費用ノ概額等

乙項

- 一、樹栽地設置年月日
- 二、地目及段別
- 三、市町村字名等
- 四、所有地借地等ノ區別借地期限等
- 五、樹栽セシ生徒ノ學年別員數

● 學校園設置方

明治三十八年十一月  
視第二八八號通牒

學校ノ兒童生徒ヲシテ動植物ノ愛護育成ニ從事セシメ天然ノ風光ニ浴セシメテ自然ニ接觸セシムルハ高尚ナル趣味ノ助長  
品性ノ陶冶美的觀念發暢勤勉ノ習性ヲ養成スル等ノ點ニ於テ頗ル有効ト認メ候而シテ學校園ノ施設ハ此等ノ目的ヲ達スル  
ニ優良ナル一方法ニシテ歐米諸國ニ於テハ既ニ之ヲ實施シテ效果ヲ收メツツアル趣依テ貴校ニ於テモ(貴部内ノ學校ニ於  
テモ土地ノ情況ニ應ジ)便宜ノ方法ニ依リ學校園ノ施設ヲナシ以テ自然物ノ觀察研究ト品性ノ陶冶養成トニ資シ教育ノ効  
果ヲ圓滿ナラシメ候様御取計可相成命ヲ承ケ申進候也

● 學林及學校樹栽地ノ設計調査ヲ縣廳ニ申出方

學校及學校樹栽地等ノ設置ハ其設計上最モ注意ヲ要シ候ニ付テハ市町村ノ希望ニ依リテハ縣廳ニ於テ其設計ヲ調査スヘキ  
議モ可有之候條右調査ヲ請ハント欲スルトキハ左ノ事項ヲ具シ其管理者ヨリ申立候様御取扱可相成依命此段及通牒候也

- 一、郡市町村字名等
- 一、學林若クハ學校樹栽地豫定場所及其隣接地ノ略圖 地目段別方向土質其他參考トナルヘキ事項ヲ詳記スヘシ
- 一、植栽セントスル樹木ノ種類員數等

● 學林及學校樹栽後植付又ハ補植督勵方

明治三十八年三月  
學第一六四號通牒

學林及學校樹栽ニ就テハ之ヲ設置スル町村漸次多キヲ加ヘ又ハ從來設置ノ場所ヲ擴張スル等教育上喜フヘキ義ニ有之候ハ  
共之カ設置後植付又ハ補植ヲ遲延シ若クハ手入ヲ等閑ニ附スル向モ有之趣ニ付事實御調査ノ上右様ノ義無之様督勵可相成  
命ヲ受ケ此段及通牒候也

● 小學校家事科設備ニ關スル調査ノ件

昭和三年九月二十一日  
學第五〇九五號通牒

家事教育ハ女子教育上極メテ重要ナルニ拘ラス從來其ノ設備ノ整ハサルカ爲遺憾ノ點尠カラス候左記該科設備ニ關スル調  
査ハ本縣該科視學員ノ研究調査セルモノニシテ適切ノモノト被認候間各學校ニ於テハ之ニ依リテ適切ナル實施案ヲ定メ設  
備ノ完成ヲ期セラレ度及通牒候也

小學校家事科設備ニ關スル調査

甲、教室

- 1、一般家事教室(理科室兼用、家事科標本戸棚ノ設備ヲ要ス)
  - 2、割烹室(配膳臺、竈場、流シ、調理臺、焔爐臺、教卓、調味品戸棚等ノ設備ヲ要ス)
  - 3、洗濯場、割烹室ノ一部又ハ井戸端等ニ適當ノ設備ヲ設ケタルモノ(洗濯場、張板及物干竿ノ入場、洗場ヲ要ス)
- 第三節 設備、並關係學令類



第三節 設備、竝關係學令類  
乙、標本類

- 1、衣服ニ關スルモノ
    - イ、織物標本、ロ、綿標本、ハ、害虫標本、ニ、防虫劑標本、ホ、洗濯用劑、ヘ、糊種類、ト、汚點拔用劑、チ、實習用布ノ種類、リ、洗色用劑
  - 2、食物ニ關スルモノ
    - イ、食品見本、ロ、調味品見本、ハ、食品分析表、ニ、燃料ノ標本
  - 3、住居ニ關スルモノ
    - イ、敷物標本、ロ、住居ノ掛圖、ハ、家具類ノ手入用品、ニ、掃除用具及用劑
  - 4、看護ニ關スルモノ
    - イ、檢温器、ロ、洗面器及石鹼、ハ、梅毒除環狀枕、ニ、吸飲ミ器、ホ、オブラート類、ヘ、滴瓶、ト、藥ノ種類(家庭藥)、チ、吸入器、リ、灌腸器、ヌ、便器、ル、唾壺、ヲ、氷嚢及氷嚢釣、枕、ワ、寢法類、カ、網帶類
- 丙、備品類
- 1、割烹室用
    - (A)、イ、調理臺(一臺五人位ヲ適當トス)、ロ、流シ、ハ、焔爐臺、ニ、竈、ホ、配膳臺兼戸棚、ヘ、調味品戸棚(硝子戸棚)、ト、黒板、チ、教卓(教師用、料臺理)、リ、時計、ヌ、秤及櫛
    - (B)、各料理ニ備フヘキ品

品目	數量	品目	數量
組	二	庖丁	一
品		薄出	三
目		身	二
數量		量	

品目	數量	品目	數量
鍋	一	フライパン	一
アルミ		皮剝キ	一
瀨戸引	一	鱗取	一
釜	小	鬚團	一
ニユームノ		火箸	一
杓子類	任意	火消	一
池立器	一	絹漉	一
箸	大小	おろし金	一
菜箸	五	おろし	一
十能	一	金串	六
裏漉	一	片口鉢	大小一組
御飯蒸シ器	一	平鉢	一
金網	一	同(土)	一
摺鉢及すりこぎ	一	ざる	數ヶ
七輪(金)	一	同類	數ヶ
鏝節削	一	同壺	數ヶ
調味入れ瓶	數ヶ	バケツ類各種	數ヶ
漬物甕	一	飯櫃	一
炭取	一	流し箱	一
柄杓	一	蠅除	一
海苔巻簾	一	キルク	一
鐵瓶	一	拔	一
共用		共用	

第三節 設備、竝關係學令類



第三節 設備、並關係學令類

サイダー拔 共用 一

(C)、作法ト聯絡シ適宜設備スルモノ(數量適宜)

イ、飯茶碗、ロ、吸物碗、ハ、中皿、ニ、蒸茶碗、ホ、小皿、ヘ、猪口、ト、小井、チ、刺身皿附醬油猪口、リ、菓子碗、ヌ、會席膳、

洋食器具

イ、食皿、ロ、パン皿、ハ、スープ皿、ニ、ナイフ、ヘ、食匙、ト、コーヒー茶碗、チ、茶匙、リ、コップ、ヌ、薬味入

2、洗濯用(數量ハ一學級二十名トシテ算出シタリ)

品目	數量	品目	數量
大 盆	三	洗濯板	六
小 盆	三	洗面器	六
刷毛	三	洗面器	六
霧吹	三	莫草	三
アイロン	三	物干竿	三
衣紋竿	三	蔴繩	三
干物挾	一〇	張板	一組
簇及張木	二分		

丁、家事科參考書

書籍名	著者	發行所	價格
家事衣類整理法	石澤吉磨	集成社	四・五〇

食物辭典	澤村眞	隆文館	五・〇〇
應用家事精義	大江スミ <td>實文館 <th>五・五〇</th> </td>	實文館 <th>五・五〇</th>	五・五〇
家庭看護法	越智キヨ <td>京都星野書店 <th>三・二〇</th> </td>	京都星野書店 <th>三・二〇</th>	三・二〇
分焼ト育兒	井上秀子 <td>文光社 <th>三・〇〇</th> </td>	文光社 <th>三・〇〇</th>	三・〇〇
家事經濟綱要	松平友子 <td>文書堂 <th>二・〇〇</th> </td>	文書堂 <th>二・〇〇</th>	二・〇〇
家庭榮養日本料理	越智キヨ <td>京都星野書店 <th>三・〇〇</th> </td>	京都星野書店 <th>三・〇〇</th>	三・〇〇
家事界ノ智囊	小松崎三枝 <td>中興館 <th>三・八〇</th> </td>	中興館 <th>三・八〇</th>	三・八〇
家事教材及指導法ノ研究	石澤吉磨 <td>廣文堂 <th>三・八〇</th> </td>	廣文堂 <th>三・八〇</th>	三・八〇
最新家事提要	井上秀子 <td>文光社 <th>三・五〇</th> </td>	文光社 <th>三・五〇</th>	三・五〇

第四節 就學、並關係學令類

第二十五條 市町村長ハ毎年一月中ニ其ノ年四月ニ於テ就學ノ始期ニ達スヘキ兒童及其ノ年三月ニ於テ就學猶豫ノ期限満了スヘキ兒童ノ保護者ニ對シ兒童ノ入學スヘキ學校ヲ指定シ入學スヘキ期日ヲ通知スヘシ但シ小學校令施行規則第二十條第二項ニ依ル場合ハ其ノ年九月ニ於テ就學ノ始期ニ達スヘキ兒童及其ノ年八月ニ於テ就學猶豫ノ期限満了スヘキ兒童ニ關シ毎年七月中ニ之ヲ行フヘシ

第二十五條ノ二 小學校令施行規則第八十一條第三項但書ノ規定ニ依リ學令簿ノ謄本ヲ送付スルトキ未ダ尋常小學校ノ教科ヲ卒ヘサル兒童ニ係ルトキハ現在ノ修學程度ヲ同時ニ轉住地ノ市町村長ニ通知スヘシ

第二十六條 市町村長ハ其ノ市町村ニ來住シタル學令兒童ニシテ其ノ學年ニ於テ就學セシムヘキ事由アル者ハ學令簿ニ登錄スルト同時ニ入學スヘキ學校ヲ指定シ入學期日ヲ定メテ之ヲ保護者ニ通知スヘシ

第二十七條 市町村長ハ第二十五條第二十六條ノ通知ヲ爲スト同時ニ小學校令施行規則第八十三條ノ手續ヲ爲スヘシ

第四節 就學、並關係學令類



第四節 就學、並關係學令類

第二十八條

兒童保護者ニ於テ左ノ事項ヲ申立テントスルトキハ第二十五條ニ在リテハ通知ヲ受ケタル後二十日以内ニ其ノ他ニ在リテハ入學期日前ニ之ヲ行フヘシ

七六

一、就學猶豫又ハ就學義務免除ノ件

二、他ノ尋常小學校ニ入學セシムヘキ件

三、家庭又ハ其ノ他ニ於テ尋常小學校ノ教科ヲ修メシムヘキ件

前項ノ申立ヲ受ケタル市長町村長ハ速ニ之ヲ處理スヘシ

市長町村長ハ就學ヲ猶豫シ又ハ免除スヘキ理由ナシト認ムルトキハ更ニ書面ヲ以テ其ノ期日ヲ定メ出席ヲ命スヘシ

第二十九條 市長町村長ニ於テ家庭又ハ其ノ他ニ於テ尋常小學校ノ教科ヲ修メシムヘキ認可ヲ與ヘタルトキハ直チニ監督

官廳ニ報告スヘシ一旦認可ヲ與ヘタル後取消シタル場合亦同シ

第二十九條ノ二 小學校令第三十三條第一項ニ依リ兒童ノ就學免除ヲ申請スル場合ハ醫師ノ證明書ヲ添付スヘシ

同條第三項ニ依リ市町村長ニ於テ貧困ニ由ル就學猶豫ヲ認可セムトスルトキハ別紙第三號様式ノ表ヲ添付シ知事ノ指揮

ヲ受クヘシ

第三十條 就學ヲ猶豫セラレ又ハ就學義務ヲ免除セラレタル者ニシテ其ノ事項止ミタルトキハ兒童保護者ヨリ市長町村長

ニ其ノ旨ヲ申立ツヘシ

第三十一條 教育事務ノ委託ヲ爲シタル地ノ町村長ハ新ニ就學スヘキ兒童ノ氏名其ノ他必要ノ事項ヲ記シ其ノ都度被委託

地町村長ニ通報スヘシ異動アリタルトキ亦同シ

第三十二條 市長町村長ハ管轄區域外ヨリ通學シテ尋常小學校ノ教科ヲ修ムル兒童ニ關シ現住地ノ市長町村長ノ行務ニ必

要ナル事項ニ就キテハ總テ前條ノ例ニ依ルヘシ

第三十二條ノ二 小學校令施行規則第九十三條第二項ニ依ル不就學又ハ欠席兒童ノ報告ハ同規則第九十一條又ハ第九十二

條ノ報告ヲ受ケタル日ヨリ二十日以内ニ之ヲ行フヘシ

第三十三條

就學兒童ニシテ傳染病ニ罹リ又ハ其ノ家内ニ傳染病者アルトキハ市長町村長ニ於テ直チニ其ノ兒童ノ就學セ

ル學校長ニ通知スヘシ

第三十四條 學校長ハ小學校令第三十八條ノ規定ニ依リ就學兒童ノ出席ヲ停止シタルトキハ關係市長町村長ニ通知スルト

同時ニ監督官廳ニ報告スヘシ其ノ停止ヲ解キタルトキ亦同シ

第三十五條、第三十六條 (削除)

●學校生徒ノ服忌ニ關シ取扱方

明治四十四年八月  
學第三九四七號通牒

服忌ノ制ハ夙ニ明治七年太政官布告第八號ヲ以テ規定相成居候義ニ有之候處近來小學校其他諸學校ニ於テ往々其生徒ノ父母祖父母等ノ死亡ニ際シテモ右ノ制度ヲ等閑ニ附ス方如キモノモ有之ヤニ相聞エ道德教育上頗ル遺憾ノ次第ト被存候就テハ自今生徒ヲシテ克ク服忌ニ關スル心得ヲ會得セシメ又之ニ丁リタル者ニ對シテハ相當期間休業ヲ認許シ尙試驗ノ時期等ニ際シテハ特別ノ取扱ヲ爲ス等便宜ノ方法ヲ講シ以テ苟モ孝悌ノ至情ヲ傷ハシメサル様深ク注意相成度依命此段及通牒候也

●服忌ニ丁リ生徒ノ休業ヲ認許シタル場合ニ於ケル就學ニ關スル

統計上取扱方

明治四十五年一月  
學第四五號移牒

學校生徒ノ服忌ニ丁リ休業ヲ認許シタル場合ニ於ケル就學ニ關スル統計上ノ取扱方ハ當該生徒ニ限り教授日數、短縮シタルモノト看做シ取扱可然旨其筋ヨリ通牒有之候條御了知相成度此段及移牒候也

●兒童就學獎勵規程

大正十三年八月五日  
島根縣令第二七號

昭和六年十一月第四七號改正

拔萃

第四節 就學、並關係學令類



第四節 就學、並關係學令類

第一條 貧困ニ因リ就學義務ヲ果スコト困難ナル兒童ノ就學ヲ獎勵スル爲市町村ニ對シ本規程ニ依リ獎勵金ヲ交付ス  
他省略

七八

第四條 就學獎勵方法ハ左ノ各號ヲ標準トシ市町村長ニ於テ學校長ト協議シ兒童貧困ノ程度、市町村ノ事情等ヲ斟酌シ一  
種又ハ二種以上ヲ選擇スヘシ

- 一、教科書給貸與
- 二、學用品給貸與
- 三、被服給與
- 四、食料給與
- 五、醫療費給與
- 六、兒童勤勞收入補償費給與
- 七、兒童通學ニ關スル施設
- 八、其他兒童就學上必要ナル施設

●兒童就學獎勵規程改正ノ件

昭和六年二月二十日  
學第二四八七號通牒

兒童就學獎勵規程改正ノ件

今回縣令第五號ヲ以テ本縣兒童就學獎勵規程ノ一部改正相成候處右ハ現下ノ情勢ニ鑑ミ貧困ニシテ就學困難ナル者ニ對シ  
テハ勿論出席良好ナラサル者等ニ對シテモ廣ク本規程ノ活用ニ依リ獎勵救済ノ方途ヲ講スルハ極メテ喫緊ノ要諦ナルヲ認  
メタル次第ニ付左記改正ノ要點並施行上注意スヘキ事項御了知ノ上之カ實施上遺憾ナキヲ期セラレタシ

記

一、獎勵金ハ貧困ノ爲就學出席困難ナル學齡兒童ノ就學出席ヲ獎勵スル各種ノ施設ニ對シ廣ク之ヲ支出シ得ルノ途ヲ開カ

レタルモノナルヲ以テ市町村長ハ學校長ト協議シ左記事項ハ特ニ考慮シ其市町村ノ實情ニ照シ適切ナル方法ヲ考究シ之  
ヲ實施スルコト

- 1、學齡兒童ヲ履備スル者ハ其履備ニ依リテ兒童ノ就學ヲ妨クルヲ得サルコトハ小學校令ノ定ムル所ナルニ拘ラス往々  
此等ノ不就學兒童ヲ等閑ニ付スルノ向アリ該當ノモノアル場合ハ其兒童勤勞收入ヲ補償シ就學セシムルコト
- 2、疾病ノ爲長期欠席兒童或ハ就學猶豫兒童ニシテ全治ノ見込アルモ貧困ノ爲醫療費ナキ爲治療ヲ加フルコト困難ナル  
兒童ニ對シ可成醫療費ヲ給與スルコト
- 3、學校給食等ノ方法ヲ講シ其内貧困兒童ニ對スル分ヲ本規程ニ依ル獎勵金中ヨリ支出スルカ如キコトモ差支ナキコト
- 二、從來市町村ニ於ケル貧困兒童就學獎勵ノタメ支出スヘキ金額ノ一部ヲ貧困兒童ノ就學獎勵ヲ目的トスル公益團體ニ對  
シ補助シ得ル規程ナリシモ今回其全部ヲ補助シ得ルコトニ改正セラレタリ此場合ニハ特ニ其團體ニ於ケル就學獎勵事項  
等ニ關シテハ充分取締ヲナスコト
- 三、學齡兒童就學獎勵費經理ノ狀況ヲ特ニ明ニスル爲今回之カ報告様式ヲ改正セラレタルニ付注意ノコト

●兒童就學獎勵規程改正ノ件

昭和八年四月一日  
學第三四一號通牒

今回島根縣令第十五號ヲ以テ本縣兒童就學獎勵規程ノ一部改正相成候ニ付左記御了知ノ上現下市町村ノ實情ニ鑑ミ最モ適  
切ナル施設ヲ實施シテ貧困兒童ノ就學出席上遺憾ナキヲ期セラレ度此段及通牒候也

記

- 一、貧困ノ爲就學出席ノ獎勵ヲ要スル兒童アリテ之カ豫算ノ計上ナキモノ又ハ就學獎勵豫算アルニ不拘施設ナキモノハ此  
際其ノ施設ヲ實施スルコト
- 二、貧困ノ爲不就學兒童ヲ生スルカ如キ場合ハ本規程及學校給食臨時施設方法ノ活用ニ依リ或ハ救護法ヲ適用シテ不就學  
兒童ヲナカラシムルコト

第四節 就學、並關係學令類

七九



第四節 就學、並關係學令類

三、本規程第一號樣式及第二號樣式改正ニ付注意ノコト  
四、昭和七年十月島根縣訓令第二十六號學校給食臨時施設方法ニ依ル施設費ノ割當ハ別途之ヲ定メラル、コト

●兒童就學獎勵規程改正ノ件

昭和八年十一月二十七日  
學第一〇一九號通牒

今般島根縣令第四十七號ヲ以テ本縣兒童就學獎勵規程ノ一部改正相成候處右ハ非常災害又ハ特種ナル事情ニ因リ特ニ就學獎勵ニ關スル經費ヲ多額ニ必要トスル市町村ニ對シテハ交付金ヲ增加シ以テ兒童就學上一層支障アカラシムトスルノ趣旨ニ有之候ニ付之カ實施ニ付遺憾ナキヲ期セラレ度  
追テ報告樣式モ一部改正相成候條併テ御了知相成度

●小學校生徒出席督責ノ件

明治二十九年三月十八日  
島根縣令第三七號

明治二十七年ニ屬スル學事統計ニ於テハ學令兒童修學ノ歩合ハ全國七等ニ別ツテ之ヲ比較シ而シテ本縣ハ其二等ニ位スルモ小學校在籍生徒ノ出席比例ニ於テハ生徒百人ニ付出席六十六人三步一厘ニシテ道廳府縣中本縣ノ下位ニアルモノハ僅ニ三縣ニ止マレリ抑本縣ノ成績タル修學歩合ハ強ク他府縣ニ下ラサルモ出席歩合此ノ如ク低度ナルニ於テハ事實上修學兒童ニ於テモ名實相副ハサル者ノ如キヲ示スモノニシテ實際教育功程ノ進マサルコトヲ認ムヘキモノトス右ハ畢竟督責上周到ヲ欠クノ然ラシムル所ニシテ教育ノ隆進ヲ期スヘキ今日ニ際シ最モ注意ヲ要スヘキモノトス依テ自今出席督責上ニハ努メテ周到敏速ヲ期シ教育功程ノ進歩ヲ計ルヘシ

●兒童ノ就學及出席セサル場合ニ於テ行政執行法及施行令適用ニ關スル件

明治三十六年十二月二十六日  
島根縣訓令第八一號

學齡兒童保護者其ノ兒童ヲ就學又ハ出席セシメサル場合ニ於テ之ニ對スル行政執行法及其ノ施行令適用ニ關シテハ大體左

ノ趣旨ニ依リ機宜ニ適スル様注意スヘシ

一、施行令第五條及第六條ノ戒告書若クハ過料ノ決定書ヲ義務者ニ交付スルトキハ送達書ヲ以テスヘシ義務者ニ於テ戒告書又ハ決定書ノ交付ヲ受クルヲ拒ムトキハ送達者其ノ事實ヲ送達書ニ記載シ署名捺印スルニ因テ送達ヲ了リタルモノト看做スヘシ

戒告書決定書及送達書ノ様式ハ附錄第一號乃至第三號ノ例ニ據ルヘシ行政執行法第六條ノ過料ヲ徵收スルカ爲國稅徵收法ノ規定ニ依リ滯納處分ヲ爲スヘキ場合ニ於テ收稅官吏ノ執ルヘキ職務ハ行政處分ヲ爲シタル島司郡長ニ屬スルモノトス

附錄第一號

戒告書 原本 住所

何 某 (學齡兒童氏名) 保護者 何 某

頭書學齡兒童何某ヲ本戒告書送達後何日以内ニ何尋常小學校ニ就學(出席)セシムヘシ若シ此指定期間ニ就學(出席)セシメサルトキハ過料ニ處スヘシ右行政執行法第五條及行政執行法施行令第五條ニ依リ戒告ス

年 月 日 官 氏 名 印  
右正本ハ原本ニ依リ之ヲ作成ス(正本ニハ以下ヲ加フ)

附錄第二號

決定書 (原本)

住所

何 某 (學齡兒童氏名) 保護者 何 某

第四節 就學、並關係學令類



第四節 就學、並關係學令類

一金也

八二

頭書學齡兒童何某就學(出席)ニ關シ 年 月 日第何號戒告書ヲ送達シタルニ指定期間ニ就學(出席)セシメ  
 サリシヲ以テ前記金額ノ過料ニ處ス因テ 年 月 日限リ其金額ヲ當廳ニ納付スヘシ  
 右行政執行法第五條及行政執行法施行令ニ依リ決定ス

年 月 日 官 氏 名 印

右正本ハ原本ニ依リ之ヲ作成ス(正本ニハ以下ヲ加フ)

年 月 日 官 氏 名 印

附錄第三號

甲號

送達書

送達ノ文書	何々ニ關シ何某ニ對スル	年 月 日	號戒告(決定)書
送達ノ日時	年 月 日	午前 時 分	
送達ノ場所	何府(縣)何郡(市)何町(村)大字 何番地		
受達者氏名印	何某印		
送達者氏名印	何某印		
備考			

年 月 日

官 廳 名

乙號

送達書

送達ノ文書	何々ニ關シ何某ニ對スル	年 月 日	號戒告(決定)書
送達ノ日時	年 月 日	午前 時 分	
送達ノ場所	何府(縣)何郡(市)何町(村)大字 何番地		
送達者氏名印	何某印		
備考			

年 月 日

官 廳 名

備考

- 一、送達書ハ書類送達ノ際切斷シテ乙號ハ之ヲ受達者ニ交付シ甲號ハ官廳ニ保存スヘシ
- 一、乙號ハ送達者之ニ署名捺印シ甲號ニハ送達者共ニ署名捺印スルヲ要ス
- 一、備考ノ欄ニハ送達ニ伴ヒ生シタル事項ノ要領ヲ摘記スヘシ
- 一、受送達者ニ於テ書類ノ交付ヲ拒ミタルトキハ送達者ハ甲號備考欄ニ其ノ事實ヲ記入シ送達者氏名欄ニ署名捺印スヘシ
- 一、受送達者氏名ハ本人ナシテ記入セシムヘキモ若シ自署シ能ハサルトキハ送達者代テ之ヲ記入シ受送達者ニ讀聞カセ捺印セシメ其旨備考欄ニ記入スヘシ
- 一、書類ニハ總テ廳印ヲ押捺スルヲ要ス

●小學校欠席兒童ノ督勵上警察官ニ於テ援助方

明治三十八年四月  
 鳥根縣訓示保第二〇號

第四節 就學、並關係學令類

八三



第四節 就學、並關係學令類

學齡兒童ノ出席ヲ完全ニシ間斷ナキ教育ヲ授クルコトハ義務教育上重要ナル事項ニシテ之レカ獎勵ニ付テハ一層ノ督勵ヲ要スルヲ以テ或ハ町村長學務委員等ヲシテ親シク欠席兒童ノ保護者ニ就キ懇篤説示セシメ又ハ所在警察官ノ助力ヲ求メシメ以テ謂レナキ欠席者ノ減少ニ努ムヘキ旨島司郡長市長ヘ知事ヨリ訓示ノ次第モ有之候條島司郡市長ヨリ右等ノ求メアリタルトキハ相當援助ヲ與ヘラレヘシ

●學齡兒童就學出席事務取扱規程

昭和二年九月三十日  
島根縣訓令第三七號

學齡兒童就學出席事務取扱規程ノ通定ム

學齡兒童就學出席事務取扱規程

- 第一條 學齡簿ハ現在就學ノ部、卒業ノ部、猶豫免除ノ其ノ他ノ部及除籍ノ部ニ區別シ更ニ現在就學ノ部ヲ各年度男女別ニ編製スヘシ
- 第二條 市町村ニ二校以上アルトキハ學校別ニヨリ前項ニ準シ編製スヘシ
- 第三條 學齡簿ニハ第一號様式ニ依ル兒童氏名索引及第二號様式ニ依ル學齡兒童合計表ヲ添付シテ毎月末加除整理スヘシ
- 第四條 小學校令施行規則第八十一條ニ依リ兒童ヲ學齡簿ニ記入シタルトキ又ハ之ヲ抹消シタルトキハ其ノ年月日及事由等ヲ備考欄ニ記入シテ兒童ノ異動ヲ明ニスヘシ
- 第五條 市町村長及學校長ハ毎年五月學齡簿ト學籍簿トノ對照ヲ行ヒ連署ノ上其ノ年六月末日限り第三號様式ニ依リ知事(鹽岐支廳管内ノ町村ニ在リテハ支廳長)ニ報告スヘシ
- 第六條 市町村長ハ小學校令施行規則第八十三條ニ依リ學齡兒童ノ入學ヲ關係學校長ニ通知スル場合ニハ學齡兒童ノ住所、生年月日、種痘經過年月日及保護者ノ氏名、住所、職業、兒童トノ關係ヲモ併セテ通知スヘシ
- 第七條 市町村長ハ小學校令第三十三條第一項ニ依リ學齡兒童就學義務免除ヲ要スル者アルトキハ其ノ年四月就學ノ始期ニ達スヘキ者ニ對シテハ三月十日迄ニ學年中途ニアル者ハ其ノ都度第四號様式ニ依リ認可申請ノ手續ヲ爲スヘシ

- 小學校令實施規程第二十九條ノ二第一項ニ依リ前項ノ申請書ニ添付スヘキ醫師ノ證明書ハ第五號様式ニ依ルヘシ
- 第七條 小學校令第三十三條第二項ニ依ル學齡兒童就學猶豫報告ハ第六號様式ニ依ルヘシ
- 第八條 學校長ハ小學校令施行規則第九十一條及第九十二條ニ依リ不就學又ハ欠席兒童ヲ關係市町村長ニ報告シタル後其ノ兒童就學又ハ出席シタルトキハ遲滞ナク其ノ旨關係市町村長ニ報告スヘシ
- 第九條 市町村長ハ小學校令施行規則第九十三條第一項ニ依リ不就學又ハ缺席兒童ノ保護者ニ對シ督促ヲ爲スニハ關係學校長ヨリ報告ヲ受ケタル日ヨリ三日以内ニ於テシ仍就學又ハ出席セシメサルトキハ爾後五日毎ニ其ノ手續ヲ爲スヘシ
- 第十條 同條第二項ニ依ル報告ハ第七號様式ニ依ルヘシ
- 第十一條 市町村長ハ第八號様式學校長ハ第九號様式ニ依リ就學出席督促簿ヲ調製シテ小學校令施行規則第九十二條及第九十三條ニ依ル就學出席事務ヲ整理スヘシ

附 則

昭和二年度ニ在リテハ第四條ニ依ル學齡簿ト學籍簿トノ對照ハ十一月中ニ行ヒ十二月末限報告スヘシ  
從前學齡兒童就學出席事務取扱ニ關シ島司郡長ヨリ發シタル訓令又ハ通牒ハ之ヲ廢止ス  
第一號様式 用紙美濃紙

何學年度兒童氏名索引

氏名	男		女	
	氏名	要	氏名	要
氏名	要	氏名	要	

第四節 就學、並關係學令類







第四節 就學、並關係學令類  
第五號樣式 用紙半紙

證明書

住所

兒童氏名

生年月日

- 一、病名
- 一、原因
- 一、現症
- 一、既往症
- 一、經過
- 一、豫後
- 一、就學ニ堪ヘサル理由

右ノ通證明候也

年 月 日

何學校醫 何 某印  
(學校醫ニアラサルトキハ學位若ハ資格ヲ記載スヘシ)

第六號樣式 用紙半紙

學齡兒童就學猶豫者報告

認可年月日	猶豫ノ期間	事由	學年又ハ未就學ノ別	兒童氏名	生年月日	住所	保護者氏名
-------	-------	----	-----------	------	------	----	-------

右及報告候也

年 月 日

何市町村長印

知事(支廳長)宛  
注意

- 一、「猶豫ノ期間」欄ニハ(自 年 月 日)ト記載ノコト
- 二、「事由」欄ニハ病弱又ハ發育不完全等ト記載ノコト

學齡兒童就學出席督促ニ應セサルモノ報告

兒童生年	住所	保護者氏名	保護者ノ負擔 町市ノ稅	兒童就學ノ 學上ノ 經歷ノ 月日	學校長ヨリ 第一回 督促ノ 年月日 要	故障申 立ノ 摘 年 月 日 要	第二回 督促ノ 年月日 要	故障申 立ノ 摘 年 月 日 要	第三回 督促ノ 年月日 要	故障申 立ノ 摘 年 月 日 要	備考
------	----	-------	----------------	---------------------------	---------------------------------	------------------------------------	------------------------	------------------------------------	------------------------	------------------------------------	----

右報告候也

年 月 日

何市町村長印

知事(支廳長)宛  
第四節 就學、並關係學令類



第四節 就學、並關係學令類  
第八號樣式 用紙半紙

就學出席督促簿

兒童氏名	保護者氏名	學校長ヨリ報告月日	第一回督促月日	結果	第二回督促月日	結果	第三回督促月日	結果	監督官廳へ報告月日	結果	備考

注意

一、三回以上督促シタルトキハ其欄ヲ設ケ記載ノコト

第九號樣式 用紙半紙

出席督促簿

兒童氏名	保護者氏名	欠席最初月日	第一回督促月日	結果	第二回督促月日	結果	管理者へ報告月日	結果	備考

注意

一、二回以上督促シタルトキハ其ノ欄ヲ設ケ記載ノコト

●學齡簿學籍簿卒業證書等ノ種痘ニ關スル事項記入方

明治四十三年四月  
受學第一八九號通牒

本年三月末本縣訓令第十五號ヲ以テ市町村種痘事務整理順序訓令相成候處同順序第三十八條ニ依リ學齡簿ニ記入スヘキ事項並ニ其記入方ハ左記ノ通り取計ハシメラルヘク又小學校幼稚園等ノ學籍簿ニモ同様記入セシメ種痘ノ濟否ニ關スル取計方法ヲ設ケ以テ改正種痘法ノ趣旨貫徹候様御取計可相成尙小學校幼稚園等ニ於テ授與スル卒業證書修了證書又ハ保育證書ニモ可成種痘ニ關スル事項ヲ記入セシメラルヘク其筋ヨリ來牒ノ次第有之依命此段及通牒候也

一、記入スヘキ事項

一、第一期種痘完了年月日

二、第二期種痘完了年月日

三、痘瘡經過年月日

一、學齡簿又ハ學籍簿ニ記入スルニハ備考欄中ニ記入スヘシ

(參照)

市町村種痘事務整理順序、明治四十三年三月八日島根縣訓令第十五號

第三十七條 市町村長ハ公種痘ヲ施行シ又ハ種痘法第十二條第二項私種痘ノ届出ヲ受ケタルトキハ第一期種痘ヲ完了シタル者(善感シタル者及不善感ナルモ)ヲ速ニ本籍地ノ戶籍吏ニ通知スヘシ

第一期種痘前痘瘡ヲ經過シタル者アルトキ亦同シ

第三十八條 市町村長ハ學齡簿編製ノ際之ニ種痘ニ關スル事項(第何期種痘完了、第何期第一回、)ヲ記入スヘシ前條ノ場合ニ於テ學齡兒童ナルトキハ其ノ第一期種痘ナルト第二期種痘ナルトニ拘ラス之ヲ學齡簿ニ記入スヘシ第

第四節 就學、並關係學令類



第四節 就學、並關係學令類

二期種痘前痘瘡ヲ經過シタル者アルトキ亦同シ

第三十九條 市町村長ハ小學校及之ニ類スル各種學校又ハ幼稚園ノ首長ニ協議シ卒業證書、修業證書、又ハ保育證書ニ種痘ニ關スル事項 定期種痘完了 又ハ痘瘡經過ヲ記入セシムルコトヲ得

●學籍簿樣式ニ關スル件

大正十二年一月二十六日 學第二三一八號通牒

標記ノ件ニ關シ美濃郡長ヨリ左記ノ通照會有之文部省ノ意見ヲ徵シ候處差支無之旨回答有之候條御了知相成度

學第一三三九號 美濃郡長照會 大正十一年九月三十日

內務部長宛

尋常小學校兒童ノ學籍簿樣式ニ關シテハ小學校令施行規則第八十九條ニ規定ノ次第モ有之候得共實際ノ取扱上不便ナルモノ有之候ニ付別紙樣式ニ依リ之ヲ編製セシメ度候處差支無之候ヤ何分ノ御回示相煩度左記事由ヲ具シ此段照會候也 事由省略

(樣式)

(用紙美濃紙)

氏名				
住所	住	入學	年	月
職業	經	入學前ノ	年	月
職業	卒	業	年	月
職業	日	日	日	日
保	護	職業	住所	氏名
職業	住所	氏名	住所	氏名

學年	發育		體	狀	況	學業成績	退學ノ事由	退學ノ年月日	退學ノ者	在學中ノ出席及欠席
	身長	體重								
第學年						修身				
第學年						國語				
第學年						算術				
第學年						日本歷史				
第學年						地理				
第學年						理科				
第學年						圖畫				
第學年						唱歌				
第學年						體操				
第學年						裁縫				
第學年						操行				
第學年						終了年月日				
第學年						出席日數				
第學年						欠席日數				
第學年						病氣事故				

第四節 就學、並關係學令類



第四節 就學、並關係學令類

九四

備考	第一期種痘完了		第二期種痘完了		痘瘡經過	
	年	月	年	月	年	月
第 學 年						
、						
、						
、						

學第二三一八號 大正十二年一月二十日  
美濃郡長宛 内務部長回答

客年九月三十日第一三三九號ヲ以テ標記ノ件御照會相成候處右ハ差支無之旨文部省ヨリ回答有之候條御了知相成度

●學齡兒童取扱ニ關スル件

昭和二年十月十一日  
學第五七五〇號通牒

學齡兒童取扱ニ關スル件

標記ノ件ニ關シ別紙甲號ノ照會ニ對シ乙號ノ通回答シタル旨其筋ヨリ通牒有之候ニ付爲參考此段及移牒候也  
(別紙)

甲號

教第三七七〇號 昭和二年五月二十日

文部省普通學務局長殿

學齡兒童取扱ニ關スル件

大阪府知事

標記ノ件ニ關シ左記事項疑義ニ涉リ候條至急何分ノ御回示相煩度此段及照會候也

記

一、學齡中ノ兒童ニシテ中學校令施行規則第四十二條ニ依リ尋常小學校第五學年ノ課程ヲ終了シ直ニ中學校第一學年ニ入學セリ尤モ中學校豫科ニ入學セシ場合ハ小學校令第三十六條第二項ノ規定ニ基キ兒童就學ニ關シテハ尋常小學校ト同視スルハ勿論ナルモ右豫科ノ設置ナキ中學校第一學年ニ入學セル者ニ對シテハ素ヨリ尋常小學校義務教育修了者ニモアラス將又就學兒童ニモアラス右等ノモノハ小學校令ノ第何條ニ該當スヘキ哉又之カ學齡簿整理方法ニ就テハ如何ニ取扱可然哉

乙號

大普五三號 昭和二年九月十七日

文部省普通學務局長 武部欽一

大阪府知事 田邊治通殿

學齡兒童取扱ニ關スル件

五月二十日教第三七七〇號ヲ以テ標記ノ件御照會ノ處尋常小學校第五學年ノ課程ヲ終了シテ直ニ中學校第一學年ニ入學シタルモノノ學籍取扱方ニ關シテハ別段ノ規定ナキモ右ハ小學校令第三十六條第二項ノ趣旨ニ準シ中學校第一學年在學中ヲ尋常小學校就學、其ノ修了ヲ就學義務修了ト見做シ取扱ヒ差支無キ儀ト御承知相成度

●日系米人ノ公立小學校ヘノ入學ニ關スル件

昭和四年一月十八日  
學第一一四號通牒

日系米人ニシテ公立小學校ニ入學ヲ希望スル場合ハ其ノ入學ニ關シ出來得ル限便利ヲ與ヘラレ度其筋ヨリ通牒ノ次第モ有之依命此段及通牒候也

備考「日系米人」トハ兩親共日本人ナル子ヲ指ス

第四節 就學、並關係學令類

九五



第四節 就學、並關係學令類

九六

●小學校卒業（退學）兒童就業狀況ニ關スル件

昭和五年八月八日  
社第一〇一二號通牒

內務省社會局ヨリ照會越候ニ付貴校ニ於ケル標記狀況左表ニ依リ毎年十月十日迄ニ調査報告相成度  
昭和五年三月  
（第一表）  
卒業（退學）兒童就業狀況調  
昭和五年十月一日現在調

科別	區別	性	尋常科			高等科			卒業科			計	未就職者	其ノ他	計
			男	女	計	男	女	計	男	女	計				
兒童數	上級學校ニ入學セシル者	就業者	家事ニ從事セル者			雇傭セラレタル者						計			
			レタル者												
		未就職者		其ノ他		計									

備考

- 一、上級學校ニ入學セル者ノ中ニハ職業ニ從事スル傍補習學校又ハ夜間學校等ニ通學スル者ハ含マス
- 二、他ニ就職希望ヲ有スルモ就職口ナキ爲一時的ニ家事ヲ手傳ヒツ、アル者ハ「家事ニ從事セル者」ノ中ニ入ル
- 三、其ノ他ノ中ニハ死亡、行方不明等ヲ含ム
- 四、高等科中途退學ノ中ニハ高等科第一學年（若ハ第二學年）修了者ノミナラス學年中途ノ退學者ヲモ含ム、但シ同種學校ニ轉校スル爲ノ退學ハ之ヲ含マス

第二表

就業者職業別調

昭和五年十月一日現在調

科別	種別	性	尋常科			高等科			卒業科			計	未就職者	其ノ他	計
			男	女	計	男	女	計	男	女	計				
工業及建築	土木											計			
商業	農林業											計			
水産業	運輸											計			
戸内	雜業											計			
合計												計			

第四節 就學、並關係學令類

九七



第四節 就學、並關係學令類

合計	高等科卒業	
	計	男女
計	計	男女

備考

- 一、本表ノ計ハ第一表就業者關ノ計ト一致スルコト
- 二、「工業及鑛業」ニハ製絲、紡績、染色、電氣、瓦斯、金屬工、燐寸、肥料、製紙、製本、印刷、採鑛、冶金等ヲ含ム
- 三、「土木建築」ニハ大工、左官、石工、土方、日傭等ヲ含ム
- 四、「商業」ニハ小店員、商店雜役、飲食店、傭人行商等ヲ含ム
- 五、「農林業」ニハ農作、園藝、養蠶、林業等ヲ含ム
- 六、「水産業」ニハ漁撈、養殖、製鹽業ヲ含ム
- 七、「通信運輸」ニハ鐵道、電鐵、自動車、通信其ノ他ノ從業員、船員、運送業者等ヲ含ム
- 八、「戸内使用人」ニハ僕、婢、兒守、書生等ヲ含ム
- 九、「雜業」ニハ官公衙、學校、病院、理髮、娛樂場等ノ雇人ヲ含ム

●尋常小學校卒業者等ノ動向調査報告ニ關スル件

昭和十年五月十六日 學第一七五號通牒

- (一) 標記ノ件ニ關シ本年度以降別紙様式ニ依リ毎年五月末日限り報告相成度此段及通牒候也  
男子ノ部尋常小學校卒業者等ノ動向ニ關スル調

昭和 年四月末日現在 島根縣

種目	尋常小學校卒業者						高等小學校修了又ハ卒業者							
	入學者	入學者	願入學者	入學者	願入學者	入學者	第一學年	第二學年	第三學年	願入學者	入學者			
師範學校														
中學校														
實業學校														
青年學校														
指定學校														
各種學校														
其他學校														
計														
又ハ進級シタル者														
高等小學校へ入學														
又ハ進級シタル者														

第四節 就學、並關係學令類



小計	就職者	在家者	其他	總計

(二) 女子ノ部 右表ニ同シ但シ中學校ノ欄ヲ高等女學校トシ其ノ次ニ實科高等女學校ノ欄ヲ設クルコト備考

- 一、本表ハ當該年三月ニ於テ卒業又ハ修了シタル者ノミニ付調査スルコト
- 二、指定學校トハ各種學校中専門學校入學者檢定規程第十一條ニ依リ文部大臣ノ指定シタル學校ヲ指ス
- 三、「其他ノ學校」トハ本省所管外學校等ヲ指ス
- 四、就職者欄ニハ通勤又ハ住込ノ如何ヲ問ハス他ニ傭ハレタル者ヲ記入スルコト
- 五、自家ニ在ル者ハ其家業ニ就クト否トヲ問ハス總テ之ヲ在家者欄ニ記入スルコト
- 六、就職又ハ家事ノ手傳ノ傍通學スル者ハ相當學校入學者欄ニ記入シ就職者、在家者欄ニハ算入セサルコト
- 七、總計ノ各欄ハ卒業者又ハ修了者ノ總數ト夫々一致セサルヘカラサルコト

● 就學兒童入學前身體檢查實施ニ關スル件 大正十一年十一月八日 學第二六一九號

就學兒童入學前身體檢查實施要項

- 一、本檢查ハ其年四月就學ノ始期ニ達スヘキ兒童ニ就キ毎年一月中旬ニ之ヲ施行スルコト但止ムル得サル場合ハ二月ニ於テ行フコト
- 一、市町村又ハ學校ニ於テ檢查ニ要スル檢査票ヲ調製（第一號樣式）シ豫メ町村長、學校醫、學校長協議ヲナシ時日、場處等ヲ定ムルコト
- 一、就學兒童ニツキ市町村長ヨリ身體檢查通知書ヲ發シ檢查ノ時日、場所ヲ通知シ其際必ス保護者ノ同伴ヲ求ムルコト
- 一、本檢查ハ主トシテ學校醫之ヲ行フヘキモ教職員ハ充分之ヲ援助シ調査ヲ完成スルコト
- 一、本檢查ハ中等學校入學時ノ身體檢查ト異ナリ就學前ニ兒童ノ保護、治療、學校傳染病豫防等兒童衛生保險ヲ全フセシムルヲ目的トシテ行フモノナルヲ以テ當事者ハ勿論保護者ヘモ充分其旨趣ヲ了解セシメ懇切丁寧ヲ旨トスルコト
- 一、本檢查ハ實際衣帶ヲ解カシムルノミニテ特ニ檢査醫ニ於テ必要ト認ムル場合ノ外ハ裸體トナスコトナク亦身長、體重、胸圍等ハ測定セサルコト
- 一、檢査スヘキ項目左ノ如シ
  - 一、既往疾病傷害
  - 二、保育狀況
  - 三、體質
  - 四、視力
  - 五、眼疾
  - 六、聽力
  - 七、耳疾
  - 八、言語
  - 九、口鼻咽頭ノ疾病
  - 一〇、其他ノ疾病異常
- 一、本檢查ハ左記ニ準シ記載スルコト
  - 一、既往疾病傷害關ハ種痘ノ感否、麻疹、百日咳、流行性感胃、氣管支加答兒、肺炎、腸膜炎、胃腸病、癩癩、一ヘルニアノ癩癩、眼耳ノ病患、火傷、外傷等生後罹リタル主ナル疾患ヲ記入スルコト
  - 疾病ニ罹リタルコトナキモノニハ健康狀況ノ概要例令強健普通薄弱ニ區別シ記入ノコト
  - 二、保育狀況ハ母乳、母乳ト牛乳、牛乳其他乳兒榮養ノ種類ヲ區別シテ記入スルコト
  - 三、體質ハ甲、乙、丙、丁ノ四種ニ區別シ左ノ標準ニ依ルコト
    - イ、甲、發育、榮養共ニ佳良ニシテ強健ナルモノ



第四節 就學、並關係學令類

- ロ、乙、發育、榮養共ニ普通ニシテ持久性疾患ナキモノ
  - ハ、丙ノ一、發育榮養共ニ不頁又ハ貧血、腺病、心臟病、結核性諸病其他ノ持久性疾患アルモ家庭ニ於ケル治療養護等ニヨリテ充分治療ノ見込ミアルモノ又ハ輕症ニシテ就學猶豫ノ必要ナキモノ
  - 丙ノ二、發育不完全又ハ病弱ノ程度甚シク就學猶豫ノ必要アルモノ
  - ニ、丁、癩癩、白癩、不具、癩疾等ニシテ就學ニ堪ヘス就學免除ノ必要アルモノ
  - 四、視力ハ普通、減弱、盲ノ三種ニ區別シ保護者ノ供述検査醫ノ認定ニヨルコト特ニ必要アル場合ノ外視力表ヲ用ヒサルコト
  - 五、眼疾ハ検査ノ際發見シタル病名ヲ記載スルコト
  - 六、聽力ハ普通、難聽、聾ノ三種ニ區別シ保護者ノ供述、検査醫ノ認定ニヨルコト(普通談話ニヨリテ定ムルコト)
  - 七、耳疾、検査ノ際發見シタル病名ヲ記載スルコト
  - 八、言語、普通、吃音、啞ノ三種ニ區別シ保護者ノ供述、検査醫ノ認定ニヨルコト
  - 九、口鼻咽頭ノ疾病ニ就キテハ中耳炎、慢性鼻炎、扁桃腺肥大、腺性増殖、細菌等ニ注意シ検査ノ際發見シタル病名ヲ記載スヘシ
  - 一〇、其他ノ疾病異狀ニ就キテハ特ニ腺病、貧血、榮養不頁、結核性疾患、心臟病、骨關節諸病、「ヘルニア」、胸廓異常、四肢畸形、皮膚病等ニ注意シ検査ノ際發見シタルモノヲ記載スルコト
- 此際身體清潔狀況、頭髮清潔狀況等ニ留意シ不潔ノモノニ對シテハ注意スルコト
- 一、検査ノ結果、體質虛弱、榮養不頁、持久性疾患、傳染性疾患、寄生性疾患アルモノハ保護者ニ注意シ入學期マテニ充分治療養護ノ途ヲ講セシムルコト
  - 一、小學校令第三十三條ニ該當シタルモノハ保護者ニ注意シ豫メ適當ナル手續ヲ爲サシムルコト(就學猶豫又ハ免除ノモノ)

一、身體検査ヲ施行シタル時ハ學校長ハ別記ニ號様式ニヨリ統計表ヲ調製シ二月末日限島司郡市長ニ報告スルコト  
 師範學校附屬小學校ニアリテハ學校長ヨリ知事ニ報告スルコト  
 一、島司郡市長ハ取絡メノ上同様式ニヨリ男女別ニ之ヲ集計シ検査學校數ヲ追記シ三月末日限知事ニ報告スルコト  
 (第一號様式)

就學兒童入學前身體検査票		(男) (女)	
現住所	保護者氏名	保護者職業	
兒童名	兒童生年月日	保育ノ狀況	
既往疾病傷害	體質	眼疾	
視力	視力	耳疾	
聽力	聽力	言語	
口鼻咽頭ノ疾病	其他ノ疾病異狀		
注意事項	兒童ノ現在及將來ニ於テ注意スヘキ事項ニツキ検査醫ノ意見ヲ記入ス		
年 月 日	検査醫		印



1 既往疾病障害	(1) 種痘不感何人 (5) 其他各病名ノ下ニ算用數字ニテ記入ノコト	(2) 癩 何人	(3) 百日咳 何人	(4) 腸膜炎 何人
2 既往健康者	(1) 強健 何人	(2) 普通 何人	(3) 癩弱 何人	
3 保育狀況	(1) 母乳 何人	(2) 母乳ト牛乳何人	(3) 牛乳 何人	(4) 其他 何人
4 體質	(1) 甲 何人	(2) 乙 何人	(3) 丙 何人 (1) 何人 (2) 何人	(4) 丁 何人
5 視力	(1) 普通 何人	(2) 減弱 何人	(3) 盲 何人	
6 眼疾	(1) トラホーム 何人	(2) 其他病名ノ下ニ記入ノコト		
7 聽力	(1) 普通 何人	(2) 難聽 何人	(3) 聾 何人	
8 耳疾	(1) 中耳炎 何人	(2) 其他各病名ノ下ニ記入ノコト		
9 言語	(1) 普通 何人	(2) 吃音 何人	(3) 強 何人	
10 口鼻咽喉病	(1) 齶齶 何人	(2) 慢性鼻炎 何人	(3) 扁桃腺肥大 何人	

以下省略ス

● 小學校新入學兒童「トラホーム」檢診方

明治四十五年三月  
學第五九號通牒

調査上必要有之候條貴部内小學校ニ於ケル新入學兒童ニ就キ「トラホーム」檢診ヲ施行シ左記様式ニ依リ毎年四月末日迄ニ御報告相成度依命此段及通牒候

年月 檢定	(何都市町村)(何々學校) 小學校新入學兒童「トラホーム」調査表		種目		患者種別		疑似	受檢兒童ニ對スル患者歩合
	町村名	性別	在籍兒童數	受檢兒童數	重症	中症		
合 計	女	男						
	女	男						

● 小學校學級編制變更届出ニ關スル件

昭和二年二月二十二日  
學第八五八號通牒

小學校ニ於ケル學級編制變更ノ場合ハ小學校令施行規則第四十一條ニヨリ届出ツヘキ儀ニ有之候處往々之カ届出無之向並之カ様式區々ニシテ編制ノ狀況不明ノ向有之候ニ付自今左記事項ヲ具シ遲滞ナク届出相成度此段及通牒候也

一、變更前ノ學級編制

第四節 就學、放關係學令類



兒童數	性		尋常		高等	
	計	女	第何學年	第何學年	第何學年	第何學年
			同	同	同	同
			第何學年	第何學年	第何學年	第何學年
			同	同	同	同
			第何學年	第何學年	第何學年	第何學年
			同	同	同	同
			第何學年	第何學年	第何學年	第何學年
			同	同	同	同

二、變更ノ學級編制

兒童數	性		尋常		高等	
	計	女	第何學年	第何學年	第何學年	第何學年
			同	同	同	同
			第何學年	第何學年	第何學年	第何學年
			同	同	同	同
			第何學年	第何學年	第何學年	第何學年
			同	同	同	同
			第何學年	第何學年	第何學年	第何學年
			同	同	同	同

●尋常小學校ノ教科ヲ修ムル兒童ト高等小學校ノ教科ヲ修ムル

兒童ト合セ學級編制方

明治三十七年四月  
視第一一五號通牒

尋常小學校ノ教科ヲ修ムル兒童ト高等小學校ノ教科ヲ修ムル兒童ト合セテ學級ヲ編制スル件ニ關シ其筋ヨリ別紙ノ通牒有之候ニ付此段及移牒候也

(別紙) 明治三十七年四月發普七一號文部省普通學務局長通牒

尋常小學校ノ教科ヲ修ムル兒童ト高等小學校ノ教科ヲ修ムル兒童ト合セテ學級ヲ編制スル件ニ關シ本月四日官報彙報官廳事項中掲載ノ通り熊本縣ヨリノ伺ニ對シ差支ナキ旨回答致候處右ハ必シモ同縣何出ノ場合ニ限ラス特別ノ事情アルトキハ右ニ準シ編制セシメラレ差支無之候條御了知相成度依命此段及通牒候也

●高等小學校女兒ノ數四十人以上ノ場合男兒ト學級ヲ區別編制方

明治三十八年八月  
視第一一三號通牒

高等小學校若クハ其分教場ニ於テ全校女兒ノ數四十人以上ナル場合ニ於テハ女兒ハ男兒ト區別シ學級ノ編制ヲナスヘキ義ニ候條來三十九年四月一日ヨリ右編制ニ據ラシメラルヘキ命ヲ承ケ申進候也

●外國學生ニ關スル件

昭和二年四月八日  
學第一一五四號通牒

調査上必要有之候條貴校ニ於テ收容スル外國學生生徒兒童(朝鮮人、臺灣人ヲ含ム)アラハ之ニ關シ別紙事項承知致度ニ付毎年五月末日現在ニ依リ調査ノ上六月十五日迄ニ御報告相成度

外國學生ニ關スル調査

二、卒業者數並卒業後ノ情況

第四節 就學、並關係學令類



第四節 就學、並關係學令類

學科別 種別	卒業者數	卒業後ノ	上級學校入學者	其ノ	狀況
		他			
何々科					

備考

- 一、卒業者ハ前年四月一日以降其年三月末日マテノ間ニ卒業シタル者ニ就テ調査スルコト
  - 二、本表ノ終ニ「備考」トシテ當該學年間「前項ノ期」ニ於ケル中途退學者ニ關シ其學科學年及員數ヲ附記スルコト
  - 三、朝鮮人、臺灣人ハ右ニ準シ別ニ朱書シテ記入スルコト
  - 四、卒業後ノ情況中「其他」ハ可成職業別ニ記載スルコト
- 三、國籍別男女別氏名並年齡

學科別 種別	學年別 第何學年又ハ在學何年者	國籍		男女別	氏名	年齡
		國名、省又ハ州名等	奉天省			
何々科				男		
				女		

備考

- 一、朝鮮人、臺灣人ハ右ニ準シ末尾ニ朱書スルコト
- 一、四、五、省略

●青年學校制度實施ニ關スル件

昭和十年四月十七日  
島根縣訓令第二一號

昭和十一年六月改正

拔萃

- 一、小學校長ハ每年末卒業スヘキ兒童ノ中、中學校、高等小學校等ニ進學セサル者及其保護者ノ氏名ヲ二月末迄ニ市町村長ニ報告スルコト其後ニ於テ異動ヲ生シタルトキ及新ニ進學セサルモノヲ生シタルトキハ三月末日迄ニ報告スルコト

第五節 小學校教員檢定

第三十七條乃至第三十九條 (削除)

第四十條 小學校教員ノ試驗檢定ハ左ノ區分ニ依リ毎年六月之ヲ施行シ其ノ期日ハ豫メ之ヲ告示ス但シ時宜ニ依リ本條規程ニ依ラス臨時施行スルコトアルヘシ

- 小學校本科正教員
  - 小學校准教員
  - 尋常小學校本科正教員
  - 尋常小學校准教員
  - 小學校專科正教員
- 試驗場
- 男子ハ師範學校
  - 女子ハ女子師範學校

試驗場ハ時宜ニ依リ變更スルコトアルヘシ此場合ニ於テハ豫メ之ヲ告示ス

島根縣師範學校小學校教員講習科、島根縣農業教員養成所其ノ他教員養成ノ目的ヲ以テ本縣ニ於テ設置セル學校等ヲ修了又ハ卒業シタル者ニ對シテハ其ノ都度試驗檢定ヲ行フ

第四十一條 檢定ヲ受ケムトスル者ハ第四十九條規定ノ様式ニ依リ願書ニ履歷書、身體檢查書及小學校令施行規則第四百條各號ニ該當セサルコトヲ市町村長ニ於テ證明シタル書類ヲ添ヘ知事ニ願出ツヘシ

第五節 小學校教員檢定



第五節 小學校教員檢定

中學校、高等女學校其ノ他中等程度ノ學校ヲ卒業又ハ修業シタル者ハ卒業又ハ修業當時ノ各學科目ノ成績ヲ記載シタル常該學校長ノ證明書ヲ添付スヘシ  
他府縣ニ於ケル小學校教員檢定試驗ニ於テ成績佳良證明書ヲ得タル者ハ其ノ受領者タルコトヲ證スル當該府縣知事ノ證明書ヲ添付スヘシ

試驗檢定ヲ受ケムトスル者ハ毎年四月末日迄ニ本條第一項ノ區分ニ依リ願出ヘシ

第四十二條 檢定出願者ハ出願ト同時ニ左ノ手数料ヲ納ムヘシ但シ第四十條第二項ニ該當スル者ハ此ノ限ニ在ラス

小學校本科正教員

小學校專科正教員

尋常小學校本科正教員

小學校准教員

尋常小學校准教員

金參圓

金參圓

金貳圓

金貳圓

前項ノ手数料ハ縣廳ニ納付スヘシ其ノ既ニ納付シタル手数料ハ何等ノ事情アルモ之ヲ還付セス

第四十三條 (削除)

第四十四條 (削除)

第四十五條 試驗檢定ヲ受ケタル者ニシテ其ノ試驗ニ合格セサルモ某科目ノ成績佳良ナルトキハ其ノ科目ノ成績ニ關シ證明書ヲ交付ス

第四十六條 小學校教員ノ試驗科目中左ノ科目ハ當分ノ内其ノ試驗ヲ欠ク

小學校本科正教員、手工、農業、商業、英語

小學校 准教員、音樂、手工、農業、商業

尋常小學校准教員、唱歌

第四十七條 (削除)

第四十八條 小學校教員免許狀ノ書換若ハ再渡ヲ請ハムトスル者ハ事由ヲ具シ知事ニ願出ヘシ

前項ノ出願者ハ第四十二條ニ準據シ手数料金參拾錢ヲ納付スヘシ

第四十九條 檢定願書、履歷書及身體檢査書式ハ別紙第四號様式ニ依ル

第六節 職員、並關係學令類

第一 學校長及教員進退、並關係學令類

第五十條乃至第五十二條 (削除)

第五十三條 小學校准教員左ノ各號ノ一ニ該當スルトキハ休職ヲ命スルコトアルヘシ

一、傷疾ヲ受ケ若ハ疾病ニ罹リ職務ヲ行フニ妨アルトキ

二、學校編制ノ變更又ハ訴願ノ裁決ニ因リ過員ヲ生シタルトキ

三、教員養成ヲ目的トスル官立府縣立學校ニ入學スルトキ

四、名譽職タル町村長及助役ニ當選シタルトキ

五、刑事事件ニ關シ告訴若ハ告發セラレタルトキ

第五十四條 小學校准教員ニシテ陸海軍現役ニ服シ又ハ戰時事變ニ際シ召集セラレタル者ハ當然休職者トス

第五十五條 休職ノ期間ハ第五十三條第一號第二號第四號及第五十八條ノ二ノ場合ニアリテハ一箇年トシ第五十三條第五號ノ場合ニ在リテハ其ノ事件ノ裁判所ニ繫屬中トシ同條第三號第四號及第五十四條ノ場合ニアリテハ其ノ事故止ミタル後尙三箇月トス

第五十六條 小學校准教員休職者ハ職務ニ從事セサル外總テ在職者ト異ナルコトナシ但シ別段ノ規定アルモノハ此ノ限ニ

第六節 職員、並關係學令類



第六節 職員、並關係學令類

アラス

一一三

第五十七條 小學校准教員左ノ各號ノ一ニ該當スルトキハ之ニ退職ヲ命スルコトアルヘシ

- 一、不具癡疾ニ因リ又ハ身體若クハ精神ノ衰弱ニ因リ職務ヲ執ルニ堪ヘサルトキ
- 二、傷疾ヲ受ケ若ハ疾病ニ罹リ其ノ職ニ堪ヘサルニ因リ又ハ自己ノ便宜ニ因リ退職ヲ出願シタルトキ
- 三、退職者復職シタル爲其ノ代員ヲ要セサルトキ

第五十八條 (削除)

第五十八條ノ二 第五十三條又ハ第五十七條ノ事由ニ因ラスシテ退職又ハ退職ヲ命スル必要アリト認メタルトキハ特別ノ處分ヲ爲スコトアルヘシ

第五十九條 小學校准教員左ノ各號ノ一ニ該當スルトキハ當然退職者トス

- 一、當該學校ノ廢セラレタルトキ
- 二、退職期間満チタルトキ

第六十條 小學校教員左ノ各號ノ一ニ該當スルトキハ學校長ハ直ニ之ヲ知事ニ報告スヘシ但シ正教員ニシテ第四號ニ該當スルトキハ在職中ノ履歴ヲ取調報告書ニ添付スヘシ

- 一、免許狀ノ効力ヲ失ヒタルトキ
- 二、當然退職者トナリタルトキ
- 三、當然退職者トナリタルトキ
- 四、死亡シタルトキ

第六十一條 (削除)

●市町村立小學校長及正教員命免並補職ニ關スル辭令式

昭和七年七月二十九日  
學秘第四八〇號

市町村立小學校長及正教員ノ命免並補職ニ關スル辭令式別紙ノ通定昭和七年八月一日ヨリ之ヲ施行ス  
右訓令ス

一、新任職記式

(何官職) 位勳功爵 何 某

島根縣公立小學校訓導ニ任ス

本科(專科) 正教員勤務

何級上(下) 俸(當分月俸何圓) 給與

一、兼任職記式

島根縣公立小學校訓導 位勳功爵 何 某

島根縣公立小學校長ニ兼任ス

一、補職辭令式

島根縣公立小學校訓導 (兼)(島根縣公立小學校長) 何 某

島根縣何郡(市) 何小學校訓導

(兼)(島根縣何郡(市) 何小學校長) ニ補ス

一、俸給辭令式

島根縣公立小學校訓導 何 某

何級上(下) 俸(當分月俸何圓) 給與

一、退職辭令式

島根縣公立小學校訓導

第六節 職員、並關係學令類

一一三



第六節 職員、並關係學令類

一一一

小學校令施行規則第二百二十二條第何號(第百二十七條)ニ依リ休職ヲ命ス  
(兼島根縣公立小學校長) 何 某

(但シ俸給ヲ支給セス)

一、退職辭令式

(休職) 島根縣公立小學校訓導

(兼島根縣公立小學校長) 何 某

小學校令施行規則第二百二十六條第何號(前段又ハ後段)(第百二十七條)ニ依リ本職(並兼職)ヲ免ス  
一、復職辭令式

休職 島根縣公立小學校訓導

(兼島根縣公立小學校長) 何 某

復職ヲ命ス

●市町村立學校ニ於テ高等科ノ併置ヲ廢シタル場合ニ現任教員進退ノ件

明治二十六年五月三十一日  
島根縣訓令第六四號

市町村立學校ニ於テ高等小學校教科ノ併置ヲ止メタル場合ニ於テハ該校現任訓導准訓導學校長ハ別ニ辭令ヲ交付セス其儘尋常小學校ノ訓導准訓導學校長タラシム但三學級以上ヲ設ケサル學校ニ於テハ學校長ハ解職トス  
休職尋常小學校訓導學校長タルモノ休職中高等小學校教科ノ併置ヲ止メタル場合亦同シ  
休職尋常小學校訓導學校長タルモノ休職中高等小學校教科ヲ併置シタル場合更ニ辭令ヲ交付セサルモノハ其儘休職該校尋常科訓導タルモノトシ學校長ハ解職トス

●教員免許狀ヲ有スル者ヲ代用教員ニ採用ノ件

明治三十九年九月  
學第八〇五號通牒

明治三十六年學第一二八八號通牒ハ取消相成候條自今小學校教員免許狀ヲ有スル者ヲ代用教員ニ任用相成差支無之候條御了知相成度依命此段及通牒候也

●神職又ハ寺院住職ト小學校訓導ト兼務申請ノトキ具申事項

明治三十一年五月  
學第四〇九號通牒

明治二十八年十月本縣第三號內訓ニ基キ神職又ハ寺院住職ト小學校訓導ト交互兼務ノ義御申請ノ節ハ其現時ニ係ル本人在職學校ノ生徒數學級數教員配置數ヲ併テ具申可相成依命此段及通牒候也

●尋常科訓導准訓導ノ名稱不使用方

明治三十三年九月  
學第七六五號通牒

尋常小學校本科正准教員ノ資格ヲ有シテ尋常高等小學校ニ任命ノ場合ニ於テハ從來尋常科訓導若ハ尋常科准訓導ト任命相成居リ候處自今單ニ訓導准訓導ト稱スル義ト御承知相成依命此段及通牒候也

●小學校、青年學校及幼稚園職員ノ轉任及兼任發令ニ關スル件

昭和二年五月六日  
學第三四五二號通牒

從來小學校、青年學校及幼稚園職員ノ轉任、兼任發令ノ場合ハ辭令書ヲ交付相成居候處自今發令通知ヲ爲スコトニ決定相成候條御了知相成度依命此段及通牒候也

●小學校青年學校教員任用ニ關スル件

大正十一年二月十五日  
學第二二三六號通牒

第六節 職員、並關係學令類

一一五



標記ノ件ニ關シ文部省ヨリ左記ノ通申來候條御了知ノ上御取扱相成度依命此段及通牒候也

一、青年學校教員ヨリ小學校教員兼務ニ關スル件

從來青年學校助教諭ヨリ小學校訓導兼務ハ許サレサル規定ナリシカ同一構内ニ併設セラレタル場合ニ限り爾今青年學校助教諭ヨリ小學校専科正教員ニ兼務ハ差支ナシ

二、待遇者間ノ一身兩職(判任待遇ノ職ト判任待遇ノ職又ハ判任待遇ノ職ト判任待遇ノ職ト各獨立シテ任命セルモノ)ハ然ルヘカラサル義ニ付一方ヲ本職トシ他ノ一方ヲ兼職トスルコト

●小學校及青年學校教員任免增俸申請ニ關スル件

大正十三年十月二十日  
學第一一九七號通牒

小學校、青年學校教員任免增俸申請ニ當リ往々廻リ發令方申請ノ向有之候處右ハ取扱上差支候ニ付自今御留意相成度  
追テ申請期ノ定アルモノニ就キテハ必ス其ノ期限前ニ御取計相成度爲念申添候

●公立學校職員職務上席次

大正七年一月十一日  
島根縣訓令第四號

明治二十六年九月島根縣訓令第九十一號公立學校職員職務上席次ノ件左ノ通改正ス

公立學校職員職務上席次

- 一、公立學校職員ニシテ奏任官又ハ判任官ノ待遇ヲ受クル者ノ席次ハ公立學校職員待遇官等等級ノ順序ニ依リ之ヲ定ム
- 二、同官等又ハ同等級ニ於テハ任補ノ前後ニ依リ任補ノ日同シキトキハ敘位ノ前後ニ依リ敘位ノ日同シキトキハ前官職ノ席次ニ依リ前官職ノ席次ニ依ル能ハサルトキハ年長者ヲ上席トス
- 三、同官等及同等級内ニ於テ官職ヲ轉シタル場合ハ從前ノ席次ヲ變更セス
- 四、本官職ト兼官職ト其ノ官等又ハ等級ヲ異ニスルトキハ官職ニ據リ其ノ席次ヲ定ムヘキ必要アル場合ハ當該官職ノ席次

ニ依ル但シ官職ヲ區別スル必要ナキトキハ其ノ高キニ依ル

五、轉任ニ依リ降等シ及鶴退シタル者ハ同官等又ハ同等級内ノ首席トス

附 則

明治二十六年九月島根縣訓令第九十一號ニ依リ席次ヲ定メタル者ニ在リテハ待遇陞等迄仍從前ノ例ニ依ル

●東京廣島文理科大學入學者取扱方ニ關スル件

昭和四年三月五日  
學第六八五號通牒

今般公立學校職員又ハ小學校教員ニシテ來ル四月ヨリ東京廣島文理科大學ニ入學スル者ニ對シテハ公立學校職員分限令第八條第一項第四號又ハ小學校令施行規則第二百二十二條第三號之候條御了知相成度

●教員養成ヲ目的トスル官立府縣立ノ學校入學者休職ニ關スル件

昭和四年十月二十五日  
學第三八三二號通牒

公立學校職員又ハ小學校教員等ニシテ公立學校職員分限令第八條第一項第四號又ハ小學校令施行規則第二百二十二條第三號ニ依リ休職ヲ命セラレタル者引續キ他ノ教員養成ヲ目的トスル官立府縣立ノ學校ニ入學ノ場合其ノ休職ハ繼續ノモノトシテ取扱フコトニ省議決定セル趣其ノ筋ヨリ通牒有之候條御了知相成度  
追テ本文該當ノ者有之候場合ハ旨ヲ具シテ上申相成度

第二 學校長教員ノ職務及服務並關係學令類

第六十二條 小學校長事故アルトキハ上席教員其ノ職務ヲ代理スヘシ

第六十三條 小學校長又ハ教員ニシテ轉任休職退職免職ノ場合ニ於テハ其ノ管掌ノ事務ヲ學校長ハ後任者又ハ上席教員ニ

第六節 職員、並關係學令類



第六節 職員、並關係學令類

其ノ他ハ學校長ニ引繼クヘシ但シ引繼ヲ受クヘキ者ナキトキハ學校管理者ニ引繼クヘシ  
第六十三條ノ二 職員ノ出張ハ學校長之ヲ命スヘシ但シ學校長ノ縣外出張ニシテ日數三日以上ニ及フモノハ目的、日程、用地、旅費額等ヲ具シ學校長ヨリ之ヲ知事ニ申請スヘシ

前項ニ依リ學校長ニ於テ出張ヲ命シ又ハ出張セムトスルトキハ其ノ旅費支給ニ付豫メ管理者ニ協議スヘシ  
第六十四條 職員新任又ハ轉任ノトキハ辭令ヲ受ケタル日ヨリ七日以内ニ出發赴任スヘシ

兵役法第十條ノ規定ニ依リ短期現役兵トシテ服役スル者ニ在リテハ除隊ノ日ヨリ十日以内ニ出發赴任スヘシ  
前二項ノ期限内ニ出發シ難キ事情アルトキハ其ノ事由ヲ具シ期限ヲ定メ學校長ニ在リテハ知事其他ノ者ニ在リテハ學校長ノ許可ヲ受クヘシ

第六十五條 小學校教員休業中旅行セントスルトキハ其ノ行先及日數ヲ記シ學校長ニ在リテハ知事其ノ他ノ者ニ在リテハ學校長ニ届出ツヘシ但シ日數三日以内ノ旅行ハ此限ニ在ラス

第六十六條 職員忌引チ爲サントスルトキハ其ノ續柄ヲ記シ學校長ニ在リテハ知事ニ其ノ他ノ者ニ在リテハ學校長ニ届出ツヘシ

教員ノ除服ハ學校長之ヲ命スヘシ

第六十七條 教員父母ノ祭日ニ當リ休暇セムトスルトキハ其ノ旨學校長ニ届出ツヘシ  
第六十七條ノ二 女教員ハ分娩豫定日前二週間分娩後六週間連續休暇スルコトヲ得

前項ノ分娩豫定日ヲ超エテ尙分娩セサルトキハ分娩スルマテ休暇ヲ繼續スルコトヲ得

前二項ノ場合ハ醫師ノ診斷書(特別ノ事情アルトキハ産婆ノ證明書)ヲ添へ學校長ニ届出ツヘシ

第六十八條 小學校長教員疾病ニ因リ遲参又ハ欠勤スルトキハ始業時限前ニ學校ニ届出ツヘシ但單級小學校ノ教員ニ在リテハ學級及學校管理者ニ報知スヘシ  
前項ノ欠勤日數七日ニ及ヒ尙引續欠勤セムトスルトキハ休業期間ヲ明示セル醫師ノ診斷書ヲ添へ學校長ニ在リテハ知事

ニ其他ノ者ニ在リテハ學校長ニ届出ツヘシ爾後二十日ヲ超ユル毎ニ亦同シ

第六十九條 職員左ノ各號ノ一ニ當ル事由ニ依リ欠勤又ハ旅行セムトスルトキハ期限ヲ定メ學校長ニ在リテハ知事其ノ他ノ者ニ在リテハ學校長ノ許可ヲ受クヘシ但シ學校長ノ缺勤又ハ旅行ニシテ日數五日以内ノモノハ此ノ限ニ在ラス

一、轉地療養ヲ爲ストキ

二、教員檢定試験又ハ學校ノ入學試験ニ應スルトキ

三、父母ノ看病又ハ墓參ヲ爲ストキ

四、其ノ他已ムチ得サル事故アルトキ

前項ノ場合ニ許可ヲ受クル暇ナキトキハ其ノ旨届出ツヘシ

第七十條 教員法令ノ規定ニ依リ召喚ニ應スル爲欠勤セムトスルトキハ其ノ旨届出ツヘシ

第七十條ノ二 (削除)

第七十條ノ三 小學校長教員其ノ氏名ヲ變更シタルトキハ直ニ之ヲ知事ニ届出ツヘシ

第七十條ノ四 小學校令施行規則第百三十七條ノ規定ニ依リ學校所在地外ニ居住スル爲認可ヲ受ケムトスルトキハ通勤ノ方法及居住ノ期間ヲ具シ申請スヘシ

第七十一條 小學校ニ於テハ左ノ表簿ヲ備へ學校長之ヲ整理スヘシ

學籍簿

學校學年末調查簿

兒童出席簿 同月末調查表 同學年末調查表

備品原簿

職員出勤簿

兒童成績簿

第六節 職員、並關係學令類



第六節 職員、並關係學令類

兒童身體檢查表 (學校醫アル學校ニ限ル)

兒童賞罰録

卒業生名簿

學校一覽表

學校沿革誌

學校日誌

教授細目

教授案

第七十一條ノ二 學校長ハ前學年中ニ於ケル學校ノ狀況ヲ調査シ毎年五月末日限之ヲ報告スヘシ其ノ概目左ノ如シ

一、職員ノ異動及勤務ノ狀況

二、生徒出欠席ノ狀況

三、生徒ノ修業卒業成績並賞罰ノ狀況

四、卒業生ノ上級學校入學志願並入學ノ狀況

五、特ニ研究調査又ハ施設シタル事項ノ大要並新學年ニ於ケル計畫

第七十一條ノ三 學校長ハ毎年五月末日限當該年度學校一覽表ヲ進達スヘシ

第二ノ二 學校職員研究會

第七十一條ノ四 小學校ハ數校聯合シテ學校職員會ヲ設クルコトヲ得

第七十一條ノ五 學校職員研究會ヲ設ケタルトキ又ハ之ヲ廢シタルトキハ知事ニ報告スヘシ

第七十一條ノ六 學校職員研究會ヲ開會セムトスルトキハ十日以前ニ期日、會場、事業等ヲ具シ知事ニ報告スヘシ

●小學校女教員ノ勤務ニ關シ保護注意方

明治四十年八月 學第六五六號通牒

小學校女教員中圖ラサル惡評等ヲ受ケ爲メニ快ク勤務スルノ念ヲ失ヒ轉任若クハ退職ヲ希望スルニ至レルモノ往々有之ヤ  
ニ聞エ候處是等ハ豫テ夫々御注意相成居リ候事トハ存候ヘトモ尙左記事項ニ關シテ出來得ル限リ保護ヲ加ヘラレ樂ンテ其  
職務ニ從事候様特ニ御配意相成度依命此段及通牒候也

一、女教員ノ爲メニ成ルヘク旅宿住所ヲ避ケ禮儀正シキ家庭ニ宿泊セシムル様配慮スルコト

一、女教員ノ品行性情等ニツキ種々ノ原因ヨリ來ル中傷ノ爲ニ汚名ヲ蒙ラシムルカ如キナキ様注意ヲ怠ラサルコト

一、教育上須要ナラサル諸種ノ會合ハ勿論公ノ式事祝典ノ場合ト雖其ノ宴席ニ強ヒテ女教員ヲ參列セシムルカ如キコトアラシメサルコト

●女教員産前産後ノ休暇ニ關スル件

大正十一年一月九日 學第一二二六號通牒

客年十二月縣令第五十二號ヲ以テ小學令施行規則實施規程中改正ヲ加ヘラレ標記ノ件ニ關シ産前二週間産後六週間公休ヲ  
許サル、事ト相成候處其ノ期間當該學級ノ教授ニ關シテハ可成補助教員ノ設置ヲ獎勵シ市町村ノ經濟ノ狀態カ補助教員ノ  
設置ヲ許サ、ル場合ニ於テハ二部教授若クハ三學級二教員制ヲ一時採用スル等適切ノ方法ヲ講シ以テ小學教育ノ内容充實  
上遺憾ナキナ期スル様關係町村ヲ御督勵相成度依命此段及通牒候也

●女教員産前産後休養ニ關スル件

大正十五年一月二十九日 學第二九〇號通牒

今般某縣ヨリ左記甲號ノ如キ照會有之タルニ對シ文部省ハ乙號ノ如キ回答相成タルニ就テハ貴管内(貴校)ニ於テ該當ス  
ルモノアル場合ニハ同通牒ノ趣旨ニ從ヒ御取計相成度候

記

第六節 職員、並關係學令類



第六節 職員、並關係學令類

甲號

女教員産前産後ニ於ケル休養ニ關シテハ大正十一年九月文部省訓令第十八號ヲ以テ御明示有之候處左記ノ場合ニ於ケル取扱方ニ關シ疑義有之候間至急御指示御煩度此段及照會候

記

母體ノ疾病ノ爲欠勤中其疾病治療ノ必要上人工妊娠中絶ヲ爲シタル場合此手術施行後産後休養トスヘキヤ或ハ病氣欠勤トシテ取扱フヘキヤ

乙號

十月三十日附學收第五四〇六號ニテ以テ標記ノ件ニ關シ御照會ノ處右ハ人工妊娠中絶ヲ爲シタル場合ト雖醫師ニ於テ妊娠第二十八週以後ナルコトヲ證明セルモノニツキテハ大正十一年九月文部省訓令第十八號ニ依リ産後休養トシテ取扱ハル可キモノト御了知相成度

●女教員産前産後ニ於ケル休養實施ニ關スル件

大正十五年六月二十五日  
學第二〇二八號通牒

標記ノ件ニ關シテハ曩ニ文部省令並通牒ノ次第モ有之其ノ實施ニ關シテハ豫テ御配意ノコトト存スルモ實際ニ於テハ往々規定ノ休養ヲ爲サスシテ登校スル向モ尠カラサルヤノ趣斯ノ如キハ其ノ間種々ノ事情之レアラシクモ母體、胎兒並嬰兒保護ノ上ニ遺憾ノ點尠ナカラスト存セラルルニ付テハ貴管内各學校ヲシテ右訓令ノ趣意ヲ會得セシメ所定ノ期間ハ充分休養セシメラレル様今般文部次官ヨリ特ニ通牒有之候條可然御取計相成度候

●教員學校所在地ニ居住ノ件

昭和十年四月十六日  
學第三二二〇號通牒

標記ノ件ニ關シテハ從來屢々指示セル處ニシテ教員カ勤務地ニ現住シ學校並社會教育ニ専念スヘキハ最も緊要ノ事ニ有之手續ヲ經スシテ濫リニ所在地外ヨリ通勤ヲナスカ如キハ不可然義ニ付爾今貴職ニ於テモ率先之カ勵行ニ努メ部下職員ノ通

勤認可ニ際シテモ左記内規ニ依リ取扱ヒ之カ徹底ヲ期セラレ度此段依命通牒候也

記

一、學校長ハ必ス學校所在地ニ居住スヘシ

但特別ノ事情ニヨリ所在地外ヨリノ通勤認可ヲ受ケントスル者ハ其事由ヲ詳具シ通勤地圖(學校ヲ中心トシテ自宅ヨリノ通勤路ヲ表セルモノ)ヲ添付ノ上第一號様式ニヨリ申請スルコト

二、學校長ニ於テ特別ノ事情ニヨリ教員ノ學校所在地外ヨリノ通勤ヲ認可スル場合ハ左ノ範圍ヲ超エサルコト

1、教員數ノ半數以內

2、學校ヨリノ距離四料以內

3、船車ニ依ル場合ハ三十分以內

三、學校長ハ毎年四月二十日限教員通勤地圖(第一項ニ同シ)ヲ添付ノ上第二號様式ニヨリ通勤認可報告ヲナスコト、以後異動アル時亦同シ

第一號様式

學校長通勤認可申請

現住所	自宅ヨリ學校迄ノ距離	通勤方法	所要時間	通勤期間	通勤事由
-----	------------	------	------	------	------

年 月 日

知事(支廳長)宛

職 氏 名 印

第二號様式

教員通勤認可報告

第六節 職員、並關係學令類







第六節 職員、並關係學令類

一一六

●教員除服ニ關スル件

大正十五年九月  
學校長會指示

改正小學校令實施規程ニ依リ忌引中ノ教員ノ除服ハ學校長ニ於テ之ヲ命スル事トナリタルカ言フマテモナク服忌ノ事ハ國民道徳ニ重大ナル關係ヲ有スルヲ以テ最モ慎重ニ之ヲ取扱ヒ忌引ノ日數ハ各事情ヲ考量シ大凡左ノ標準ニ據ラレタシ

記

- 一、忌引ノ日數ハ明治七年太政官布告第百八號日數ノ五分ノ一ヲ標準トスルコト
  - 但右五分ノ一カ一日ニ充タサルトキハ一日トス
  - 一、計ヲ知リタル時已ニ若干ノ日數ヲ經過シタル場合ハ前項日數ノ殘日數忌引スルコト
  - 一、前各項ニ依リ難キ場合ハ學校ノ事情ニ應ジ斟酌スルコト
- 備考 學校長ノ忌引届出ニハ續柄、死亡日ヲ明記スルコト

●小學校教員履歷書ニ關スル件

昭和七年九月十日  
學第八七三號例規

今回本縣小學校教員履歷書樣式別紙ノ通相改候ニツイテハ別紙記載例參照ノ上自今貴校職員履歷書該樣式ニヨルモノ御備付相成致度尙此際現學校長ハ右ニ依ルモノ一部本月末日到着ヲ期シ御提出相成度又今後新ニ學校長ニ任セラレタルモノハ其都度提出ヲ要シ候條御了知相成度  
追テ左記爲念申添

記

- 一、氏名ハ戶籍臺帳所載ノ字劃ニ基キ正確ニ記載セラレタシ
- 一、スヘテ記載ハ階書ヲ用ヒ正確ナラシメラレタシ

●官紀ノ肅正行政ノ改善ニ關スル件

昭和九年八月四日  
島根縣訓令第二四號

今回官紀ノ肅正、行政ノ改善ニ關シ内閣訓示號外及内務省訓令號外ヲ以テ官公吏ノ嚮フヘキ所ヲ昭示セラレ職ヲ官公務ニ奉スルモノ宜シク訓諭ノ趣旨ヲ體シ各其ノ本分ニ恪遵シテ一意専心其ノ職司ニ從ヒ忠信公正其ノ事ニ當リ居常深ク戒慎シテ清廉ナル心事ト公明ナル態度ヲ持シ以テ綱紀ノ肅正ト庶政ノ振張トニ努ムヘシ

●知事其他監督官學校巡視ノ際生徒ニ紹介ノ言詞注意方

明治四十二年二月  
學第二二九號通牒

各學校ヘ知事其他監督官巡視ノ際生徒ニ紹介ノ言詞ニ敬稱ヲ用キサルモノ往々有之趣ニ候處右ハ不都合ニ付心得違無キ様豫メ注意セシメラルヘク此段申進候也

●視學官及視學學事視察規程

大正十五年十二月七日  
訓令 第九七七號

視學官及視學學事視察規程左ノ通定ム

視學官及視學學事視察規程

- 第一條 視學官及視學ハ縣内ハ私立學校幼稚園圖書館青年訓練所並市廳市役所及町村役場其他ノ學事ヲ視察ス
  - 第二條 視學官及視學ノ視察スヘキ事項ノ概目左ノ如シ
    - 一、御立勅語謄本奉置ノ狀況
    - 二、學校教育ノ狀況
    - 三、學校衛生ノ狀況
    - 四、學校經濟ノ狀況
    - 五、學校ノ設備及管理ノ狀況
- 第六節 職員、並關係學令類

一一七



第六節 職員、並關係學令類

- 六、兒童生徒ノ就學出席ノ狀況
  - 七、學校長教員及學事關係職員執務ノ狀況
  - 八、教員ノ研究修養ノ狀況
  - 九、學校以外ニ於ケル教育學藝ニ關スル諸施設ノ狀況
  - 十、學事事務整理ノ狀況
  - 十一、幼稚園ノ狀況
  - 十二、圖書館ノ狀況
  - 十三、青年訓練所ノ狀況
  - 十四、青年團處女會其ノ他社會教育ノ狀況
  - 十五、寄宿舎ノ狀況
  - 十六、校友會及兒童生徒卒業後ノ狀況
  - 十七、學校ト家庭トノ關係狀況
  - 十八、其ノ他特ニ命ヲ承ケタル事項
- 第三條 視學官及視學ハ視察上特ニ必要アリト認ムルトキハ學校ノ日課ヲ變更シテ教授ヲ爲サシメ又ハ兒童生徒ノ學力ヲ調査スルコトヲ得
- 第四條 視學官及視學ハ當事者ニ對シテ教育上ノ意見ヲ推問シ若ハ必要ニ應シ調査材料ヲ徵スルコトヲ得
- 第五條 視學官及視學ハ視察ノ際左ノ事項ニ關シ當事者ニ指示又ハ注意スルコトヲ得
- 一、法令及通牒ノ實施上注意ヲ要スル事項
  - 二、第二條各號ニ關シ獎勵又ハ指示ヲ要スル事項
  - 三、其他特ニ命ヲ承ケタル事項

第六條 視學官及視學ハ視察ノ際當事者ニ對シ指示又ハ注意シタル事項及視察年月日ヲ學校備付ノ視察簿ニ記載スヘシ

第七條 視學官及視學視察ヲ了リタルトキハ視察要項ヲ知事ニ復命スヘシ

支廳在勤ノ視學視察ヲ了リタルトキハ視察要項ヲ支廳長ニ復命シ支廳長ハ毎月十日限前月分ヲ知事ニ報告スヘシ

第八條 補習教育視學體操視學及視學員ハ知事ノ命ヲ承ケ學事ニ關スル特定事項ヲ視察ス

補習教育視學體操視學及視學員ニ對シテハ前項ノ特定事項ニ關シ第四條乃至第七條ノ規定ヲ準用ス

●視察簿備付ノ件 大正十五年十二月二十一日 學第五二〇六號通牒

本月七日縣訓令第九十七號ヲ以テ視學官及視學學事視察規程設定相成候處同規程第六條規定ノ視察簿ヲ別紙様式ニ依リ備付ケ相成度依命此段及通牒候也

(別紙) (美濃紙半葉)

視察官 氏名	視察 年月日
指示注意事項	處 理 ノ 概 要
	本欄ハ學校長記載スヘシ

●學校職員ノ職印調製方

明治三十一年八月二十日  
島根縣訓令第一二八號

學校職員ノ職印ヲ調製セントスルトキハ自今職名ノミヲ彫刻スヘシ

第六節 職員、並關係學令類



第六節 職員、並關係學令類

130

●公立學校職員服制

昭和九年八月一日  
島根縣訓令第二三號

公立學校職員服制左ノ通定ム

公立學校職員服制

第一條 公立小學校並公立實業補習學校ノ學校長及教員ノ服制ハ本規程ニ依ル但シ病氣其他止ムヲ得サル事情アル場合ハ此ノ限ニ在ラス

第二條 服制ハ別記形式ニ依ル

第三條 本規程ハ公立幼稚園ノ職員ニ付之ヲ準用ス

附 則

本規程ハ昭和九年九月一日ヨリ之ヲ施行ス但シ昭和十一年三月三十一日迄ハ従前ノ服裝ニ依ルコトヲ得  
公私立中等學校及私立幼稚園ノ職員並ニ縣ノ教育事務ニ従事スル職員ハ本規程ニ依ル服裝ヲ用フルコトヲ得  
明治三十八年島根縣訓令第四十三號公立學校長及教員服裝ノ件ハ之ヲ廢止ス  
(備考様式省略)

●學校、幼稚園職員身體檢查ニ關スル件

大正九年九月十日  
島根縣訓令第四九號

自今學校、幼稚園職員ニ對シ本縣學校衛生主事ヲシテ身體檢查ヲ施行セシム

●小學校長教員氏名變更届出ニ關スル件

小學校長ニ於テ注意

小學校長教員氏名變更届出ニ當リテハ、元本籍、元住所、元氏名ト現本籍、現住所、現氏名ヲ並記シ併セテ氏名變更ノ理由ヲ明記セラレ度

●學校兒童等ノ異變報告方ノ件

學校長會ニ於テ注意

左記ニ付テハ直ニ詳細御報告相成度

記

- 一、兒童ノ變死、校ノ内外ヲトハス
- 一、校下父兄間ノ大キイ問題ヲ惹起シタル兒童ノ行動
- 一、程度高キ學校内ノ盜難
- 一、其他校舍兒童等ノ非常異變

●教育會講習會展覽會ヲ開カントスルトキ會主ヨリ届出ツヘキ事項

明治四十三年三月十九日  
島根縣訓令第九號

教育會教育ニ關スル講習會教育品展覽會ヲ開カムトスルトキハ會主ニ於テ左記事項ヲ具シ開會十日前三當廳ニ届出ツヘシ  
明治三十二年七月本縣令第四十九號ハ廢止ス

- 一、會名及開催ノ趣旨
- 一、會合區域
- 一、會場

一、開會期日及期間

一、講演時間

一、學科目

一、講師職氏名

(講習會ニ限ル)

(同上)

(同上)

第六節 職員、並關係學令類

131



第六節 職員、並關係學令類

- 一、聽講員人員 (同上)
- 一、聽講員資格 (同上)
- 一、聽講料 (同上)
- 一、講師ニ對スル報酬旅費賄費 (同上)
- 其他支給方法 (同上)
- 一、豫算額 (同上)

●學校職員研究會ニ關スル件

昭和二年一月十四日  
學第一六一號通牒

小學校令實施規程第七十一條ノ四ニ依リテ設ケタル學校職員研究會ノ會則(部會ヲ設ケタルトキハ部會ノ會則ヲ含ム)ヲ設定シ又ハ改正シタルトキ及會長副會長(部會ヲ設ケタルトキハ部會ノ會長副會長ヲ含ム)ヲ定メ又ハ變更シタルトキハ當該會長又ハ部會長ヨリ直ニ之ヲ報告相成度此段及通牒候也

追テ現在ノ會則(又ハ部會則)並會長副會長(又ハ部會ノ會長副會長)ノ職氏名ヲ直ニ報告相成度尙客年八月十一日學第三〇五一號本件ニ關スル照會ニ對シ回答後變更ナキモノハ其ノ旨及未回答ノ事項ノミヲ報告相成差支無之

●夏季講習會ニ關スル件

昭和十年七月二十五日  
學第五八九號

今夏季休業中ニ於テ貴會主催標記講習會開催相成候ハハ左記各項ニ依リ至急御回報相煩度

追而本件ニ關シテハ爾今毎月七月十日限り御報告相成度

記

- 一、講習會名
- 一、會期

- 一、會場
- 一、講師
- 一、講習員資格並定員
- 一、會費其他
- 備考 職員研究會長及島郡市教育會長宛

●初等教育研究會ニ關スル件

昭和七年四月十五日  
學第四〇二號通牒

大正十二年七月學第一九五三號通牒本縣初等教育研究會規程ヲ今回別紙ノ通り改正シ本年度ヨリ實施ノ事ニ決定致シ候ニ就テハ左記改正ノ趣旨ヲ體シ一層效果ヲ擧グル様努メラレ度

記

- 一、主催學校ハ從來男女兩師範學校附屬小學校ノミニ限定セシヲ島郡市ノ小學校ヲモ加ヘタルコト
- 二、研究題目並ニ主催學校ハ從來前年度ニ於テ決定セシヲ前々年度ニ於テ決定シ以テ研究期間ノ延長ヲ圖リ研究ノ徹底ヲ期シタルコト
- 三、本會ト各島郡市ノ學校職員會トノ聯絡ヲ一層緊密ナラシメ本會ニ於テ決定セル研究問題ハ各島郡市ニ於テ適當ナル學校ヲ選定シ全部之ヲ研究セシムル様期シタルコト
- 四、各島郡市ヨリ選出スル會員ハ可成研究問題ヲ實地ニ研究セル學校ノ職員中ヨリ選フコト
- 五、研究ヲ一層具體的實際的ナラシムル様期シタルコト

島根縣初等教育研究會規程

- 第一條 本會ハ島根縣初等教育研究會ト稱ス
- 第二條 本會ハ島根縣初等教育ノ改善進歩ニ資スルヲ以テ目的トス
- 第六節 職員、並關係學令類



第六節 職員、並關係學令類

第三條 本會ハ縣下小學校職員ヲ以テ組織ス  
 第四條 本會ハ毎年一回秋季男女兩師範學校附屬小學校及島郡市ノ小學校ニ於テ交互ニ之ヲ開催ス  
 第五條 本會ニ出席スヘキ會員ハ男女兩師範學校附屬小學校及島郡市學校教員研究會ニ於テ選定セラレタル者トシ其ノ員數ハ三名乃至五名トス

第六條 研究題目主催學校ノ選定並ニ研究方法ハ左記各項ニ依ル

- 一、研究題目並ニ主催學校ハ前々年度ニ於テ縣及男女兩師範學校長附屬小學校主事協議ノ上之ヲ選定ス
- 二、主催學校ハ研究題目ヲ男女兩師範學校附屬小學校及各島郡市學校職員會ニ通知シ該題目ニツキ研究問題ヲ募集ス
- 三、主催學校ハ縣及男女兩師範學校附屬小學校ノ意見ヲ聞キ應募問題中若干ヲ研究問題トシテ選定ス
- 四、研究問題ニツキテハ各島郡市學校職員會及部會ニ於テ適宜ノ方法ニヨリ研究スルコト
- 五、研究發表問題ハ兩附屬小學校各島郡市一題宛トス  
但シ主催學校ハ此ノ限リニアラス
- 六、研究發表者ハ研究發表問題ニツキ發表要項百三十部ヲ作製シ研究會開催期日一ケ月前迄ニ兩附屬小學校島郡市學校職員研究會、各五部宛殘部ヲ主催學校ヘ送付スルコト
- 七、研究發表ニツキテハ質疑應答ノ時間ヲ設ケ會員相互ノ意見ヲ交換スルモノトス
- 八、主催學校ハ研究題目ニ關スル實施狀況(施設實地授業等)ヲ會員ノ參觀ニ供スルコト

第七條 會期ハ二日間トシ其ノ期日ハ主催學校ニ於テ之ヲ定ム

第八條 第五條該當者以外ノモノハ傍聽者トシテ參會スルコトヲ得

第九條 主催學校ニハ豫算ノ定ムル所ニヨリ縣ヨリ補助金ヲ交付ス

附 記

一、附屬小學校ハ非番ノ場合研究發表會ヲ開催スルコトヲ得

二、各島郡市ノ學校職員研究會ハ常ニ本會選定ノ研究題目ヲ中心トシ研究スル様努ムルコト

●第三 俸給、並關係學令類

第七十二條 小學校教員ノ月俸額ハ左表ニ依ル

職 名	一級	二級	三級	四級	五級	六級	七級	八級	九級	十級	十一級	十二級	十三級	十四級
本科正教員	一六五	一四五	一三五	一二五	一一五	一〇五	九五	八五	七五	六五	五五	五〇	四五	四〇
專科正教員	一一五	一〇五	九五	八五	七五	六五	五五	五〇	四五	四〇	三五			
准 教 員	六五	五五	五〇	四五	四〇	三五	三〇							

第七十二條ノ二 一級俸ヲ受ケテニ功勞アル者ニハ本科正教員ニ在リテハ貳百拾五圓マテ專科正教員ニ在リテハ百四拾五圓マテ漸次増給スルコトヲ得

第七十三條 教員ノ俸給ハ當分ノ内等級相當ノ額ヲ減シ之ヲ支給スルコトアルヘシ

第七十四條 小學校令施行規則第三十七條ノ二ノ規定ニ依リ他ノ小學校ノ教員ヲ兼メル者ニハ關係學校ノ經費ヨリ其ノ俸給ヲ分割シテ支給スルコトアルヘシ

第七十五條 教員ノ俸給ハ其ノ意ニ反シテ之ヲ減スルコトナシ

第七十六條 休職者ニハ其ノ休職中俸給ノ三分ノ一ヲ給ス但シ市町村、町村學校組合又ハ其ノ區ニ於テ特別ノ事情アル場合若クハ小學校令施行規則第二百二十二條第三號乃至第五號ニ該當スル者、本規程第五十三條第三號及第四號ニ該當スル者ニ對シテハ之ヲ給セス

第七十六條ノ二 市町村立小學校正教員ニシテ兵役法第十條ノ規定ニ依ル短期現役ニ服スル者ハ其ノ在營中俸給ノ三分ノ

第六節 職員、並關係學令類



第六節 職員、並關係學令類

二ヲ減ス

第七十七條 教員ニシテ在職ノ儘小學校教員講習科ニ入學スル者ニハ俸給ノ一部若ハ全部ヲ給ス但シ其ノ額ハ知事ニ於テ市町村、町村學校組合又ハ區ノ意見ヲ聞キ之ヲ定ム

第七十八條 俸給ハ毎月二十三日ニ支給ス若シ休日ニ當ルトキハ漸次繰下ク但シ轉任休職（俸給ヲ給セサルトキ）退職免職失職死亡ノトキハ其ノ際之ヲ支給ス

第七十九條 俸給ハ新任休職（俸給ヲ給スルトキ）復職増俸減俸トモ總テ發令ノ翌日ヨリ計算ス

第八十條 轉任者ノ俸給ハ其ノ發令ノ當日マテ甲校ノ負擔トシ翌日以後ノ分ハ乙校ニ於テ之ヲ支給ス

第八十一條 休職（俸給ヲ給セサルトキ）退職又ハ死亡ノトキハ當月分ノ俸給全額ヲ給ス但シ疾病又ハ私事ノ故障ニ依リ減額ノ者ナルトキハ其ノ減給ノ全額トス

第八十二條 左ノ各號ノ一ニ該當スルトキハ當月分ノ俸給ハ日割ヲ以テ支給ス

一、懲戒ニ依リ免職ニ處セラレタルトキ

二、免許狀種奪又ハ免許狀ノ失効ニ依リ教員ノ職ヲ失ヒタルトキ

第八十三條 疾病ノ爲執務セサルコト九十日ヲ超エタルトキハ俸給ノ半額ヲ減ス但シ職務ノ爲傷痍ヲ受ケ若ハ疾病ニ罹リ執務セサル日數又ハ夏季冬季及學年末ノ休業日産前産後ノ休暇ハ算入セス

第八十四條 私事ノ故障ニ依リ執務セサルコト三十日ヲ超エタルトキハ俸給ノ半額ヲ減ス但シ忌引又ハ夏季冬季及學年末ノ休業日産前産後ノ休暇ハ算入セス

第八十五條（削除）

第八十六條 日割計算ノ法ハ其月ノ現日數ニ依ル但シ計算上釐位未滿ノ端數ハ切捨トス

第八十七條 教員ニシテ陸軍給與令又ハ海軍軍人俸給令ニ依リ俸給ヲ受クル者ニハ其ノ間俸給ヲ給セス但シ其ノ額本職ノ俸給額ヨリ寡少ナルトキハ其不足額ヲ補給ス

第八十八條 教員死亡シタルトキハ其在職中ト休職中トニ拘ハラズ在職最終ノ俸給月額四箇月分ヲ其ノ遺族ニ給スヘシ前項ノ遺族ト稱スルハ配偶者、子、父母、孫、祖父母兄弟姉妹ニシテ同一戸籍内ニ在ルモノヲ謂フ  
第一項ノ給與金ヲ受クヘキ遺族ノ順位ハ前項ニ掲ケタル順序ニヨリ同順位内ニ在リテハ家督相續人ハ其ノ他ノモノニ男ハ女ニ長ハ幼ニ先ツ

●小學校准訓導ニシテ訓導ニ任命セラレタルトキ其月分ノ俸給支給方

明治三十六年十一月  
視第一八四號通牒

小學校准訓導ニシテ訓導ニ任命セラレタルトキ准訓導ニ對スル其月分ノ俸給支給方ハ小學校令施行規則實施規程第八十條ニ準シ日割支給スヘキ義ニ候條御了知可相成命ヲ承ケ此段及通牒候也

●第四 旅費、並關係學令類

第八十九條 小學校長及教員ノ旅費ハ鐵道賃、船賃、車馬賃、宿泊料、日常、赴任手當、移轉料及家族移轉料ノ八種トス車馬賃、日常、宿泊料、移轉料ノ額ハ左表ニ依ル

種別	區分	車馬賃		日常		宿泊料		移轉料			
		一里ニ付	一日ニ付	一日ニ付	一夜ニ付	六里未滿	六里以上十二里以上	十二里以上二十里以上	二十里以上三十里以上	三十里以上五十里以上	
奏任官ノ待遇 ヲ受クル者	管内	七拾錢	貳圓五拾錢	四圓五拾錢	貳圓	貳拾圓	參拾圓	四拾圓	五拾圓	六拾圓	八拾圓
	管外	六拾錢	壹圓五拾錢	參圓五拾錢	壹圓	拾圓	拾五圓	貳拾圓	參拾圓	四拾圓	六拾圓
判任官ノ待遇 ヲ受クル者	管内	六拾錢	壹圓五拾錢	參圓五拾錢	壹圓	拾圓	拾五圓	貳拾圓	參拾圓	四拾圓	六拾圓
	管外	五拾錢	壹圓貳拾錢	貳圓五拾錢	壹圓	拾圓	拾五圓	貳拾圓	參拾圓	四拾圓	六拾圓
准教員	管内	五拾錢	壹圓貳拾錢	貳圓五拾錢	壹圓	拾圓	拾五圓	貳拾圓	參拾圓	四拾圓	六拾圓
	管外	四拾錢	壹圓貳拾錢	貳圓五拾錢	壹圓	拾圓	拾五圓	貳拾圓	參拾圓	四拾圓	六拾圓

第六節 職員、並關係學令類



赴任手當ハ日當二分宿泊料二夜分トス  
 家族移轉料ハ家族一人毎ニ舊任地又ハ本人ノ居住地ヨリ新任地ニ至ル本人相當ノ鐵道賃、船賃、車馬賃、日當、宿泊料ノ三分ノ二及赴任手當ノ二分ノ一ニ該當スル金額トトス但シ十二歳未満ノ家族ニ付テハ其ノ半額トス  
 家族ノ數三人ヲ超過スルトキハ其ノ超過スル者ニ付支給スル家族移轉料ハ前項ノ規定ニ依ル給額ノ半額トス  
 赴任手當、移轉料及家族移轉料ハ各住所又ハ居所ヲ發令後一年內ニ移轉スルニ非レハ之ヲ支給セス但シ此期間ハ一年現役ノ者ニ在リテハ除隊ノ日ヨリ起算スルモノトス  
 同一市町村內ノ小學校相互間ニ於テ轉任シ住所又ハ居所ヲ移轉シタルモノニ對シテハ定額ノ二分一ニ相當スル旅費ヲ支給ス

本職並兼職ノ待遇ヲ異ニスル場合ハ本職相當ノ旅費ト兼職相當ノ旅費トヲ比較シ其ノ多キ方ヲ支給ス  
 鐵道賃、船賃及旅費支給ノ方法ハ前各項ノ外內國旅費規則ノ例ニ依ル但シ准教員ノ鐵道賃、船賃ハ三等運賃トス三等運賃ナキトキハ下級運賃ニ依ル

學事視察、修學旅行監督、研究會並講習會出席ノ用務ニ依リ旅行スル者ノ旅費ハ管理者ニ於テ日額旅費支給規程ヲ定ムルコトヲ得

前項ノ外特種ノ事情アリト認ムル場合ハ知事ノ認可ヲ受ケテ旅費ノ減額支給ヲ爲スコトヲ得  
 第十項ニ依リ規程ヲ定メタルトキハ直ニ之ヲ報告スヘシ

●小學校令實施規程改正ニ關スル件

昭和五年十二月十二日  
 學第二五三七號通牒

今回島根縣令第四十號ヲ以テ小學校令實施規程第八十九條改正相成候處右ハ從來減額支給ヲ認メラレサル赴任召集等ノ用務ニヨル旅行スル者ノ旅費ニ就キテモ眞ニ止ムヲ得サル事情アル場合ニ限り減額支給ノ途ヲ開カレタルモノナルニ付之レカ適用ニ當ツテハ慎重考慮シ妄リニ減額スルカ如キ事ナキ様御留意相成度尙減額支給ノ場合ニハ左記事項ヲ具シ認可申請

相成度

記

- 一、旅行者職氏名
- 二、用務ノ種別
- 三、赴任ノ場合ニハ移轉家族ノ數
- 四、普通旅費額(內譯ヲ要ス)
- 五、減額支給額
- 六、減額支給ヲ必要トスル事由

●小學校教員旅費支給ニ關スル件

大正十四年五月六日  
 學第二二八號通牒

照會

小學校令施行規則實施規程第八十九條ニ依リ支給スヘキ家族移轉料ニ關シ左ノ疑義有之候條折返シ御回示相成度

記

- 一、甲男ト乙女トハ夫婦タル教員ニシテ共ニ甲ノ任地ニ住シ乙女ハ丙村校ニ通勤シツツアリシニ甲男ハ過般丁村校ニ轉任シタルニ依リ其ノ任地ニ住居ヲ轉シタルヲ以テ乙女モ亦甲男ニ隨從シテ移轉シ右丁地ヨリ丙地ニ通勤スル場合丁村ハ乙女ニ對シ家族移轉料ヲ支給スヘキモノナリヤ

回答

一、御照會ノ丁村ハ乙女教員ニ付テハ家族移轉料ヲ支給スル家族中ニ包含セシムルヲ要セサルモノト認ム

●一年現役兵服務職員ノ旅費支給ニ關スル件

大正十四年六月二日  
 學第五七五號通牒

第六節 職員、並關係學令類



第六節 職員、並關係學令類

市町村立小學校教員ニシテ新任辭令ヲ受ケ其ノ赴任前一年現役兵トシテ原籍地ヨリ入營シ滿期退營後赴任シタル者ニ對スル赴任旅費ハ原籍地、兵營所在地ノ何レヨリ支給スヘキモノニ候ヤ差懸リ候義有之候ニ付至急御指示相成度此段及照會候也  
 追テ當該本人ハ入營ニ際シテハ原籍地ヨリ兵營所在地マテ退官ニ際シテハ兵營所在地ヨリ任地マテノ旅費ヲ陸軍省所管國費ヨリ支給セラレタルモノニ有之彼我ノ關係ニ就キテモ御指示相成度  
 回答

一、兵營所在地ヨリ任地迄ノ旅費ヲ陸軍省所管ヨリ受ケ居ル者トセハ本人ハ兵營所在地ヨリ赴任旅費ヲ計算シ更ニ其ノ額ヨリ陸軍省所管ヨリ支給シタル旅費額ヲ控除シタル額ヲ旅費トシテ支給シ可然モノト存候  
 備考

關係職員ノ旅費支給ノ件  
 學校醫、看護婦等ノ旅費支給ニツイテハ學校醫、看護婦等ノ條章ニ示ス

第五 諸給與、並關係學令類

- 第九十條 小學校教員ニシテ一週三十二時ヲ越エ教授ヲ擔任スル者ニハ年當ヲ給ス  
 前項ノ外必要アルトキハ臨時手當ヲ給スルコトアルヘシ
- 第九十一條 小學校長又ハ教員ニシテ特ニ勤勞アル者ニハ慰勞金ヲ給スルコトアルヘシ
- 第九十二條 小學校教員ニシテ宿直スル者ニハ賄料ヲ給スヘシ
- 第九十三條 小學校長又ハ教員ニシテ職務ノ爲傷疾ヲ受ケ若ハ疾病ニ罹リタル者ニハ療治料ヲ給スヘシ
- 第九十四條 小學校教員ニハ土地ノ狀況ニ依リ住宅料ヲ給スヘシ
- 第九十五條 第八十條第九十一條ニ依リ給スル金額ハ管理者ノ意見ヲ聞キ之ヲ決定ス

第九十二條乃至第九十四條ニ依リ給スル金額ハ管理者ニ於テ決定シ其ノ都度監督官廳ニ報告スヘシ

●市町村立小學校教員加俸給與細則

大正三年九月十六日  
 島根縣令第二五號

明治四十三年三月島根縣令第十二號市町村立小學校教員加俸給與細則左ノ通改正シ本令發布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

市町村立小學校教員加俸給與細則

- 第一條 加俸令第七條第二項及前三項前段ニ該當スル者ニハ特別加俸ヲ給ス
- 第二條 加俸ハ其年額ヲ二分シ九月及三月ノ二回ニ縣廳ニ於テ之ヲ支給ス但シ休職退職死亡ノトキハ其ノ際之ヲ支給ス
- 第三條 加俸ノ給與ハ總テ月ヲ以テ之ヲ給ス但シ小學校教員ニシテ公立學校職員ニ轉任シ直ニ公立學校職員年功加俸令ニ依リ加俸ヲ受クルニ至リタルトキハ小學校教員年功加俸ハ其ノ當月分ヲ日割トシ轉任ノ日迄之ヲ支給ス  
 特別加俸ヲ受クルモノ他ノ特別加俸ヲ受クルニ至リタルトキハ後ノ特別加俸ハ發令ノ翌月ヨリ之ヲ支給ス
- 第四條 加俸ハ病氣又ハ其ノ他ノ事故ニ依リ職務セサルコトアルモ減給スルコトナシ  
 本令ニ定ムルモノヲ除クノ外加俸ノ支給ニ關シテハ俸給支給ノ例ニ依ル
- 第五條 學校長ハ市町村立小學校教員加俸令第三條ニ該當スル者ニ對シテハ四月末日及九月末日限第七條ニ該當スル者ニ對シテハ其ノ都度第一號乃至第六號様式ニ依リ知事ニ申告シ特別加俸受給者其ノ資格ヲ失ヒタルトキハ直ニ其ノ月日並事由ヲ具シ知事ニ報告スヘシ

第一號様式（加俸令第三條第一項ノ申告）

年功加俸給與者ノ件申告

職名	氏名	任命年月日	勤續年數

第六節 職員、並關係學令類



第六節 職員、並關係學令類

第二號樣式（加俸令第三條第二項但書ノ申告）

年功加俸加給者ノ件申告

現年功加俸額	同上支給開始年月	職名	氏名	勤續年數
--------	----------	----	----	------

第一號及第二號樣式ノ備考

- 一、勤續年數ノ算定ニ付テハ加俸令第三條乃至第五條ヲ參照スヘシ
- 二、學校長以外ノ者ニ付テハ經歷並成績概要書ヲ添付スヘシ

第三號樣式（加俸令第七條第一項ノ申告）

單級加俸給與者ノ件申告

職名	氏名	現職任命年月日	學級編制狀況
----	----	---------	--------

第四號樣式（加俸令第七條第二項ノ申告）

多級加俸給與者ノ件申告

職名	氏名	現職擔任ヲ命セラレタル年月日	學級編制狀況
----	----	----------------	--------

第五號樣式（加俸令第七條第三項ノ申告）

辭職加俸給與者ノ件申告

職名	氏名	現職任命年月日	給與細則第三條第二項ニ該當ノ有無
----	----	---------	------------------

第六號樣式（加俸令第七條第四項ノ申告）

辭職加俸加給者ノ件申告

現ニ受クル特別加俸額	職名	氏名	名	辭職地小學校ニ最初ニ任命セラレタル年月日	辭職地小學校勤續年數
------------	----	----	---	----------------------	------------

第三號乃至第六號樣式ノ備考

- 一、辭職地小學校ニ勤務ノ者ト雖其ノ學校カ加俸令第七條第一項又ハ第二項ニ該當ノモノナルトキハ當該加俸ヲ給スルニ付此ノ場合ハ第五號申告ヲ要セス
- 二、第六號申告ニハ經歷概要書ヲ添付スヘシ

●小學校教員加俸給與ニ關スル件

大正六年三月三十日  
學第一六六號通牒

小學校教員加俸與給ニ關スル件

某郡長ヨリ標記ノ件ニ關シ照會有之今回左記ノ通回答致候處右ハ取扱上參考ト可相成ニ付及通牒置候也

一、某郡長照會

(イ) 多級ノ學校ニ於テ第一學年ヨリ第四學年五學年又ハ第六學年ニ至ル兒童ヲ以テ編制シタル學級ヲ擔任スルモノハ表

第六節 職員、並關係學令類



第六節 職員、並關係學令類

一四四

面訓導ニシテ實際ノ教授ハ之ヲ准訓導代用教員ニ擔當セシムル場合ノ如キ實例アリ此場合ニ於テ當該學級ヲ擔任スルモノハ訓導ナルモ實際ノ教授ヲ擔當セサルヲ以テ加俸令第七條第二項ニ該當セサルモノト思考シ可然哉  
 (ロ) 前項ノ場合ニ於テ各教科ノ大部ハ之ヲ准訓導代用教員ニ擔當セシムルモ修身、讀方、算術、地歴、理科等重要教科目ノ一科目又ハ數科目ハ之ヲ擔任訓導ニ於テ擔當スル場合ニ於テハ加俸令第七條第二項ニ該當スルモノト認メ可然哉  
 (ハ) 前第一項ノ場合ニ於テ各教科目ノ新教授ハ之ヲ擔任訓導ニ於テ擔當シ練習復習ノ場合ハ之ヲ准訓導代用教員ヲ以テ之ニ充ツル場合ノ如キハ之亦加俸令第七條第二項該當者ト認メ可然哉  
 一、右ニ對スル内務部長回答

- (イ) 第一項ノ場合ハ教授ヲ擔任セサルヲ以テ特別加俸ヲ給セス
- (ロ) 第二項ノ場合ハ准教員ハ常ニ正教員ノ補助ヲナスモノト看做シ正教員ニ對シ特別加俸ヲ給シ然ルヘシ
- (ハ) 第三項ノ場合ハ正教員ニ對シ特別加俸ヲ給スヘキモノト認ム

通牒學第二三一六號(大正十一年十一月二十一日)

標記ノ件ニ關シ熊本縣知事照會ニ對シ文部省普通學務局長ヨリ左記ノ通回答シタル旨通牒有之候條御了知相成度  
 追テ縣視學、師範學校訓導ニ在職シタル年數モ左記第二項ノ例ニ依リ可然モノト存候條之ニ該當ノ者及第二項ニ該當ノ者ニ對シ從來初回加俸ノミ給與シタルモノ有之候ハハ至急增加加俸給與方御申告相成度

記

一、市町村立小學校教員加俸令第五條ノ郡視學中ニハ教育事務ニ從事スル郡書記(島廳書記)ニシテ郡(島)視學ヲ兼務セルモノヲ含ム

二、小學校訓導ニシテ年功加俸ヲ受ケタル後尙五ヶ年勤續シ增加加俸ヲ受ケルモノ郡視學ニ轉シ更ニ小學校訓導ニ轉シタルモノニ對シテハ受給資格ヲ既有スルモノト認メ增加々俸ヲモ支給シ然ル可シ

●市町村立小學校教員加俸給與額標準

大正三年十二月十七日 學第二八六號訓令

大正三年九月島根縣令第二十五號市町村立小學校教員加俸給與額標準第五條ニ據ル申請ハ左ノ標準ニ依ルヘシ  
 右内訓ス

一、年功加俸  
 成績ノ優劣ニ依リ左ノ通本科正教員ハ四等ニ專科正教員及准教員ハ二等二分ツ

種別	甲		乙		丙		丁	
	年額	加給年額	年額	加給年額	年額	加給年額	年額	加給年額
本科正教員	六拾圓	參拾六圓	四拾八圓	參拾六圓	參拾六圓	貳拾四圓	貳拾四圓	貳拾四圓
專科正教員	貳拾四圓	貳拾四圓	參拾圓	貳拾四圓	貳拾四圓	拾八圓	拾八圓	拾八圓
准教員	拾八圓	拾八圓	拾貳圓	拾貳圓				

二、特別加俸

單級學校ニ勤務スルモノ

年額

加給年額(僻障地ノ小學校ニ五年以上勤續スル場合) 參拾圓

多級學校ノ一學年ヨリ四學年五學年又ハ六學年ニ至ル兒童ヲ以テ編制セル學級ヲ擔任スルモノ 拾貳圓

第六節 職員、並關係學令類

一四五

貳拾四圓



第六節 職員、並關係學令類

加給年額（僻障地ノ小學校ニ五年以上勤續スル場合）  
僻障地ノ小學校ニ勤續スルモノ（本科正教員ニ係ルモノ）

一四六

拾貳圓

拾八圓

拾貳圓

九圓

六圓

同（專科正教員及准教員ニ係ルモノ）

加給年額

●市町村立小學校教員加俸請求手續ニ關スル件

昭和八年二月二十三日  
學第二一〇號通牒

市町村立小學校教員加俸請求手續ニ關シテハ（大正十五年七月學第二八三六號通牒ノ次第モ有之候處）爾今左記各項御了知ノ上請求方御取計相成度

記

- 一、加俸ノ支給ヲ受ケントスル者ハ毎年九月三月其ノ月五日迄ニ第一號様式ニ依リ請求書ヲ知事（隱岐支廳管内ニ在リテハ支廳長）ニ差出スコト但休職退職死亡ノトキハ其ノ都度請求スルコト
- 二、加俸ハ可成一校分ヲ取給メ代理請求シ請求書ニ第二號様式ニ依ル委任狀ヲ添付スルコト
- 三、休職給給與ノ休職者ノ年功加俸及特別加俸ヲ其ノ三分ノ一ヲ支給セラルヘキコト
- 四、加俸受給休職者復職シタル場合ニハ以前給與ノ加俸ハ復職ト同時ニ金額ヲ給與セラルヘキコト
- 五、九月又ハ三月ニ於テ加俸支給前轉任先ノ學校ヨリ請求スルコト

請求書

一金

但昭和

年自

月年功加俸（特別加俸）  
内 譯

加俸支給額	加俸年額	摘	要	職名	氏名
例 一八 <sup>四</sup>	三六 <sup>四</sup>			島根縣公立小學校訓導	何 某
例 八	二四	昭和八年六月三十日付ヲ以テ昭和八年六月分ヨリ年功加俸年額二十四圓給與ニ付上記ノ通		同	何 某
例 一八	四二	年額二十四圓給與ノ處昭和八年六月三十日付昭和八年六月分ヨリ年額四十二圓ニ増額ニ付上記ノ通		同	何 某
例 六六六	二四	年額二十四圓給與ノ處昭和八年五月十二日付病氣休職ニテ休職給給與ニ付昭和八年四月五月ノ二ヶ月分四圓、昭和八年六月ヨリ同年九月迄四ヶ月分三分ノ一支給ニ付上記ノ通		休職島根縣公立小學校訓導	何 某
例 一二	三六	年額三十六圓給與中昭和七年八月三十一日付病氣休職ノ處昭和八年六月三十日復職ニ付昭和八年四月ヨリ六月迄年額ノ三分ノ一支給ニ付三圓、昭和八年七月ヨリ同年九月迄年額ノ三分ノ一支給ニ付上記ノ通		島根縣公立小學校訓導	何 某
例 一五	三六	年額三十六圓給與中昭和八年八月卅一日退職ニ付上記ノ通		元島根縣公立小學校訓導	何 某

右及請求候也

昭和 年 月 日

第六節 職員、並關係學令類



第六節 職員、並關係學令類

(代理請求ノ場合)

一四八

(各別ニ請求ノ場合)

(退職、休職、縣外轉任ノ場合)

(死亡ノ場合)

島根縣公立小學校訓導何某外何名代理兼本人	
何郡何市町村 <small>高等</small> 小學校訓導	何 某印
島根縣公立小學校訓導	何
何郡何市町村 <small>高等</small> 小學校訓導	何 某印
島根縣公立小學校訓導	何
同	何 某印
現住所 何郡何市町村	何
何郡何市町村 <small>高等</small> 小學校訓導	何 某印
元(休職)島根縣公立小學校訓導	何
何郡何市町村 <small>高等</small> 小學校訓導	何 某印
故 島根縣公立小學校訓導	何 某印
(遺產相續人)	
現住所 何郡何市町村	何 某印
	生年月日(未成年ノ 兒ニ限ル)

知事宛  
(隱岐支廳長宛)  
備考

一、請求書ノ月日ハ三月一日(九月一日)以後ニナスコト

二、摘要欄ニハ其ノ加俸支給期間(自四月或自十月  
至九月或至三月) 中ニ於テ從來ノ支給額ニ異動ヲ生シタル場合及新ニ支給ヲ受  
クル場合ノミ其ノ事由ヲ明瞭ニ記入スルコト

三、死亡ノ場合家督相續人或ハ遺產相續人カ未成年者ナルトキハ法定代理人ノ連署捺印ヲ要ス

四、小學校准教員ニ係ルモノハ其ノ肩書ヲ何郡何市町村高等小學校准訓導トスルコト

五、單獨請求ノ場合ハ但書ノ「内譯」ヲ廢シ加俸年額及異動アリタルトキハ備考第二ニ依ル事由記入ノコト

六、用紙ハ半紙型ニ一定スルコト

第二號様式

二錢收  
消印  
入印紙  
委任狀

拙者等都合ニ依リ何郡何市町村高等小學校訓導(或ハ何郡何市町村)何某ヲ以テ部理代人ト定メ左ノ權限ヲ委任ス

一、自昭和何年何月何日何月何日分年功加俸(特別加俸)請求並領收ノ件

至昭和何年何月何日何月何日分年功加俸(特別加俸)請求並領收ノ件

右委任狀仍テ如件

昭和 年 月 日

島根縣公立小學校訓導	何	某印
同	何	某印
同	何	某印
島根縣何郡何市町村 <small>高等</small> 小學校准訓導	何	某印

第六節 職員、並關係學令類

一四九



第六節 職員、並關係學令類

一五〇

備考

- 一、代理請求ノ場合代理者ノ肩書ト委任狀記載ノ受任者ノ肩書トハ同一ナルヲ要スルコト
- 二、委任狀ニハ二錢ノ收入印紙貼用ノ上委任者ノ一人之ヲ消印スルコト
- 三、小學校准教員ニ係ルモノハ其肩書ヲ  
(何郡市町村<sup>高等</sup>尋常高等小學校准訓導)トスルコト
- 四、用紙ハ半紙型ニ一定スルコト

様式

請求書

一金百五圓五拾錢也

内 金百四圓六拾五錢

金八拾五錢

但昭和 年自 月 月

内 譯

年功(特別)加俸

現金受取高  
納金引去高

加俸年額	加俸支給額	納金引去高	現金受取高	摘要	職名	氏名
六〇 <sup>円</sup>	三〇 <sup>円</sup> 、二五〇	二九、七五〇	二九、七五〇	月俸五十圓ノ處昭和九年四月二十五日付月俸五十二圓ニ増俸ニ付同年五月分ヨリ納金納付	島根縣公立小學校訓導	何 某
二四	八、〇六〇	七、九四〇	七、九四〇	年功加俸年額二十四圓昭和九年六月十日付同年六月分ヨリ給與ニ付同年七月分ヨリ納金納付		何 某

加俸年額	加俸支給額	納金引去高	現金受取高	摘要	職名	氏名
四二	一九、五	一九、一四〇	一九、三六〇	年功加俸年額二十四圓ノ處昭和九年五月二十日付同年五月分ヨリ年額四十二圓ニ増額ニ付同年六月分ヨリ納金納付		何 某
三六	一八、一五〇	一七、八五〇	一七、八五〇	特別加俸年額十八圓昭和九年四月五日付同年四月分ヨリ給與ニ付同年五月分ヨリ納金納付		何 某
六〇	三〇、二五〇	二九、七五〇	二九、七五〇	特別加俸年額十八圓給與ノ處昭和九年五月十五日付同年四月分ヨリ年額三十圓ニ増額ニ付同年五月分ヨリ納金納付		何 某
計	一〇五、五	一〇四、六五〇	一〇四、六五〇			

右請求候也

年 月 日

(代理請求ノ場合)

島根縣公立小學校訓導何某外何名代理兼本人

何郡何市町村<sup>高等</sup>小學校訓導

島根縣公立小學校訓導

何郡何市町村<sup>高等</sup>小學校訓導

島根縣公立小學校訓導

(單獨請求ノ場合)

第六節 職員、並關係學令類

一五一

某 印



第六節 職員、並關係學令類

知事 宛 (隱岐支廳長)

備考 特別加俸請求モ本様式ニ依ルコト

同

一五二

●市町村立小學校教員加俸請求手續ニ關スル件

昭和九年四月五日  
學第三三四號通牒

標記ノ件ニ關シテハ昭和八年二月二十三日學第二一〇號通牒ニ基キ御取計相成居候處過般恩給法改正ノ爲同法第五十九條第三項但書及同法附則第九條ニ依リ加俸ニ對スル恩給納金ヲ納付スル者ハ爾今左記事項御了知ノ上請求方御取計相成度

記

- 一、恩給納金ヲ納付スル者ニ係ル請求書ハ別紙様式ニ依リ請求スルコト (其ノ他ノモノハ從來ノ通りノ様式トス)
- 二、加俸支給期間 (自四月或自十月) 至九月或至三月) 中ニ恩給納金納付ノ資格ヲ生シタルモノモ前項ノ様式ニ依リ請求スルコト
- 三、其ノ他ノ事項ハ昭和八年二月二十三日學第二一〇號通牒左記ニ依リ取扱フコト

●小學校教員年功加俸ヲ受クル者資格ノ移轉若クハ校名ノ變更等

アルモ同一學校ナルトキハ更ニ證書ヲ交付セサル件

明治三十年十一月十九日  
島根縣訓令第一二三號

小學校教員年功加俸ヲ受クル者ニシテ准教員ヨリ正教員ニ轉シ又ハ校名ノ變更若クハ高等小學校ノ併置廢止アルトキハ其都度證書ヲ交付シ來リタルモ爾今其學校同シキ時ハ更ニ之ヲ交付セス

●特別加俸ノ給與ハ教員任命後直チニ申告方

明治三十五年三月  
學第二一七號通牒

單級若ハ僻障 (一旦認定) 學校在職本科正教員ニ對シテハ特別加俸ノ支給ヲ要スルハ勿論ノ處往々其給與申告方緩慢ノ向有之支給ト過年度支出ヲ要スルモノヲ生スル等不都合不尠候條自今任命後直ニ御申告相成度依命此段及通牒候也

●休職中俸給ヲ受クル者ノ加俸支給方

大正四年二月  
學第二六一號通牒

蓋シ小學校令施行規則實施規程中改正ノ結果市町村立小學校教員ニシテ休職ノ者ニハ其間俸給三分ノ一ヲ給セラルル事ト相成候處年功加俸及特別加俸モ同様休職中ハ其ノ三分ノ一ヲ給セラルヘキ次第ニ候條御了知相成度依命此段及通牒候也  
追テ休職中俸給ヲ給セラレサル者ニハ年功加俸及特別加俸モ同様給セラレサル次第ニ付爲念申添候也

●小學校教員死亡給與金ノ負擔區分ニ關スル件

昭和二年十一月四日  
學第六二〇一號通牒

小學校教員死亡給與金ノ負擔區分ニ關スル件

標記ノ件ニ關シ別紙甲號ノ通照會ニ對シ別紙乙號ノ通回答ノ旨文部省普通學務局長ヨリ通牒有之候ニ付御了知相成度爲念此段及移牒候也  
別紙 (甲號)

二學第一六二七號

昭和二年七月二十日

岐阜縣知事

文部省普通學務局長殿

小學校教員死亡給與金ノ負擔區分ニ關スル件

小學校令施行規則第五百七十七條ニ依リ小學校教員死亡ノ際其ノ遺族ニ給スヘキ給與金中へ加俸ニ對スル分モ加算スルコトハ既ニ御指示ノ通ニ有之而シテ該給與金中俸給支出ノ町村等ノ負擔ニシテ縣ヨリ支給スル加俸ニ對スル分ハ縣ノ負擔スヘキモノト認メ候ヘトモ聊カ疑義ノ點有之候ニ付何分ノ義御回報相煩度候  
追テ右ハ差掛リタル件有之候條至急御回示相煩度特ニ申添候

第六節 職員、並關係學令類

一五三



第六節 職員、並關係學令類

(乙號)

岐普三六號

昭和二年十月十五日

一五四

岐阜縣知事 大野綠一 郎殿

文部省普通學務局長

武部 欽 一

小學校教員死亡給與金ノ負擔區分ニ關スル件

七月二十日二學第一六二七號ヲ以テ小學校令施行規則第五十七條ニ依リ小學校教員死亡ノ際其ノ遺族ニ給スヘキ給與金中ニ加算スヘキ加俸ノ件ニ關シ御照會ノ趣了承右ハ俸給ニ對スル分ト共ニ町村等ノ負擔スヘキモノト御了知相成度

●公立小學校教員疾病療治料支給規則

大正四年十二月二十五日  
島根縣令第三〇號

公立小學校教員疾病療治料支給規則左ノ通定

公立小學校教員疾病療治料支給規則

第一條 大正四年八月島根縣令第十八號教育資金使用規則第八條ニ依リ公立小學校教員疾病療治料ヲ受クヘキ資格ヲ有スル者ト認メタルトキハ其ノ旨本人ニ通知ス

第二條 前條ノ通知ヲ受ケタル者ハ遲滞ナク左記書式ニ依ル公立小學校教員疾病療治料ノ請求書ニ履歷書ヲ添附シ島司郡市長ヲ經由シテ提出スヘシ

第三條 本則ハ發布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

書式

公立小學校教員疾病療治料請求書

私儀何年何月何日付何第何號ヲ以テ公立小學校教員疾病療治料支給規則第二條ニ依ル御通知相受ケ候ニ付テハ疾病療治

料御給與相成度履歷書相添此段請求候也

年 月 日

現住所

元職名(又ハ休職名)

何

某 印

島根縣知事宛

●一年現役小學校教員ノ死亡賜金ニ關スル件

昭和二年十二月二十日  
學第六八二八號通牒

今般某縣ヨリ左記甲號ノ照會ニ對シ乙號ノ通回答ノ旨其筋ヨリ通牒有之候ニ付御了知相成度爲念此段及移牒候也

記

甲號(照會)

師範學校卒業後直ニ一年現役兵トシテ入營セシモノカ入營中死亡セシモノニ對シテハ之ニ死亡賜金ヲ被任命學校所屬市町村ニ於テ給與スヘキモノナルヤ又事實上ニ於テ右ニ俸給ヲ給スル者即チ國庫ノ負擔トスヘキモノナルヤ尙入營中ハ俸給月俸ノ三分ノ二ヲ減スルモノナルハ俸給ノ三分ノ一ヲ以テ月俸額ト定ムヘキモノナルヤ

乙號(回答)

右死亡賜金ハ學校所屬市町村ニ於テ給スヘク又右給與ノ基礎トナルヘキ月俸額ハ三分ノ二ヲ減セサル全額ヲ指スモノトス

●恩給法ニ依ル恩給中知事ノ管掌ニ係ル恩給給與細則

大正十二年三月二十五日  
島根縣令第四七號

恩給法ニ依ル恩給中知事ノ管掌ニ係ル恩給給與細則左ノ通定

第六節 職員、並關係學令類

一五五



第六節 職員、並關係學令類

恩給給與細則

- 第一條 恩給法ニ依ル恩給中知事ノ管掌ニ係ル恩給關係書類ハ直接當廳ニ差出スヘシ
- 第二條 恩給請求書類ハ大正十二年閣令第七號恩給細則第三條ノ規定ニ依ル書式ニ準シ作成スヘシ但シ履歷書ハ退職當時ノ所屬廳長ノ證明ヲ要セス
- 第三條 年金タル恩給金ノ支給ヲ受ケムトスル者ハ左記様式ニ準シタル請求書及恩給證書ヲ居住地ノ市町村長若ハ之ニ準スヘキ者ニ呈示シ請求書ニ受給權利者タルコトノ證明ヲ受ケ當廳ニ差出スヘシ但シ警察監獄職員ノ恩給ヲ受クル者ニシテ縣内居住者ニアリテハ所轄警察官署ニ差出スヘシ
- 第四條 前條ニ依リ證明ヲ請フ者アルトキハ市町村長若ハ之ニ準スヘキ者ハ恩給證書ヲ檢閱シ恩給法第九條第五十八條第七十七條及第八十條ニ付キ調査シ受給權利者タルコトヲ認メタルトキハ當該請求書ニ書式ノ證明ヲ爲スヘシ
- 第四條ノ二 恩給法施行令第一條ニ規定スル恩給受給權調査票ハ大正十二年閣令第七號恩給給與細則第十二條ノ規定ニ依ル書式ニ準シ作成スヘシ
- 第五條 本則ニ別段ノ規定ナキ事項ニ付テハ大正十二年閣令第七號恩給給與細則ヲ準用ス

附 則

- 第六條 本則ハ大正十二年十月一日ヨリ之ヲ施行ス
  - 第七條 大正十二年九月三十日以前ニ權利ノ生シタルモノニシテ本則施行後裁定スヘキモノニ付テハ從前ノ手續ニ依ル
  - 第八條 明治四十一年島根縣令第二十九條ハ之ヲ廢止ス
- 普通恩給(增加恩給傷病) 請求書  
 年金扶助料 第 號(證書番號ヲ記載スヘシ) 年額金 圓  
 一金 圓 錢也 自 年 月 何箇月分(請求金額記) 載スヘシ

右請求候也

退職當時ノ職名

又ハ

公務員トノ身分關係

(前住所)

現住所

年 月 日

氏 名 印

生年月日(未成年ノ兒ニ限ル)

島根縣知事氏名殿

右證書ヲ檢閱シ受給權利者タルコトヲ證ス

市町村長(若ハ之ニ準スヘキ者) 氏 名 印

備考

- 一、未成年者カ請求スル場合ハ法定代理人ノ連署捺印ヲ要ス
- 二、死亡其ノ他ノ事故ニ依リ支給額ニ異動アル場合ニハ其ノ年月日及事由ヲ金額ノ次ニ附記スヘシ

●第六 代用教員

- 第九十六條 (削除)
  - 第九十七條 (削除)
  - 第九十八條 小學校代用教員月俸額ノ最高最低ハ准教員ノ例ニ依ル但シ土地ノ情況ニ依リ最低額以下ニ減スルコトヲ得
  - 第九十九條 小學校代用教員ノ旅費額及其ノ支給方法ハ小學校准教員ノ例ニ依ル
- 第六節 職員、並關係學令類



第六節 職員、並關係學令類

第九十條乃至第九十五條ハ代用教員ニ之ヲ適用ス  
其ノ他准教員ニ關スル規定ハ代用教員ニ之ヲ適用ス

第九十條 本章ニ小學校トアルハ市町村立小學校ヲ謂フ

第七 小學校ニ類スル各種學校

第一百條 市町村立ノ小學校ニ類スル各種學校ノ職員ノ進退、職務及服務ニ付テハ第六章第一節及第二節ヲ適用ス  
第一百二條 市町村立ノ小學校ニ類スル各種學校ノ校長、教員ノ俸給旅費其ノ他諸給與ニ關シテハ第七十四條乃至第八十

九條第九十一條乃至第九十三條及第九十五條ノ規定ヲ適用ス但シ判任文官ト同一ノ待遇ヲ受クル者ノ月俸額及旅費ハ小學校本科正教員ニ準シ其ノ他ノ者ハ小學校准教員ニ準ス

附 則

第一百三條 小學校令、小學校令施行規則及本令ニ依リ小學校長ヨリ知事ニ差出ス書面ハ支廳管内ニ在リテハ町村長及支廳長ヲ其ノ他ニ在リテハ市町村長ヲ經由シ支廳管内ノ町村長又ハ設立者ヨリ知事ニ差出ス書面ハ支廳長ヲ經由スヘシ

第一百四條 小學校令第二十七條第三項、第三十三條第一項及第二項、小學校令施行規則第四十一條、第九十三條第二

項、第三百三十七條第一項、第七十四條、第七十五條、本令第四條ノ二、第十一條、第二十九條、第三十四條、第七

十一條ノ二、第七十一條ノ六ニ依リ知事ノ爲スヘキ處分ハ支廳管内ニ在リテハ支廳長之ヲ行ヒ本令第六十三條ノ二第一

項、第六十四條第三項、第六十五條、第六十六條第一項、第六十八條第二項、第六十九條、第八十九條第十項乃至第十

二項、第九十五條ニ依リ知事ノ爲スヘキ處分ハ支廳管内ニ在リテハ支廳長、市ニ在リテハ市長之ヲ行フヘシ

第一百五條 本令施行ノ際市町村立小學校教員ニシテ別ニ辭令ヲ受ケサル者ハ第七十二條ニ據リ現ニ受クル俸給ニ相當スル

等級俸ヲ受ケ但シ相當スル額ナキトキハ當分ノ内等級中其ノ額ヲ減シ現俸ヲ受ケ

第一百五條 明治二十五年二月本縣令第十三號同月本縣令第八十八號學齡兒童保護者代人ニ關スル規則同月本縣令第十三號同

月本縣令第十六號市町村立幼稚園保母盲啞學校其ノ他小學校ニ類スル各種學校長及教員ノ任用解職ニ關スル規則同月本

縣令第十九號同月本縣令第八十七號就學兒童出席ヲ許サ、ル規則同月本縣令第二十號同月本縣令第八十四號小學校教科

用圖書審查等ニ關スル規則同月本縣令第二十一號同月本縣令第八十六號學齡兒童就學規則同月本縣令第二十二號同

月本縣令第八十九號學齡兒童家庭教育等ニ關スル規則同月本縣令第五十九號試驗科目ヲ欠ク件明治三十年三月本縣令第十

四號學齡兒童ノ傭主及師匠ニ關スル規則同月本縣令第十九號小學校長教員任用解職其他進退ニ關スル規則明治三十

一年五月本縣令第五十三號檢定試驗成績證明ノ件明治三十三年一月本縣令第一號小學校設備規則同月本縣令第五十八號小學

學校教員檢定ニ關スル規則同月本縣令第六十號小學校准教員進退ニ關スル規則ハ之ヲ廢止ス

明治二十五年二月本縣令第十四號代用私立小學校設立者ニ關スル件同月本縣令第三十三號小學校教員給料ニ土地使用物品

換給ノ件同月本縣令第六十一號同月本縣令第八十三號小學校規則明治二十八年三月本縣令第十二號第十三號市町村立小學

學校教員諸給與規則明治三十年二月本縣令第七號市町村立小學校教員給料規則同月本縣令第十七號小學校授業料規則同月

本縣令第五十號市町村立小學校教員旅費額標準ハ明治三十四年四月一日ヨリ之ヲ廢止ス

附 則

本令施行ノ際本科正教員ニシテ十一級俸ヲ受クルモノノ准教員ニシテ七級俸ヲ受クルモノニ對シテハ各第七十二號ノ俸給最下俸トシ當分ノ内其ノ額ヲ減シ現俸ヲ支給ス但シ同條第三項ニ抵觸スルモノニ對シテハ同項ノ最下額ヲ支給ス

附 則 (明治四十五年縣令第十四號)

第一條第三條乃至第四條ノ二第二十五條乃至第二十七條第三十五條ノ改正ハ本令發布ノ日ヨリ施行シ其ノ他ハ明治四十

第六節 職員、並關係學令類



第六節 職員、並關係學令類

五年四月一日ヨリ之ヲ施行ス但シ小學校教員ノ定期試験檢定ニ關シテハ明治四十五年施行ニ係ルモノヨリ本令ニ依リ之ヲ施行ス

本令施行ノ際市町村立小學校代用教員ノ職ニ在ル者ハ小學校令施行規則第六十八條ニ依リ採用シタル者ト見做ス市町村立ノ小學校教員、幼稚園長、保母及盲啞學校其ノ他小學校ニ類スル各種學校ノ學校長、教員ニシテ本令施行ノ際其ノ俸給ニ關シ別ニ辭令ヲ受ケサル者ハ第七十二條ニ照シ現ニ受クル俸給ニ相當スル等級俸ヲ受ク但シ相當スル額ナキトキハ當分ノ内等級中其ノ額ヲ減シ現俸ヲ受ク

附 則 (大正七年縣令第二十四號)

本令ハ大正七年四月一日ヨリ之ヲ施行ス

本令施行ノ際現ニ等級相當ノ俸給ヲ受クル者ニシテ別ニ辭令書ヲ交付セサルトキハ本令ニ依リ等級相當ノ俸給ヲ給スルモノトス

等級ニ相當セサル俸給ヲ受クル者ニシテ別ニ辭令書ヲ交付セサルトキハ左表上欄ノ俸給ニ應シ各下欄ノ俸給ヲ給スルモノトス

現 俸 給	改 正 俸 給
參拾圓以上	現俸給ニ拾圓ヲ加ヘタル額
貳拾七圓以上	現俸給ニ八圓ヲ加ヘタル額
貳拾貳圓以上	現俸給ニ六圓ヲ加ヘタル額
拾八圓以上	現俸給ニ五圓ヲ加ヘタル額
八圓 以上	現俸給ニ四圓ヲ加ヘタル額
七圓 以上	現俸給ニ三圓ヲ加ヘタル額

休職中ノ者ノ俸給額ハ從前ノ額ニ依ル

附 則 (大正九年縣令第五十六號)

本令ハ大正九年八月分ヨリ之ヲ適用ス

從前ノ規定ニ依リ俸給ヲ受クル者ハ其ノ本俸額ニ付左ノ區分ニ依リ算出シタル金額カ改正ノ級俸ニ相當スルトキハ其ノ級俸ヲ受ケ相當セサルトキハ其ノ金額ニ最モ近キ上級ノ級俸ノ當分俸ヲ受クルモノトス

一、本俸年額參百六拾圓ヲ超エ千貳百圓ヲ超エサルモノ

其ノ年額ニ其ノ二分ノ一ニ相當スル金額及百貳拾圓ヲ加ヘタル額

二、本俸年額參百圓ヲ超エ參百六拾圓ヲ超エサルモノ

其ノ年額ニ參百圓ヲ加ヘタル額

三、本俸年額參百圓以下ノモノ

其ノ年額ノ二倍ニ相當スル金額

代用教員ニ付テハ前項ノ規定ヲ準用ス

前三項ノ規程ニ依ル金額圓位未滿ハ之ヲ圓位ニ滿タシム大正九年七月三十一日現在ニ於テ休職中ノ者ニ付テハ其ノ在職最終ノ本俸ニ付第二項ノ規定ヲ適用ス

附 則 (大正十五年縣令第五十五號)

本令ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

本令施行前島司郡長ノ定メタル規程ニ依リ學校職員ノ研究ヲ目的トスル會ヲ設ケタルモノハ本令ニ依リ設ケタルモノト看做ス

本令施行前島司郡長ノ認可ヲ受ケ一定額旅費支給規程ヲ定メタルモノハ本令ニ依リ日額旅費支給規程ト看做ス

附 則 (昭和六年縣令第二十三號)

本令ハ昭和六年七月一日ヨリ之ヲ施行ス

第六節 職員、並關係學令類



第六節 職員、並關係學令類

本令施行ノ際現ニ従前ノ規程ニ依リ俸給ヲ受クル者ニ付テハ左ノ各號ニ依リ月俸額ヲ定ム

一、従前ノ規程ニ依リ左表上欄ノ俸給ヲ受クル者ハ各其ノ相當下欄ノ俸給月額又ハ之ニ相當スル級俸ヲ受ク

従前ノ俸給月額	改正俸給月額
貳百四拾圓以下ニシテ百八拾圓ヲ超ユルモノ	現ニ受クル額ト百八拾圓トノ差額ノ十分ノ九ニ百六拾五圓ヲ加ヘタル額但シ貳百拾六圓ヲ超ユルコトヲ得ス
百八拾圓	百六拾五圓
百八拾圓未満ニシテ百六拾圓ヲ超ユルモノ	現ニ受クル額ト百六拾圓トノ差額ノ十分ノ九ニ百四拾八圓ヲ加ヘタル額但シ百六拾五圓ヲ超ユルコトヲ得ス
百六拾圓	百四拾八圓
百六拾圓未満ニシテ百四拾五圓ヲ超ユルモノ	現ニ受クル額ト百四拾五圓トノ差額ノ十分ノ九ニ百參拾六圓ヲ加ヘタル額但シ百四拾八圓ヲ超ユルコトヲ得ス
百四拾五圓	百參拾六圓
百四拾五圓未満ニシテ百參拾圓ヲ超ユルモノ	現ニ受クル額ト百參拾圓トノ差額ニ百貳拾貳圓ヲ加ヘタル額但シ百參拾六圓ヲ超ユルコトヲ得ス
百參拾圓	百貳拾貳圓
百參拾圓未満ニシテ百貳拾圓ヲ超ユルモノ	現ニ受クル額ト百貳拾圓トノ差額ニ百拾四圓ヲ加ヘタル額但シ百貳拾貳圓ヲ超ユルコトヲ得ス

二、前號ノ規定ニ依リ計算スル俸給金額圓位未満ハ之ヲ圓位ニ滿タシム

三、本令施行ノ際現ニ従前ノ規定ニ依リ月額九拾圓ノ俸給ヲ受クル專科正教員ハ定額ノ改正ニ拘ハラズ従前ノ俸給ヲ受ク

附 則 (昭和八年縣令第三十八號)

本令ハ昭和八年十一月一日ヨリ之ヲ施行ス

本令施行ノ際現ニ従前ノ規程ニ依リ俸給ヲ受クル者ニ付テハ左ノ各號ニ依リ月俸額ヲ定ム

一、現ニ受クル俸給額カ本令ニ依ル級俸ニ相當スルトキハ其ノ級俸ヲ受ク

二、現ニ受クル俸給額カ本令ニ依ル級俸ニ相當スルモノナキトキハ其ノ金額ノ俸給ヲ受ク

別紙

第一號様式

番號

第六節 職員、並關係學令類



第六節 職員、並關係學令類

校印 卒業證書

尋常小學校(高等小學校修業年限)ノ教科ヲ卒業セシコトヲ證ス  
年 月 日

氏 名  
年 月 日生

第二號樣式

島根縣何郡(市)(私立)何尋常(高等又ハ尋常高等)小學校長  
位勳爵 氏 名印

小學校校地ニ關スル報告

指定年月日	字	地番	地目	段別	新地目	所有權取得ノ原因	同上年月日	備考

第三號表

●貧困ニ由ル就學猶豫取調書

住所保護者氏名及續柄  
何小學校(何分教場)第何學年修業中又ハ不就學者

氏 名  
生 年 月 日

一、猶豫期間  
自、何年何月何日又ハ、何學年間  
至、何年何月何日又ハ、何學年間

資力	所有土地	所有家屋	債	縣稅戶數割負擔額	市町村稅負擔額	家族		職業	生計ノ狀況
						總數	勞働者		
						已ニ就學ノ始期ニ達シタル兒童	尋常卒業		
						不就學者申請中ノ者ヲ含ム	現在就學		
						未就學ノ始期ニ達セサル者			
						三歲以上ノ者			
						三歲未滿ノ者			

第四號樣式  
願書式

小學校教員無試驗檢定(試驗檢定)願

住所族籍  
種類 小學校本科正教員、小學校專科  
何科正教員、小學校准教員等

氏 名  
生 年 月 日

第六節 職員、並關係學令類







何年何月日  
何年何月日

何廉ニ付何々ヨリ何賞ヲ受ク  
何廉ニ付何々ヨリ何罰ヲ受ク  
懲戒書等アラハ其寫ヲ添フヘシ

雜

年 月

事

項

自何年何月  
至何年何月

前諸々記載シ難キ事項ハ此部ニ記載スヘシ

何々

以上

身體檢查書記心得

身體檢查書

住所族籍

何 某  
年 月 日生

一、體質

一、體格

身長  
體重  
胸圍  
盈虛ノ差

一、榮養

裸眼視力 矯正視力 レンズ度

一、視力及屈折狀態

一、色神

一、眼疾

一、聽力

一、耳疾

一、呼吸器

一、神經系

一、皮膚

一、言語

一、四肢、運動障害ノ有無

一、既往現在ノ疾病又ハ畸形

右檢查候處相違無之候也

年 月 日 檢查

何學校醫

何

某 印

(學校醫ニアラサルトキハ學位若ハ資格ヲ記載スヘシ)

身體檢查書記心得

一、檢查ノ表記及身長體重胸圍榮養等ノ檢查方法ハ大正九年文部省令第十六號學生生徒兒童身體檢查規程ニ準スヘシ  
一、體質ハ良、中、不良ノ三等ニ區別スヘシ

第六節 職員、並關係學令類



第六節 職員、並關係學令類

一七〇

- 一、榮養ハ甲、乙、丙ニ分チ其ノ佳良ナルヲ甲トシ不長ナルヲ丙トシ其ノ中間ナルヲ乙トスヘシ
- 一、視力ハ万國式試視力表ニ就キ兩眼ヲ各別ニ検査シ裸眼視力ヲ記入スヘシ裸眼視力〇・七以上ナルヲ正視眼トス屈折機ノ異常アルモノニハ其ノ種別ヲ記シ矯正視力及レンズノ度(チオプトリー)ヲモ記入スヘシ
- 一、弱視、失明等モ兩眼ニ就キ各別ニ記入スヘシ
- 一、色神ハ其ノ異常アルモノニツキ色盲及色弱ヲ區別スヘシ
- 一、聽力ハ八米突ノ距離ニ於テ嘸語ヲ聽キ得タルモノヲ健全トシ夫レ以内ノモノハ難聽トス嘸語ヲ聽キ得タル距離ヲ併記スヘシ
- 一、呼吸器ハ理學的診斷ノ成績ヲ記入スヘシ
- 一、神經系ハ中樞竝ニ末梢神經ニ障害ノ有無ヲ記載スヘシ
- 一、皮膚ハ主トシテ傳染性皮膚病ノ有無ヲ記載スヘシ
- 一、言語ハ明瞭吃訥嘔聲等ヲ記載スヘシ
- 一、四肢運動ノ障害ノ有無ハ體操遊戲ヲ行フニ當リ障害ノ有無ヲ記載ヘスシ
- 一、既往現在ノ疾病又ハ畸形又ハ腦疾患、肺肋膜炎、脚氣、痔疾、心臟病、淋巴腺腫等ノ曾患及呼吸器系神經系以外ノ現在疾患並顯著ナル傷害畸形ニ就テ記載スヘシ但シ肺臟氣管疾患ナルトキハ結核性ナルヲ否ヤヲ記載シ排泄物アルトキハ必ス其ノ性状及鏡檢上結核菌ノ有無ヲ記載スヘシ

第四章 體育、學校衛生ニ關スルモノ

第一節 關係職員規程

●學校醫及幼稚園醫ニ關スル規程

昭和五年四月十五日  
島根縣令第一三號

學校醫及幼稚園醫ニ關スル規程左ノ通定ム

學校醫及幼稚園醫ニ關スル規程

第一條 學校醫ノ囑託解囑又ハ其ノ手當額ノ變更ハ縣立學校ニ在リテハ學校長其他ノ公立學校ニ在リテハ管理者及學校長連署シ第一號乃至第三號様式ニ依リ之ヲ知事ニ申請スヘシ

私立學校醫ノ囑託解囑又ハ其ノ手當額ノ變更ハ設立者其都度發令年月日ヲ具シ第一號乃至第三號様式ニ準シ遲滞ナク之ヲ知事ニ報告スヘシ

第二條 學校醫死亡シタルトキハ縣立學校ニ在リテハ學校長其他ノ公立學校ニ在リテハ管理者私立學校ニ在リテハ設立者之ヲ知事ニ報告スヘシ

第三條 學校醫一名ノ擔任生徒兒童數ハ千五百名ヲ超ユルコトヲ得ス

學校醫ハ前項ノ擔任生徒兒童數ノ制限ヲ超エサル限リ他ノ學校醫ニ兼ヌルコトヲ得

第四條 學校醫ニ支給スヘキ手當ハ左ノ標準ニ據ルヘシ

- 生徒兒童數 手當年額
- 二百名未滿 六拾圓以上

第一節 關係職員規程

一七一



第一節 關係職員規程

二百名以上四百名未満 八拾圓以上  
 四百名以上六百名未満 百圓以上  
 六百名以上八百名未満 百貳拾圓以上  
 八百名以上千名未満 百四拾圓以上  
 千名以上 百五拾圓以上

同一市町村ノ設置ニ依ルニ二學校以上ノ學校醫ヲ兼スル者ノ手當ハ其ノ生徒兒童數ヲ合シ前項ノ標準ニ據リテ之ヲ支給スヘシ

特別ノ事情アル場合ハ前二項ニ依ラサルコトヲ得

第五條 手當ハ其ノ年額ヲ二分シ九月及三月ニ支給スヘシ

前項ノ外手當支給ノ方法ニ關シテハ學校職員ノ俸給支給ノ例ニ據ル

第六條 學校醫ニシテ特ニ勤勞アルトキハ手當ノ外慰勞金ヲ支給スルコトヲ得

第七條 學校醫ノ公務出張ハ縣立學校ニ在リテハ學校長其他ノ學校ニ在リテハ管理者又ハ設立者學校長ト協議ノ上之ヲ命シ左ノ標準ニ據リ旅費ヲ支給スヘシ

汽 車	船	車馬賃一里	日	當	宿泊料一夜ニ付
二等賃費	二等賃費	六拾錢	壹圓七拾錢	參圓四拾錢	

特別ノ事情ニ依リ前項ノ旅費ヲ支給スルコト能ハサルトキハ縣立學校ニ在リテハ學校長其他ノ學校ニ在リテハ管理者ニ於テ知事ノ認可ヲ受ケテ之ヲ減額スルコトヲ得

前二項ノ外旅費支給ノ方法ニ關シテハ内國旅費規則ノ例ニ據ル

第八條 學校醫ハ生徒兒童ノ身體檢査施行上ニ關シ學校長ニ對シ必要ナル補助ヲ請求スルコトヲ得

第九條

學校醫ハ學校敷地ノ選定校舍ノ建築並ニ修繕等ニ關スル設計ニ參與シ衛生上ノ意見ヲ述フルコトヲ得

第十條 學校醫ハ昭和七年文部省令第三號學校醫職務規程第一條ノ調査ニ關シテハ特ニ左ノ事項ニ注意スヘシ

- 一、校地建物並設備ノ衛生ニ關シテハ特ニ乾濕採光換氣暖房等ノ適否
  - 二、校具ノ衛生ニ關シテハ特ニ黑板机腰掛等ノ適否
  - 三、教授衛生ニ關シテハ特ニ生徒兒童ノ姿勢疲勞其他學業ノ心身ニ及ス影響等
  - 四、運動衛生ニ關シテハ正課及課外運動ノ種類程度方法並運動用具ノ適否
  - 五、職員生徒兒童ノ健康狀態ニ關シテハ特ニ傳染性疾患季節ニヨル疾病欠席狀況等
  - 六、病者虛弱者精神薄弱者ノ監督養護ニ關シテハ其要否及方法ノ適否並家庭トノ聯絡等
  - 七、清潔ニ關シテハ校地校舍及其他ノ設備ノ清潔狀況掃除方法ノ適否並生徒兒童ノ身體衣服ノ清潔狀況等
  - 八、飲料水並飲食物ノ衛生ニ關シテハ其質量及供給方法設備等
- 第十一條 傷病生徒兒童ノ醫療ハ學校醫ノ職務ニ屬セサルモノトス
- 第十二條 學校醫疾病其他止ムヲ得サル事故ノ爲執務シ難キトキハ學校長及管理者又ハ設立者ノ同意ヲ得テ他ノ適當ナル醫師ヲシテ一時自己ノ職務ヲ代理セシムルコトヲ得但シ代理者ノ手當ハ學校醫ノ負擔トス
- 第十三條 學校ニハ學校醫ノ執務席ヲ設ケ身體檢査用具學校醫執務日誌等必要ナル器具書類ヲ備付クヘシ
- 第十四條 學校醫ハ毎年四月十五日迄ニ前年度中ノ執務事項ノ概要並擔任學校ノ學校衛生ニ關シ改善ヲ要スヘキ事項ヲ第四號様式ニヨリ當該學校長ヲ經テ知事ニ之ヲ報告スヘシ
- 第十五條 特別ノ事情ニヨリテ當分ノ内學校醫ヲ置クコト能ハサルトキハ管理者又ハ設立者ハ其事由ヲ具シ豫定ノ期限ヲ定メテ知事ノ許可ヲ受クヘシ
- 第十六條 本令ハ幼稚園醫ニ付之ヲ準用ス

附 則

第一節 關係職員規程



第一節 關係職員規程

本令ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

大正十年一月島根縣令第二號學校醫ニ關スル規程ハ之ヲ廢止ス

第一號様式 (囑託ノ場合)

囑託學校名	
在籍生徒兒童數	
年當年額	
原籍	
現住所	
學校醫氏名	

備考

本人ノ履歷書及醫師免許證寫ヲ添付スルコト但シ現ニ學校醫ノ職ニ在ル者ヲ囑託セムトスル場合ハ前段ノ書類ノ添付ヲ略シ現ニ擔當セル囑託學校名並其在籍生徒兒童數ヲ附記スルコト

第二號様式 (解囑ノ場合)

解囑學校名	
學校醫氏名	
解囑ノ事由	

備考

依願解職ノ場合ハ辭職願ヲ添付スルコト

第三號様式 (手當額増減ノ場合)

囑託學校名	
現在支給手當年額	
増減額變更事由	
學校醫氏名	

備考

減額ノ場合ハ本人ノ承諾書ヲ添付スルコト

第四號様式

昭和 年度執務報告		( 年 月 日報告 )	
學校名		在籍生徒 兒童數	
學校長印		學校醫 氏名印	
月 日	執 務 事 項	月 日	執 務 事 項

第一節 關係職員規程



